

# APPROACH

高崎経済大学地域政策学会

特集1 新型コロナは地域社会にどのような影響を与えるか!?

特集2 そうだ、アクティブ・ラボに行ってみよう!

特集3 今こそ、使い始めるチャンス! 情報機器とアプリ

地域政策学部研究室紹介

図書館活用法

Vol.7  
2022

## APPROACH発刊にあたって

地域政策学会長 中村匡克

高崎経済大学地域政策学会は、学術研究ならびにその発表を通じ社会に寄与することを目的として設置された学内学会です。当学会では、機関誌『地域政策研究』の刊行(年4回)、学術文化講演会の開催、学生懸賞論文の募集・表彰、「卒業論文集」の印刷・刊行補助など、さまざまなサービスを会員のみなさまに提供しております。情報誌『APPROACH』もそのひとつであり、学生会員のみなさまには大学生活やゼミ選択等の際にご活用頂いています。

# APPROACH 7号 CONTENTS

- 04 特集 1 新型コロナは地域社会に  
どのような影響を与えるか!?

## 16 地域政策学部研究室紹介

- 18 地域政策学科  
34 地域づくり学科  
54 観光政策学科

- 68 特集 2 そうだ、  
アクティブ・ラボに行ってみよう!

- 74 特集 3 今こそ、使い始めるチャンス!  
情報機器とアプリ

## 80 図書館活用法

## 86 学生懸賞論文「受賞者のことば」

特集  
1

# 新型コロナは地域社会に どのような影響を与えるか!?

## 新型コロナと地域社会・地域政策の行方

福間 聰（地域政策学科）

若林 隆久（地域政策学科）

吉原 美那子（地域づくり学科）

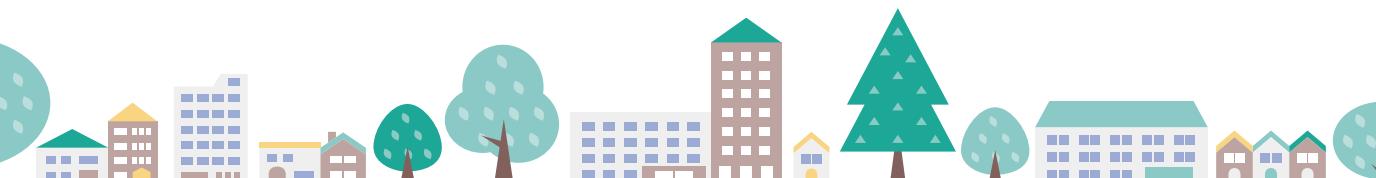
小牧 幸代（観光政策学科）

太田 慧（地域づくり学科）

山本 匠毅（地域政策学科）

森田 稔（地域づくり学科）

井手 拓郎（観光政策学科）



# 政府による新型コロナワクチン接種の強制に人びとは同意できるか

## 新型コロナによる社会の変化

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が日本国内で2020年1月に初めて確認されたから、様々な変化が私たちの社会に生じた。学校の一斉休校にはじまり、イベントの休止や会食・飲食の制限、リモートワーク・リモート講義の実施、マスク着用の推奨など、私たちの日々の活動に大きな影響を与え続けている。とりわけ政府が飲食店に自粛を求めたのは「営業の自由」の制限であるといえる。

そうした中、新型コロナワクチンが開発され、日本でも2021年2月から接種が開始された。ワクチン接種の目的は「感染および重症化の予防」ともに「集団免疫の獲得」が挙げられる。ではこれらの目的のためにワクチン接種を政府が強制(義務化)することは可能であるのだろうか。そのような強制は私たちの人権の侵害にならないだろうか。

## ワクチン接種の強制とは何が

ワクチンの接種を強制するという場合、それはワクチンを接種しない人に対する刑罰を課すといふものではなく、非接種者の行動に直接的あるいは間接的に制限を課すことを意味する。ワクチン接種の強制には条件があり、①この

## 地域政策学科 福間 聰

政策が重要な公衆衛生上の目的を達成するために必要、あるいは相応であること、②ワクチンの安全性、そして有効性について十分な証拠があること、③ワクチンの十分な供給量があること、

④政府が無過失補償制度を設けること、⑤この政策に対する国民からの信頼があること、そして⑥政策決定が倫理的プロセスに基づいていることが挙げられる。これらの条件の一つでも欠いているならば、ワクチン接種の強制は不適切な政策となる。人類が新型

コロナと遭遇して二年程であり、変異の予測やワクチンの有効性について不確実なことが未だ多いが、確実になってから対策をとつたのでは手遅れになる。そのため、予防原則(深刻で回復不可能な被害を及ぼすおそれがある場合に

は、因果関係が科学的に十分に証明されていないことも、すみやかに予防措置をとるべきであるとする考え方)に基づいて「コロナの対策は作成されなければならない。このことはワクチン接種の強制にも当てはまる。

ワクチン接種の強制とは何が

「ワクチンの接種を強制するという場合、それはワクチンを接種しない人に対する刑罰を課すといふものではなく、非接種者の行動に直接的あるいは間接的に制限を課すことを意味する。ワクチン接種の強制には条件があり、①この

すでに日本政府は海外渡航に関して「ワクチンパスポート」を発行しており、入国時に提示することで自己隔離の免除等の措置を実施している国もある

現時点では、日本国内に関してはイベント施設やレストラン、長距離移動のための公共交通機関の利用や、対面での受講の際に接種証明書の提示を求められることはない。しかし海外では政府や自治体において感染予防とともに、「ワクチン接種率を高めるためにそうした措置が執られている(フランスやスイス、NY市など)。ではこうした措置は人びとの自由や人権の侵害にはならないのだろうか。

政府や自治体において感染予防とともに、「ワクチン接種率を高めるためにそうした措置が執られている(フランスやスイス、NY市など)。ではこうした措置は人びとの自由や人権の侵害には認められないのだろうか。しかしながらこうした観点からワクチン接種率を高めるためにそうした措置が執られている(フランスやスイス、NY市など)。ではこうした措置は人びとの自由や人権の侵害には認められないのだろうか。

ワクチン接種証明書が無ければ上述の施設やサービスを利用することができないのであれば、これは日本国憲法で保障されている「移動の自由」の制限にあたる。しかしながら、一定期間内の陰性証明書でも代替できたり、あるいは接種者に対して利用におけるプレミア(割引)制度を設けるだけであるならば、自由や権利の侵害にはあたらない(非接種者も利用できるので)。しかしながらこうした代替案を認める政策は接種率の増加にはあまり寄与しないであろう。

## 新しい社会契約は可能か

ワクチン接種率が何%を超えるか、団体免疫が獲得できるのかについてはまだ十分な科学的な根拠はないが、現状においてもワクチン接種が重症化を防ぐことについては確かな根拠が存在する。アレルギー等の医学的禁忌やその他の正当な理由が無いにも関わらず、未接種のため重症化した患者の治療に医療資源が割かれ、通常の医療が立ち行かない状況が引き起こされるならば、これは他の市民に危害を与える

ことになりうる(とりわけ日本のようないくつかの国では、既にワクチン接種の強制という政策を実施する)。それゆえ「医療資源の確保」という公衆衛生上の目的であるならば、接種の強制を「他者危害の原則」あるいは「公共の福祉」の観点から正当化できるかもしない。

しかしながらこうした観点からワクチン接種の強制という政策を実施する場合であっても、重視されるのは「政策決定の倫理的プロセス」である。政策決定者(政府)は強制に至る前になぜワクチン接種が必要であるのかを市民に十分な理由に基づいて平明に説明する



福間聰

必要があり、強制という手段を採用する場合も、市民によってその公衆衛生上の目的が受け入れられ、市民の合意をうることが必要となる。

こうした合意のプロセスは「新しい社会契約」であるといえる。どのような目的で、どのような行動制限が課され、私たちの人権が（暫時的に）制約されるのかについて、市民と政府、そして市民間での合意が、強制を伴う政策を正当化するためには必要とされる。合意が獲得されることで「責任の相互（市民と政府、市民間での引き受け）」——すなわち、政府はワクチンの十分な供給や無過失補償の制度化、市民はワクチンの接種あるいは未接種による行動制限の受け入れ——が承認されるのである。

今回の新型コロナに対する治療薬が開発され、服用可能になったとしても新たな感染症は引き続き起りうる。また気候変動への対策のために新たな行動変容を私たちは求められるかもしれない。それゆえ、今回のコロナ禍を奇貨とし、私たちの権利への介入が想定される政策については、その決定が代表者（政治家）への委任から市民との協働となるようなプロセスが構築されるべきである。とりわけ、政策は未来志向的なものであるため、若者が積極的に政策決定に参加することを促し、彼ら。彼らの意見が反映されるプロセスが構築される必要がある（そのためにはインターネットでの意見交換や投票、平均残存余命に応じた傾斜投票制度等が取り入れられることが相応しい）。私たちの権利が制限される政策の目的

は、私たちにとって理にかなった仕方では拒絶できないものであるのかどうか、それゆえ同意可能であるのかどうかが、そのプロセスでは吟味される。こうした決定プロセス、そして「新しい社会契約」はどのようなものであるべきか、皆さんと一緒に考えていただきたい。

#### 《参考文献》

- Munthe, Christian, Heilinger, Jan-Christoph, and Wild, Verina. 2020. "Ethical aspects of pandemic public policy-making under uncertainty," *Competence Network Public Health COVID-19*. [https://www.public-health-covid19.de/images/2021/Ergebnisse/PB\\_uncertainty\\_pandemic\\_oolicy\\_6Jan2021.pdf](https://www.public-health-covid19.de/images/2021/Ergebnisse/PB_uncertainty_pandemic_oolicy_6Jan2021.pdf) (2021/11/01 アクセス)
- Singer, Peter. 2021. "Why vaccination should be compulsory," *Project Syndicate*. <https://www.project-syndicate.org/commentary/why-covid-vaccine-should-be-compulsory-by-peter-singer-2021-08?barrier=accesspaylog> (2021/11/01 アクセス)
- World Health Organization. 2021. "COVID-19 and mandatory vaccination: Ethical considerations and caveats," <https://www.who.int/publications/item/WHO-2019-nCoV-Policy-brief-Mandatory-vaccination-2021.1> (2021/11/01 アクセス)

このような働き方や働く場所の変化の進展は、大都市ではない地域にとってどのような意味を持つだろうか。日本全体の人口が減少する中で、地方の過疎は深刻なものとなっている。

## 地域や個人に対するコロナ禍による働き方の変化が持つ意味

このように働き方や働く場所の変化が生じ、既存のやり方を見直す必要が出てきた。企業など雇用する側に対して変革が求められる一方で、個人に対しても仕事におけるニューノーマルな働き方やライフスタイルに適応することが求められている。

### コロナ禍による働き方の変化の加速

新型コロナウイルス感染症により、我々を取り巻く環境は激変した。働き方や働く場所についても例外ではなく、大きな変化が生じている。もともと、一方でいわばデジタル技術による変革であるデジタル・トランスフォーメーション（DX）が喧伝されており、もう一方で働き方改革が推し進められていたが、コロナ禍によりこれらの変化が大きく進展した。本来の仕事場を離れてのテレワークやオンライン会議といったものが当たり前になり、仕事の進め方・ルールや働く環境にも変化が生じ、既存のやり方を見直す必要が出てきた。企業など雇用する側に対して変革が求められる一方で、個人に

地域活性化や地方創生の取り組みが盛んになされているが、多くの地域は苦境に立たされている。そのような状況の中で、企業のオフィスを誘致することで雇用を生み出したり、移住により人口を増やしたりできないかということが試みられている。あるいは、それらが難しければ、一時的にでも地域を訪れてもらい、経済活動を行ってもらったり関係人口を増やしたりできないかということが模索されている。

コロナ禍による働き方の変化の急激な進展は、このような地方における取り組みへの追い風となるかもしれません。コロナ禍により、それまでは限定的であったテレワークやオンラインを取り組みが強制された。結果として、テレワークが普及したり、オンラインを活用した仕事の可能性に気づかれたりすることとなった。地方へのオフィス誘致や移住が進んだり、ワーケーションや二拠点生活で地域が利用されたりすることへの後押しが期待される。（ここで、ワーケーション（workation）とは、仕事（work）と休暇（vacation）を組み合わせた造語であり、本来は別物である働くことと休暇することを、あわせて行ってしまうという働き方、あるいは休暇の過ごし方である。また、二拠点生活とは、二つ

## 地域や個人に対するコロナ禍による働き方の変化が持つ意味

地域政策学科 若林 隆久

の地域に拠点を持ち行き来して生活することを指す)

## 将来の見通しが持ちづらい時代

とはいって、今後どのように社会が変化していくかはわからない。コロナ禍によるそのものはもちろん、「コロナ禍による影響も終わりを迎えてはいない。既にVUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity) という言葉は広まっていますが、ますます変化が激しく将来が不確実で複雑かつあいまいな時代となっている。

個人にとっても将来の見通しの持つづらい時代となっている。「人生100年時代」となり、キャリアや働くことに関する意識が変化・多様化していることもあります。自分がどのように生きていかかというビジョンを描きづらくなってしまっている。授業で大学生に「自分の将来の仕事としてやりたいことが決まっていますか?」と尋ねてみた結果も、これまで安定して「決まっている」と「決まっていない」



若林隆久

が約半分ずつであったが、「決まっている」が3分の2まで増大するという結果となっている(図1)。

## 大学生活で身に付けるべき能力

それでは、将来の見通しが持ちづらい時代に対して、どのような対策を取れるだろうか。ひとつ目の答えは、変化が激しく将来が不確実で複雑かつあいまいであっても大丈夫なように、自分の能力を高めるということである。

テレワークをはじめとした仕事のオンライン化が進んだことにより、ICT(情報通信技術)リテラシーや、シヨン能力が求められることになつた。また、時間や場所を選ばずに働け

Q. 自分の将来の仕事としてやりたいことが決まっていますか?

(各年度5月のキャリアデザイン論の第3回の授業で実施)

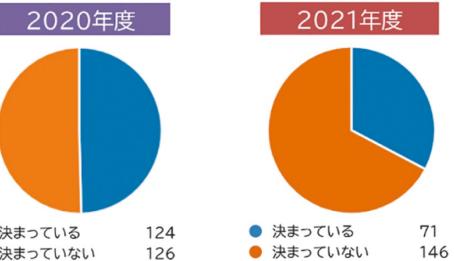


図1 「高崎経済大学生のキャリアの見通しの変化」

新型コロナウイルス(COVID-19)の急激な感染拡大は、世界中の子どもたちの学びに大きな影響を与えた。休校措置をめぐり各国政府も右往左往した。もちろん日本政府も例外ではなくかった。

2020年2月27日、政府からの休校要請は前触れもなく出された。全国の教育委員会と学校は、3月2日以降の休校に向けた対応のため大混乱に陥った。混乱は翌年度に入つてからも続いた。緊急事態宣言の発令に伴う休

校の継続、分散登校の実施、オンライン授業の導入など、これまで経験したことのない展開に現場は直面した。教員も、保護者も、相当なストレスに苛まれたが、「学びを止めない」を言葉に学校は何とか学習の進行をつなぎとめた。しかし、一番辛かったのは子どもたちだったんだろう。大好きな友だちとも会えない。学校行事も短縮または中止。子どもといふ時期だからこそ得られたはずの、あるいは得なければならぬ経験の機会を失つていつたの

るようになった反面、セルフ・マネジメント(自己管理)能力や自主的・自律的に行動できる力も求められるようになった。

さらに、これまでとは異なる前提の下で、既存のやり方を見直し新たなやり方を生み出す必要が生じている。知識や情報などを体系的に組み合わせ、複雑な事象を概念化することにより、物事の本質を把握する能力であるコンセプチュアル・スキル(概念化能力)がより重要性を増している。変化し続ける環境に適応するためには柔軟な学習能力も求められる。

## コロナ禍がもたらした学校現場へのインパクト

地域づくり学科 吉原美那子

活でこそ身に付けられる能力である。文章力を含むテキスト・コミュニケーション能力を身に付けたり、学び方を学んだりする機会は、実は世の中にあまりない。一人暮らしや大学での活動を通じて、広くセルフ・マネジメント能力、自主的・自律的な行動力、ICTリテラシーも身に付けられるだろう。大学においてコロナ禍への適応を経験して、意欲や問題意識を持つて学んだ学生の新たな社会での活躍を期待したい。

## 一斉休校は私たちに何を教えたのか？

ここで、コロナ禍の長期休校やオンライン授業は、私たちに何をもたらしたのか考えてみよう。今、本稿を読んでいるみなさんも体験したはずだ。みなさんは、この期間、学校や学びについてどのようなことを感じ、考えただろうか。学校という存在は、みんなの目にどのように映つただろうか。

「学校に入れない／行けない」という実体験は、「学校ってどうして必要なもの？」、「学校に通わなければならぬ理由とは？」といった、素朴でありがたも学校の存在意義そのものを問う、普遍的な疑問を私たちに投げかけてきた。同時に、これまで当然のように実施してきた対面授業の他に、オンライン授業や対面とオンラインを組み合わせたハイブリット授業といった新しい学び方を社会に認知させた。結果、これは副次的な効果とも言えるだろうが、例えば、子どもの個性に合った学び方／授業があることも教えてくれた。



吉原美那子

コロナ禍において急激に議論が活発になったのが、学校現場におけるICT活用問題である。そもそも、コロナ禍以前の日本は、OECD加盟国の中でも授業におけるICT活用度が低い国のひとつであった。政府は、小中高等学校などの教育現場で児童・生徒がパソコンやタブレットといったICT端末を活用できるようにする取り組み、いわゆるGIGAスクール構想に取り組んでいたが、これを機に環境整備に一気に乗り出した。

しかし実際のこと、オンライン授業への一斉に移行するは学校現場にとって非常に難しいことであった。その理由は主に以下の3つによる。一つ目は、教員のオンライン授業に対する不慣れと授業以外の業務増加による疲労である。二つ目は、家庭におけるICT環境の格差である。三つ目は、低学年ならばに支援を必要とする子どもたちへの実指導の必要性である。特に、さまざまな家庭の子どもを受け入れている公立学校では、オンライン化は簡単に超えられない壁であった。

とは言え、感染拡大の激しい地域ではそうも言つていられなかつた。オンライン授業を選択せざるを得ない学校も出ってきたのだ。「双方向性」、つまり子どもとのつながりを大切にしていく必要がある。そのためには、個人で学ぶ時間とみんなで学ぶ時間のバランスも重要になつてくる。失敗を

## コロナ禍のICT活用が 教育現場を変える！？

重ねながらの試行錯誤の日々。教員たちの奮闘はすさまじいものであつたと推察される。

### 見えてきた新しい学びの形



オンライン授業風景（加須小学校）



ロイロノート・スクール

教室内でインターネットを使って学習支援を行うためのシステム

このように、望むと望まざるに拘らず、教育および学校はこの2年余り、大きな変革を受け入れざるを得なかつた。学校の環境整備も進み、オンライン授業に対する教員のノウハウも蓄積されてきている。数年後には「学校の教室」「隣り合わせの机」「黒板にチョーク」「紙の教科書」「ノートに鉛筆」「学生たちのにぎやかな声」というどこでもあつた風景が、「デジタルの教科書」「タブレットにベン」「場合によっては画面越しの友達」といった風景に様変わりしているかも知れない。

だからこそ、学校制度をはじめとした教育の在り方そのものについて、今までにぎやかな声と一緒に考へてもらいたい。学校現場におけるICT活用には、メリットとデメリットがありそうだ。

オンライン化により、学年を超えて習熟度に応じた学習を実現できたり、離島やへき地をはじめとする過疎地域の子どもや保護者のつながり、学校という地域の核が失われる可能性もある。子どもの個性や発育段階とデジタルの相性も、まだまだ研究の余地があるだろう。教員は、授業の他に部活動その他の業務に追われ、その負担の大きさが社会問題となつてゐる。みなさんとも議論を交わしながら、新しい時代の教育／学び／学校制度について考えていけたら嬉しく思う。

# 日本で暮らす外国人はどう乗り切ったのか

観光政策学科 小牧 幸代

## 出入国がストップした！

2020年3月4日、インド政府は日本および世界における新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3日以前に日本人に発給したビザを無効化すると同時に、4日以降の発給を一時停止すると発表した。13日から2週間のインド

出張を予定していた私は、航空券のキャンセルを余儀なくされた。当時のインドはまだ感染者が少なく、日本からのウイルス持ち込みが警戒されたのである。同じ頃、日本政府も感染者数が多い国に対し、既に発給したビザやビザ免除措置の効力停止を実施した。世界中の国が水際対策として海外からの入国を制限するとともに、自国民に対して海外渡航を禁止したり延期や自粛を呼びかけたりした。地球規模で人の往来が絶えたり滞つたりした結果、観光も留学も、国際交流も難しくなった。

2021年になると、日本でもワクチン接種が始まった。全国的に感染者の増減がありつつも、東京オリンピック・パラリンピック（7月23日～8月8日、24日～9月5日）が規模を縮小して開催された。同時期に「第5波」（7月中旬～9月中旬）が襲来したが、それもようやく終息し、9月末日、「緊急事態宣言」は全国で解除された。この間、

日々のニュースは新型コロナ情報だけだった。しかし、多くが日本語だ。日本で暮らす外国人はどうしていたのか。無事に乗り切ることはできたのか。どうか。

## 外国人はどうやって情報入手したのか

「NHKワールド JAPAN」は、ほぼ毎日、17の言語で国内の情報や話題をラジオ、オンラインマンド、ポッドキャストを通じて紹介している。緊急事態宣言下では、国内の新規感染者数などが、たいていトップニュースで報じられてきた。厚生労働省のホームページには、20もの言語と「やさしいにほんご」で、新型コロナ関連情報が項目別に掲載されている。これだけ多様な言語で情報が提供されているということは、それだけ多様な言語の話者が日本で暮らしているということだ。

しかし、更新頻度や情報の質と量を見ると、日本人がテレビやインターネット、新聞などで受け取るものにはどうい及ばない。とりわけ、日本人にとっても難しかったワクチン情報の入手や予約など、外国人にはかなりハーダルが高かったのではないか。このことを確かめるため、10月の日曜日、「日本最大のエスニックタウン」として知



小牧幸代

られる新大久保の「イスラム横町」に出来た新大久保は、山手線の高架を境に東側がコリアンタウン、西側の一角がイスラム横町と呼ばれている。イスラム

横町では、南アジア・東南アジア・西アジアなどの出身者が、それぞれの食文化に不可欠な食材・食品を売る店やテイクアウトも可能な飲食店を経営している。コロナ禍にもかかわらず、ビジネスチャンスを見出し、新規開店した南アジア系の食材・食品店「ナショナル・マート」で、インタビューを試みた。店主はパキスタン出身の男性で、店舗スタッフはパキスタン人、インド人、バングラデシュ人、ベトナム人で構成されている。皆、接客には十分な程度の日本語を話す。ただし、読み書きはできないという。

## 国籍を越えて助け合う外国人たち



ナショナル・マートの正面とオーナーのシディークさん

からくりは、こうである。日本人の家族や友人をもつ人が、どんな些細なことであれ情報を入手すると、すぐに自分の母語でツイッターやフェイスブックなどに書き込む。それを見た人が口コミで、今度は母語が異なる人にも日本語を介して教えてあげる。このようにして、外国人も必要な情報を正確かつ迅速に共有することができたのである。「ワクチン接種に関しては、同店の事務担当の日本人スタッフがネットや電話での予約に大活躍し、従業員以外の外国人のためにも尽力したという。出身地も言語も越えた助け合いが、イスラム横町ではなされていた。私たちが

特別定額給付金10万円も、ワクチン接種も、すでに張り巡らされていた情報網のおかげで、誰一人取りこぼすことなく受けることができたというのである。

自分のことで精一杯だった頃、彼らは互いに知恵を出し合って、逆境を生き延びたのである。

## 国際交流スポットとしてのエスニックタウン

エスニックタウンは、故郷を遠く離れ異国で暮らす外国人にとって、かけがえのない場所である。とくに新参者にとって、当面の住居や仕事を確保しやすいだけでなく、言葉が話せなくて

も生活できるので安心感がある。食文化や宗教行事など、アイデンティティを維持できる点でも重要である。コロナ禍で観光も留学もできなくなつたが、実は身近なところに、いろいろな背景をもつ、いろいろな人たちがいることが分かった。エスニックタウンは、行って見るだけでも面白いが、外から見ているだけでは決して分からぬことがある。勇気を出して話しかければ、国际交流ができるかもしない。

## 国勢調査からみた関東地方の現状

地域づくり学科 太田 慧

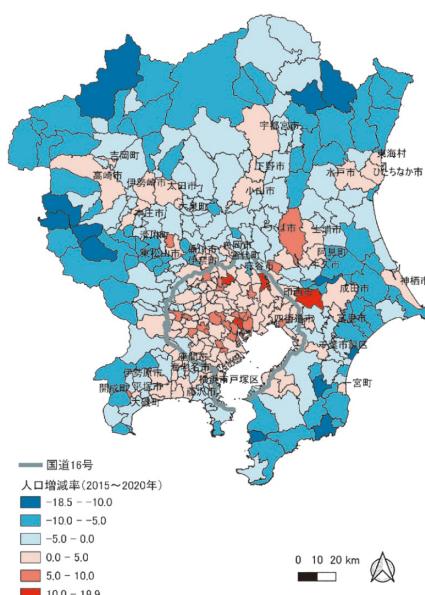
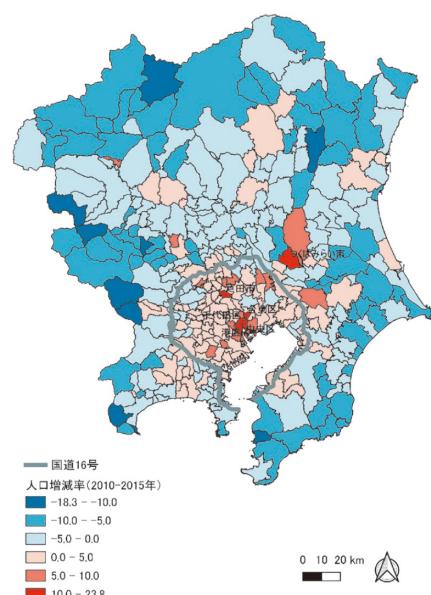
### パンデミックと居住地

2020年の初頭から全世界に拡大した新型コロナウイルスのパンデミックでは、オフィスに通勤しやすい東京都心周辺が人気の居住地となっていた。特に、2000年代以降に多数のタ

ワーマンションが建設された東京都心に近い臨海部では、人口が急増したために小学校の定員不足などの問題も発生していた。こうした近年の東京都心周辺の人気に対して、これまで流入超過が続いていた東京都の人口がパンデミック後の2020年5月に流出超過となつたことは大きな話題となつた。この現象は、東京一極集中を是正するきっかけとしてもとらえられた。さら

に、総合人材サービス大手パソナグループによる本社機能の東京から淡路島へ移転は、東京から地方への人や企業の移動を象徴する事例として注目を集めた。

しかし、パンデミックはこれまでの東京一極集中の傾向を変えるのだろうか。小峰(2021)によれば、東京都の人口は2020年5月～2021年2月までの累計で約25,000人の流出超過であつたが、周辺の県を含めた東京圏では同期間に約4,000人の流入超過だった。ところが、東京都では就職や就学に伴い2021年3～4月で再び約30,000人の流入超過に転じたといわれており、最近の出来事であるパンデミックと人口の関係を判断するのは容易ではない。ここでは、



国勢調査のデータを地図化することにより、東京とその周辺を含んだ関東地方における過去10年間の人口増減の傾向を広域的に可視化し、地図を活用しながら人口増減の地域的な傾向を検討する。

図1は2010～2015年の期間において、人口の増加傾向を示した  
**関東地方の人口増減**  
図2は2015～2020年の期間において、人口の増加傾向を示した



太田慧

市区町村を赤系統、減少傾向を示した市區町村を青系統の色で示している。2010～2015年の期間において10%以上の人口増加を示したのは、千代田区・港区・中央区・台東区といつた東京都心部と埼玉県の戸田市・茨城县のつくばみらい市であった(図1)。これに対しても、2015～2020年の期間では、東京都心部の人口増加率が相対的に低下し、都心周辺の自治体で人口増加率が高まっている(図2)。また、2015～2020年の期間では、新しい宅地開発が著しい地域ある千葉県の印西市や流山市で10%以上の人口増加率が示されている。さらに、サーフィンで人気の千葉県一宮町や神奈川県の平塚市や大磯町は2015～2020年の期間で減少傾向から増加傾向に転じている(図2)。

しかし、これらの結果がパンデミックによる影響と結論付けるのは早計であ

る。千葉県や湘南エリアの自治体は、これまでさまざまな移住促進策を行ってきた場所である。また、2015～2020年の期間のデータでは、パンデミックの影響が2020年2月～10月までのわずかな期間しか反映されていないことも考慮する必要がある。転居にはや職場や家庭や人間関係、資産状況などのさまざまな障壁があり、パンデミックからわずかな期間で移住を決意し、それを実行できるのは現実には一部の人に限られる。

## 国道16号という境界線

ここで、2つの図に国道16号という1本の線を重ねてみる。すると、国道16号が関東地方における人口の増加・減少傾向の大まかな境界線となっていることがわかる。国道16号とは、神奈川県横須賀市から東京都・埼玉県を通過し、千葉県富津市までを環状に結んでいる主要な都市は、横須賀・横浜・相模原・八王子・川越・さいたま・柏・千葉・木更津などである。こうした国道16号沿いの都市は、いずれも東京都心への通勤が容易でありながら、ロードサイドにチーン店が連なるいわゆる郊外を形成している(塙田・西田、2018)。また、国道16号の「外側」をみると、高崎市・宇都宮市・水戸市といった北関東各県の主要な都市の周辺で人口増加の傾向がみられるほか、茨城県のつくば市周辺や前述の神奈川県の湘南エリアも人口増加の傾向がみられる。

日本の人口は2008年をピークに減少が始まり、今後も人口減少が加速

していくことがわかっている。関東地方においては、東京を中心とした国道16号の「内側」とその「外側」の一部の都市で人口が増加ないしは維持される一方で、2つの図に国道16号という1本の線を重ねてみると、国道16号が関東地方における人口の増加・減少傾向の大まかな境界線となっていることがわかる。国道16号とは、神奈川県横須賀市から東京都・埼玉県を通過し、千葉県富津市までを環状に結んでいる主要な都市は、横須賀・横浜・相模原・八王子・川越・さいたま・柏・千葉・木更津などである。こうした国道16号沿いの都市は、いずれも東京都心への通勤が容易でありながら、ロードサイドにチーン店が連なるいわゆる郊外を形成している(塙田・西田、2018)。また、国道16号の「外側」をみると、高崎市・宇都宮市・水戸市といった北関東各県の主要な都市の周辺で人口増加の傾向がみられるほか、茨城県のつくば市周辺や前述の神奈川県の湘南エリアも人口増加の傾向がみられる。

日本の人口は2008年をピークに減少が始まり、今後も人口減少が加速

していくことがわかっている。関東地方においては、東京を中心とした国道16号の「内側」とその「外側」の一部の都市で人口が増加ないしは維持される一方で、2つの図に国道16号という1本の線を重ねてみると、国道16号が関東地方における人口の増加・減少傾向の大まかな境界線となっていることがわかる。国道16号とは、神奈川県横須賀市から東京都・埼玉県を通過し、千葉県富津市までを環状に結んでいる主要な都市は、横須賀・横浜・相模原・八王子・川越・さいたま・柏・千葉・木更津などである。こうした国道16号沿いの都市は、いずれも東京都心への通勤が容易でありながら、ロードサイドにチーン店が連なるいわゆる郊外を形成している(塙田・西田、2018)。また、国道16号の「外側」をみると、高崎市・宇都宮市・水戸市といった北関東各県の主要な都市の周辺で人口増加の傾向がみられるほか、茨城県のつくば市周辺や前述の神奈川県の湘南エリアも人口増加の傾向がみられる。

日本の人口は2008年をピークに減少が始まり、今後も人口減少が加速

## 新型コロナの影響で地域産業は打撃を受けているのか?

## コロナ下で二極化する地域産業の展開

地域政策学科 山本匡毅

## 新型コロナで需要が減少した医療機器産業

新型コロナで需要が減少した地域産業は少なくない。ここでは医療機器産業を取り上げる。新型コロナの治療装置として経皮的心肺補助システムECMO(エクモ)が有名になった。それにも関わらず、医療機器産業は新型コロナで需要が減少した。その大きな理由は、新型コロナの拡大による手術などの治療の中止・延期と、健康診断の受診者の減少である。

国内の医療機器は病院が顧客となつていて、新型コロナにより、患者が通院を控え、病院側も手術も実施しなかつたことで、医療機器需要が減少した。医療機器需要の減少は、医療機器メー

リ参考文献

小峰隆夫(2021)：「コロナ禍で東京一極集中は是正されるのか？」テレワークで流出超過に転じた人口「都会から地方へ」は本物か」Jiji.COM(<https://www.jiji.com/c/v4?sid=202106tokyosvutv0001>最終アクセス日2021年10月20日)。

塙田修一・西田善行(2018)：「国道16号線」スタディーズ：2000年代の郊外とロードサイドを読む、青弓社。



山本匡毅

医療機器は新型コロナでは治療面で表舞台に立つたが、地域産業としてはマイナスの影響を受けたことが浮き彫りになった。

### 新型コロナで需要が拡大した電子部品・デバイス

新型コロナが拡大し、巣ごもり生活が続いていた。仕事はテレワークになり、学習もオンライン化され、移動では公共交通を避け、自家用車を使うようになった。その結果、スマートフォン、パソコン、自動車等で使用する電子部品・電子部品・電子デバイスの需要が増加した。電子部品・電子デバイスの需要は図1のように拡大しており、特に2020年11月からは生産額が対前年同月と比べて一貫して高い水準で推移している。その影響で、群馬県内に複数の生産拠点と子会社を持つ電子部品製造の太陽誘電は、2021年3月期決算で売上高、営業利益、経常利益、当期純利益がすべて過去最高を記録した。

このように市民が普段では見ることはないものであり、実感がないかもしれないが、新型コロナ対応で仕事、学習、および日常生活がデジタル化したことで、電子部品・電子デバイスの需要が拡大したのである。

### ウィズコロナ・ポストコロナ時代の地域産業に向けて

これまで検討したように、地域産業は新型コロナで打撃を受ける業種がある一方で、需要が拡大し、産業として成長したものもあった。今般の新型コロナの影響により、2020年10月時点では8割の取引先から注文がなくなつたという。

小企業にも影響が出ている。例えば岡山県倉敷市のN社は医療機器部品を製造している中小企業であるが、新型コロナの影響により、2020年10月時点で8割の取引先から注文がなくなつたとい

口の拡大は、地域産業をリスクに直面させている。また電気自動車(EV)化、脱炭素(カーボンニュートラル)などの社会環境の変化も進んでいる。地域産業が単一産業に特化した場合、リスクや社会環境の変化の影響で、危機に陥る可能性がある。群馬県では自動

車産業のような単一産業に依存する自治体も少なくない。リスクや社会環境の変化を回避するためには、地域産業は複数業種で構成することが求められる。ウィズコロナ・ポストコロナ時代の地域産業をどうするのか、それぞれの地域が考える時期に来ている。



図1 電子部品・電子デバイスの出荷額の推移(2020年1月～2021年8月)

出所：一般財団法人電子情報技術産業協会「日本の電子工業の生産・輸出・輸入」(原出典は経済産業省「生産動態統計」)より筆者作成。

## 参考文献

オハーバス株式会社「2021年3月期決算短信」  
([https://www.olympus.co.jp/investors/lbreport/Olympus\\_FY2021\\_Consolidated\\_Financial\\_Results\\_J.pdf](https://www.olympus.co.jp/investors/lbreport/Olympus_FY2021_Consolidated_Financial_Results_J.pdf) 最終閲覧日: 2021年11月8日)

太陽説電株式会社「2021年3月期決算短信」  
(<https://www.terumo.co.jp/investors/lbreport/C6976/eqA/EyFs/HK3.pdf> 最終閲覧日: 2021年11月8日)

テルモ株式会社「2021年3月期決算短信」  
([https://www.terumo.co.jp/investors/lbreport/2021\\_0512/FinancialResults\\_21Q4\\_J.pdf](https://www.terumo.co.jp/investors/lbreport/2021_0512/FinancialResults_21Q4_J.pdf) 最終閲覧日: 2020年11月8日)

「日陽新聞」2020年10月23日朝刊

## 新型コロナウイルス感染症後の環境と地域づくり

地域づくり学科 森田 稔

### 新型コロナの影響とポストコロナ社会に向けた動き

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大によるパンデミックは、各国・地域の社会経済システムに大きな影響をもたらしただけではなく、私たち一人ひとりの生活や地域コミュニティにおいても大きな影響を及ぼしました。これまでとは異なる教育・労働環境(例:遠隔授業やリモートワーク)、人のいない市街地、そして友人や離れた家族と自由に会えない閉塞感など、皆さんも多くの影響を受けたので無いでしまうか。

今、ポストコロナ時代に向けて各國・

のではなく、復興に投じられる資源(例:資金や人的資源)を通じて、気候変動や生物多様性といった地球規模での環境問題の解決も図り、「より良い復興(Build Back Better)」を目指した取り組み(例:グリーンリカバリーポリシー)が進められています(環境省)。

では、今回の新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活は具体的にどういった変化がおきたのでしょうか?この点について、ここではエネルギー消費、特に電力消費に着目して、振り返って見たいと思います。

### エネルギー消費の変化

私たちの生活に必要不可欠なエネルギーである電力について見てみましょう。図1は、電力事業者による発電電力量について2019年と2020年で比較したものです。データは資源エネ

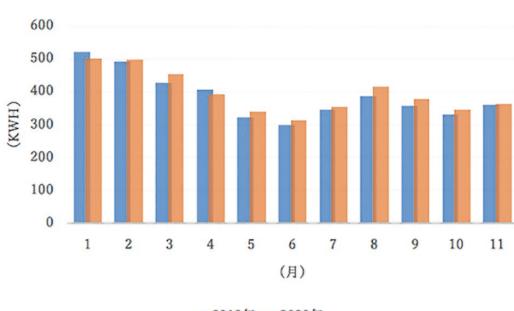


図1 世帯あたり電力消費量(2019年・2020年)  
注) 総務省「家計調査」より、筆者作成

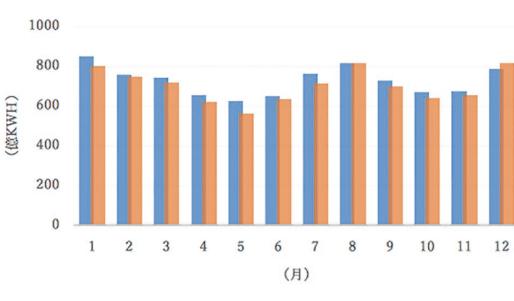


図2 電気事業者による電力消費量(2019年・2020年)  
注) 資源エネルギー庁「電力調査統計」より、筆者作成

ルギー庁「電力調査統計」から入手することができます。「これによる」と8月と12月を除くすべての月で減少しています。電力消費を行う部門別での割合を見てみると、産業部門が33%、業務部門が35%、家庭部門が30%、運輸部門が2%となっています。コロナ禍によつて在宅勤務や外出自粛による経済活動の停滞によつて、業務部門と産業部門で電力消費が減少したことがありとして考えられます。

では、人々が自宅での生活により長時間費やすようになったことで、家庭部門での電力消費はどう変化したのでしょうか。図2は、世帯当たり電力消費量について2019年と2020年を

比較したものです。データは総務省「家計調査」から入手することができます。これによると、2月と5月を除くすべての月で増加しています。家庭での工場、動力・照明他(家電機器の使用などを含む)の5つに分類されます。そして、最もエネルギー消費の割合が大きいのが動力・照明他(33・9%)、次いで給湯(28・8%)、暖房(24・7%)の順となっています。コロナ禍によつて在宅時間が増え、家電機器をより長時間使用したり、暖房や給湯の利用頻度が高まつたことが主な要因として考えられます。



森田稔

これだけの経済停滞を引き起こしたにも関わらずです。私たちの日常生活が、どれだけ多くのCO<sub>2</sub>を排出して成り立っているのかを改めて実感させられます。今後、ポストコロナ社会では、私たちライフスタイルそのものの見直し・再構築する必要があると、非常に強く感じます。

その一つに、電力消費が挙げられます。現在、再生可能エネルギーの割合を高めるために、様々な取り組みが日本国内で行われています。その中で、各地域「分散型エネルギー・システム」の構築が進められています。これは、再生可能エネルギーのよつな小規模な発電源を、電力の消費地（例：企業や家庭など）の近くに設置・発電するものです。そうすることで、各地域にあつた再生可能エネルギーによる環境に優しい発電と私たちの充実したライフスタイルの拡充が達成できると期待されます。

温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ」によると、2018年度時点での部門別CO<sub>2</sub>排出量は、発電及び熱発生に伴うCO<sub>2</sub>排出量を、そのまま生産者である電力事業者に計上した場合、エネルギー転換部門が最も大きく、全体の約40%を占めます。2019年度の電源構成は、原子力が6・2%、石炭が31・8%、水力が7・8%、天然ガス（LNG）が37・1%、石油等が6・8%、再生可能エネルギー（新エネ）が10・3%となっており、日本はCO<sub>2</sub>を多く排出する火力発電に大きく依存しているからです（資源エネルギー庁）。

国際エネルギー機関（IEA）によると、今回のパンデミックによって、2020年の世界のエネルギー関連のCO<sub>2</sub>排出量は前年比5・8%減少したことを見ています。世界全体で、

## ポストコロナ社会での地域づくりに必要な点

このように、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大は観光地にどのような影響を及ぼしたのか。簡単にではあるが、事例として群馬県の状況を見てみる。

群馬県は2020年6～7月に、県内の観光関連事業者を対象にアンケート調査を行った。その結果によれば、売上額および入込客・宿泊客について、対前年比で「50%以上減少」と回答した事業者が約70%であった（群馬県、2021a・8）。また、事業者が抱える営業面の課題・問題点（複数回答）では、「[新しい生活様式]に対応した営業形態」「店舗等の感染症対策」「資金繰り（新型コロナウイルス感染症に起因するもの）」が上位3点であり、それぞれ45%前後であった（群馬県、2021a・8）。新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光地の観光関連事業者は苦境に立たされているのである。

そういった中で群馬県は、2021年4月から3年間を対象とする群馬県観光振興計画を策定した。そこでは「ユーノーマル下における観光先進県」を目指すとし、図1の方向性を示した（群馬県、2021a・13）。感染

### 参考文献

- 環境省『令和3年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』
- 資源エネルギー庁『エネルギー白書2021』

# 逆境を乗り越え、持続可能な観光の実現へ

## 観光政策学科 井手 拓郎

防止を常態化させながら、これを機に長期滞在化・高付加価値化など変革を図り、観光の状況をV字回復させよう

というのである。実際に感染防止を促進するため、群馬県は宿泊事業者に対して感染拡大防止対策等に必要な経費の補助を行っている。3密回避のための客室改修からアクリル板などの飛沫対策、消毒液などの消毒費用まで補助対象品目は幅広い（群馬県宿泊施設感染拡大防止対策等支援補助金事務局、2021）。また、県内客の需要喚起策として「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」（群馬県、2021b）が開始された。2021年10月15日から試行、同年11月1日から本格実施。当初計画では同年12月31日までの実施予定期間ではある。その内容は、登録宿泊施設での宿泊代金（税込6,600円以上）/人泊の場合の一部を割引するもので、具体的には表1の通りである。

### 観光地の復活に向けて

観光地の復活に向けて、前述の感染拡大防止策や需要喚起策に加えて、今後期待されることとして以下の2点を本稿では挙げたい。

①高品質の「地域ならでは」の観光体験の提供

群馬県観光振興計画には、「長期滞在化・高付加価値化」が方向性として打ち出されている。具体的には、一人あたりの滞在日数を延ばし、また価値の高いモノ・コトを提供して、観光消費額を拡大する戦略である。このようなことは日本全国の観光地がねらっており、訪日外国人がしばらく戻つてこない状況において、数年は国内観光客の奪い合いが激化すると考えられる。この予測は外れて欲しいが、奪い合いの競争に負け、観光地として衰退してしまつところもおそらく出てくるだろう。

理想論かもしれないが、観光地間での競争によって「高品質の「地域ならでは」の観光体験」が多く開発され、それが観光需要を刺激し、多くの観光客が



井手拓郎

さまざまな観光地に何度も訪れる現象を期待したい。そのため、地域独自の資源をあらためて発掘し、それを磨き上げて商品化する取り組みや、質の高い観光サービスを提供するためのデジタル技術の活用・優秀な人材の育成など、地域をより魅力的にするための地域政策が必要である。行政や民間企業のみならず、非営利組織や大学も加わり、さまざまな主体が知恵を出しあつて有効な政策が立案・実施されていくことを期待したい。

## ②地元住民への配慮

ウイズコロナがしばらく続く中で、観光地の地元住民の中には地域外から人が来ることに大きな懸念を持つ人もいるだろう。それを放置していくと、観光振興への協力を得られないばかりか、トラブルの頻発やその悪化による観光振興反対運動などが起きかねない。観光地の復活に向け、地元住民の不安を解消していくことは最重要課題である。

まずは、観光関連事業者においてどのような感染拡大防止対策を行っているか、地元住民に積極的に情報提供することが必要である。また、行政や観光関連事業者は地元住民に寄り添い、どのような不安を持っているのか確認し、それに応じた対策を具体的に議論していくことも大切である。「地域をともに良くしていく」とするのである。それにより地元住民の観光振興への理解が高まり、「高品質の「地域ならでは」の観光体験」提供に向け、協力してもらえる可能性も出てくるだろう。

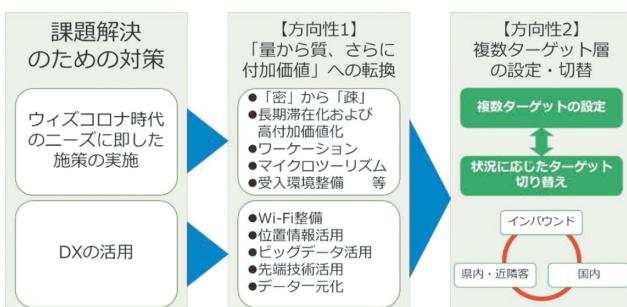


図1 群馬県観光振興計画の方向性  
出典：群馬県(2021a:13)に基づき作成

表1 愛郷ぐんまプロジェクト第3弾「宿泊キャンペーン」の内容

	割引額
1. 新型コロナワクチン2回接種済 (2回目接種から要15日以上経過)	
2. PCR検査陰性	5,000円／人泊
3. 年齢11歳以下 (同居家族全員が上記1または2の場合に限る)	
上記1~3以外の場合	3,000円／人泊

出典：群馬県(2021b)に基づき作成

## 新型コロナウイルス感染症 拡大を糧に

以上、群馬県をおもな事例に、新型コロナウイルス感染症の影響や地域観光政策の状況を整理し、今後の期待もまとめた。述べたことをあらため振り返つてみると、根本的には「持続可能な観光の実現」ということに辿り着く。新型コロナウイルス感染症の拡大という逆境を糧とし、持続可能な観光への取り組みが各地で活発に進むことを期待したい。

- 参考文献
- 群馬県(2021a)：「群馬県観光振興計画ニユーノーマル下における観光先進県へ」
  - 2021～2023群馬県産業経済部戦略セールス局観光魅力創出課
  - 群馬県(2021b)：「10月12日『愛郷ぐんまプロジェクト第3弾』の実施について（観光魅力創出課）」群馬県庁WEBサイト
  - https://www.pref.gunma.jp/roudou/g36g\_00235.html、最終閲覧2021年10月20日
  - 群馬県宿泊施設感染拡大防止対策等支援補助金事務局(2021)：「群馬県宿泊施設感染拡大防止対策等支援補助金WEBサイト」  
https://shukuhakushien.com/、最終閲覧2021年10月20日



# 地域政策学部 研究室紹介

## 地域政策学科

岩崎 忠	18	新田 浩司	26
金光 寛之	19	福間 聰	27
黒川 基裕	20	増田 正	28
佐藤 公俊	21	宮田 剛志	29
佐藤 徹	22	山本 匡毅	30
佐藤 英人	23	吉武 信彦	31
鈴木 陽子	24	米本 清	32
中村 匡克	25	若林 隆久	33



## 地域づくり学科

飯島 明宏	34
宇田 和子	35
太田 慧	36
熊澤 利和	37
櫻井 常矢	38
佐藤 彰彦	39
佐藤 和宏	40
鈴木耕太郎	41
高橋 栄作	42
高橋 伸次	43
高橋 美佐	44
田戸岡好香	45
坪井 明彦	46
友岡 邦之	47
西沢 淳男	48
原 史子	49
村山 元展	50
森田 稔	51
吉原美那子	52

## 観光政策学科

石井 清輝	54
井手 拓郎	55
小熊 仁	56
片岡 美喜	57
木暮 律子	58
小牧 幸代	59
関口 智子	60
西野 寿章	61
丸山 奈穂	62
八木橋慶一	63
安田 慎	64

## 新任教員

〈地域政策学科〉 長野 博一	66
〈観光政策学科〉 田中 宏和	67



## 担当教員の研究

## 制度改編への対応 地方分権改革等の

自治体行政は、地方分権改革を通じて、機関委任事務が廃止され、義務付け・枠付けの見直しによる規制緩和と権限移譲により、自治体による主体的な政策立案や政策実施が求められるようになっています。一方、企業経営の発想や手法を持ち込むNPM(New Public Management)の理念と手法が導入され、民営化、民間委託の推進、指定管理者制度が導入されるなど公共経営の制度と運営方法は変化してきています。

人口減少時代の  
地方創生への対応

一方、戦後数十年、わが国は、人口増加、経済成長という右肩上がりの状況で成長してきましたが、今後は、人口減少、経済縮小という右肩下がりの時代が続くことになります。誰もが経験したことがないショックする時代の中で、身近な公共施設は老朽化するとともに、空き家、空き用地、空きビルは噴出し、後継者不足に起因する耕作放棄地はますます顕在化することが予想されます。こうした状況を踏まえ、自治体は国の地方創生政策を受けて、地方版総合戦略を作成し、地域活性化に向けて取り組んでいます。また、自治体は、公共施設等管理計画を作成し、公共施設の見直し検討に取り組んでいますが、自治体財政を大きく圧迫する可能性は否定できません。

## 新型コロナ(COVID-19) への対応

さらに、現在は、COVID-19という厄災禍に直面し、行政は様々位置づけられたことから権力集中による対策という指向性が埋め込まれたまといえます。権力集中での政策に迷走しながら、感染症蔓延防止対策、医療提供体制確保、経済生活安定の3軸構造は、問題解決を難渋させました。こうしたコロナ禍の中での行政対応は、国の法制度と財源によって進められてきましたが、実際に実施したのは都道府県と市区町村といった自治体です。こうした自治体を取り巻く環境が変化する中で、自治体の現場はどうかなり差異が生じています。

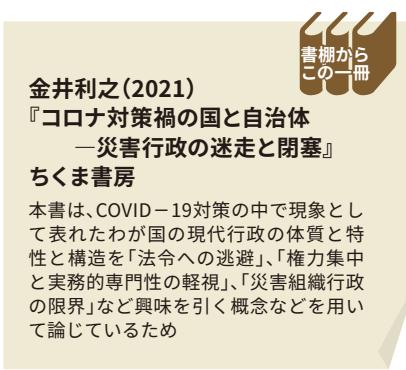


# アクティブかつチャレンジングな大学生活を送ろう!!

## ゼミの活動内容

岩崎ゼミは、地方自治に関する知識を吸収するだけでなく、知識を活かすことに力を入れています。そうすることで、ゼミ生は社会人になると課題に直面した時も、自力で解決できると考えています。現在は、「人口減少時代の地方創生」という大きなテーマを掲げ、「子育て支援」「地域活性化まちづくり」「小さな拠点づくり（廃校施設の利活用）」などに取り組んでいます。まずは、具体的なテーマの専門書（文献）を輪読し、知識を吸収します。その後、輪読した内容について現地調査を行い、現状をしっかりと把握した上で、自治体と連携し、政策提案等を行っています。

最近の主な活動としては、前橋市のSWOT分析を行った上で、前橋市の強み（魅力）を明らかにし、それの強みに対する有力なデータをピックアップし、前橋市の強みを「データで見る前橋市の魅力」というリーフレット（冊子）にまとめました。この事業は、エビデンス（証拠・事実）に基づく政策立案（EBPM）の具体的な作業であり、社会人として政策立案する際の大切なノウハウを学ぶことができたと思います。また、佐野市では、キャッチコピー作成事業に参画し、市職員が提案を行うとともにゼミ生各自が提案を行いました。最終的に、ゼミ生が提案した、佐野市を訪れた人が、グルメや自然、観光名所といった魅力に気付いて、巡り合う素敵な場所であつて欲しいという願いを込められた「今日、佐野で逢いました。」が、佐野市キヤツチコピーに決定しました。



## 担当教員の研究

## 不動産売買契約の方式

私の研究内容は、民法の中でも、財産法と環境法に関する内容がメインとなっている。

より具体的にのべると、財産法の中でも不動産の売買契約と所有権譲渡の方式についての研究を中心に行っている。この不動産の売買契約と所有権譲渡の方式については様々な方法があり、実務上でも様々なトラブルを巻き起こしている。

たとえば、不動産を購入する際に一般的には契約書の作成が行われていると考えられるが、民法の規定ではどうなのであろうか。また、民法以外の特別法の規定ではどうなっているのだろうか。仮に、法律に規定されている方法以外で契約が締結された場合、契約は有効に成立するのであろうか。契約の交渉段階における契約当事者間の取り決

め等の問題について法律上ではどうなのか。このような事柄について判例および学説を参考にした上で、実務においてトラブルを未然に防ぐ方法を模索している。

また、海外の制度を参考にした上で、日本民法および特別法に対する解釈論および立法論に役立つような研究を進めている。

## 自然再生に関する法的問題

環境法については、自然再生に関する法的な問題についての研究を行っている。自然再生といっても多岐にわたるが、その中でも、海辺の自然再生について重点的に研究を行っている。

金光寛之  
研究室

様々な自然再生事業を行えばよいと考えられるが、海浜および海中にあつており、また経済との両立を考えると自然再生のみを行うことは不可能である。

そこで、自然再生とその他の法律との関係および諸問題をいかにして解決すべきか、ということについて研究を行っている。

# 大学生活を有意義に 楽しんでください。



## 担当教員の情報

職位	教授
専門分野	民法、環境法
担当科目	民法総則、物権法、債権法、演習

小宮輝之監修  
『つれてこられただけなのに  
一外来生物の言い分をきくー』  
偕成社



## ゼミの活動内容

金光ゼミナールでは、民法に関する日常的な事例問題の課題を与え、その事例問題の法律関係についてゼミ生に調べてきてもらい、発表をしてもらっている。

そもそも民法は、我々が日常生活における事柄、たとえば物を購入したり、アパートを借りたり、アパートをしたり等の法律問題について規定したものである。抽象的な概念である法律というものが、我々の具体的な日常生活にどのように役だたせるかが金光ゼミナールの狙いである。

また、ゼミ生からの希望があれば裁判所等の見学やゼミ合宿も行う次第である。

## 担当教員の研究

# 黒川 基裕 研究室



## 技術とデザインで 途上国を彩る

自分の目指したい場所が2秒で見つかりました。途上国の開発課題を分析するだけではなく、処方箋としてのプログラムや政策の提供も目指していく、定量分析を採用しながらもフィールドでの活動も重視する、そんな欲張りな開発経済学に没入してきました。

スタイリングを整えることで、商品の価値を高めたり、人々を楽しい気持ちにさせたりすることもできます。具体的には、途上国の生活向上につながる製品をひたすら開発すること(ミヤンマー)、食品や工芸品をパッケージデザインなどでアップグレードすること(ベトナム)、現地のデザイン人材を育成すること(ガーナ)、などが研究テーマです。



現在進行中のプロジェクトは、次の3つです。1つは、調理中の煙害を低減するための無煙クッキングストーブの開発です。現地のニーズを吸収しながら試作品を造り、ミヤンマーにあるプロジェクトサイトで繰り返し実証実験に取り組んでいます。もう1つは、ヒ素を除去できる浄水器の開発です。途上国向けの浄水器はいくらでもあります。が、業界最安値を目指しています。その他国内外をフィールドにした「地域資源フル活用プロジェクト」があります。「これは、地域の特産品にデザインをインプットして観光資源として育てる活動です。ベトナムの工芸品のアップグレードに取り組んでいます。

## 消費者から生産者へ

### ゼミの活動内容



### 高村薫(1997) 『リヴィエラを撃て』 新潮文庫

人間の極限部分を削り出すように描いている高村文学を通じて、物事の背景や人の心の機微に思い至る人を目指しましょう。

そんな折、出席しなくても単位がもらえることで有名だった開発経済学の講義に顔を出してみたら、感心られませんでした。

大学3回生の頃、「卒業したら、経済学の知識を活かせる仕事に就きたいな」と考っていたのですが、計量経済学のゼミで勉強していると、リアルな経済活動を捉えることから遠ざかっているような気がしましたし、その後に産業分析や経済予測に取り組んで、エコノミストを名乗ることにもトキメキを感じられませんでした。

デaignerは、「整える」ことが仕事ですから、生産現場を効率的にしたり、ビジネスモデルを安定化させたりすることができます。もちろん、

黒川研究室は、10年以上に渡って「技術とデザインで途上国を彩る」という明確なブランドビジョンを発信しています。このビジョンを達成するために、演習の時間には開発経済学、国際ビジネス、デザイン学の基礎理論を勉強し、それ以外の時間にはプロジェクトを推進しています。

## 担当教員の研究

**中心市街地・商店街の活性化**

私は「国や地方自治体が地域社会の問題解決をする仕組み」について研究しています。それに加えて、近年では「ミニユニティ（共同体、例えば自治会や町内会などの役割）を重視しています。研究分野としては政治学、公共政策学ですが、最近は地域政策、公共政策の研究者と自己規定しています。

地域政策研究における古典的な課題として「中心市街地・商店街の活性化」があります。これについては解決がなされないまま50年以上が経つてしまい、今なお課題であります。地域社会の問題解決はそのくらい難しいのです。これまで

国・地方自治体などの政府公共部門、町内会・自治会などの「ミニユニティ」をいかに機能させるか、市民がこれらのシステムをいかに上手に使いこなすか、研究と実践を通じてこれらのことを探るのですが、私が現在研究者として自らに課している課題です。

**政府の使い手としての市民****地域社会の問題解決を目指して**

## 担当教員の情報

職位 教授  
専門分野 地域政策、公共政策  
担当科目 地域政策論、公共政策論 演習



での失敗を見つめなおし、解決策を模索し、未来の地域社会を「デザインする」というのが、地域政策を研究することだと考えています。

**空き家問題**

空き家は近年大きな社会的問題となっています。家は最も重要な生活基盤であるとはいえ市民の個人的問題なのですが、安全な社会の実現のためには自己責任で済ますことはできない社会的問題でもあります。したがって人口増加期には住宅不足が発生し、政府はその対応に追われます。一方人口減少期には住宅過剰となり、空き家の問題に対する政府があたふたしなくてはなりません。

わが国においては、住宅不足と住宅過剰の変化が、わずか30～40年の間に訪れたので、対応に大変苦慮しています。そしてその苦悩は地方自治体、地域社会に重くのしかかっています。この問題は私にとってここ数年の大好きな研究課題であり、今後も大きなテーマであり続けることでしょう。

**ゼミの活動内容****F・ハイエク  
『隸従への道』  
東京創元社**

1944年に出版された古典ですが、今の時代に読む価値は極めて大きいです。全体主義に対する危機感は、現代的に重要なテーマです。

- 佐藤公俊ゼミは、問題解決能力の向上と社会に出で仕事ができる素養を身に付けることを目的として、地域政策的な課題等を対象として、教室内外で活動を進めることを基本としています。
- ①グループ研究：2、3年生はグループ研究を行い、毎回プレゼンテーションを行っています。フィールドワーク、インタビューアンケートなどを行うことが多いです。
  - ②プレゼンテーション：全学年とも研究等を格好良く発表する手法を研究しています。
  - ③ディスカッション：グループ・ディスカッションを定期的に行います。就活を意識しています。
  - ④卒業論文：3年生時に培った能力を基礎に、4年生時に頑張ります。
  - ⑤ゼミ合宿等の交流：学年をまたいだ交流を大切にしています。
- 基本的にアウトプット中心のゼミで、インプットは各自で行っています。せっかくゼミ生が集まっているのだから、みなさん、どんどんアウトプットして（しゃべって）、が基本コンセプトです。

**佐藤公俊研究室**

## 担当教員の研究

これまで一貫して、自治体行政や自治体政策を対象に、行政学の見地から社会科学的アプローチに基づく実証研究を進めてきました。他大学の研究者との共同研究にも積極的に参加していますので、住民自治とまちづくり、SDGsと行政計画、住民参加における対話の効果など研究テーマは多岐にわたります。最近特に力を入れている研究テーマは、EBPMとロジックモデルです。

## エビデンスに基づく政策立案

EBPMは、Evidence-Based Policy Makingの略称であり、「エビデンスに基づく政策立案」と訳されます。EBPMでは個人的な経験や勘・固定観念や先入観、エビソードや慣例などにとらわれるのでではなく、データや科学的な証拠に基づいて政策決定を行おうとするものです。EBPMは英国や米国が先行していますが、近年、わが国の政府や自治体においても推進されています。

## データによる政策効果の検証

それでは、EBPMをどのように進めていけばよいのでしょうか。「中心市街地の活性化」という施策を例にとって考えてみましょう。まずは、この施策が「現在、どのような状態にあるのか」や「将来、どのような状態を目指すのか」を明らかにしておく必要があります。その上でそれを測定するためのアウトカム指標（成果を測る尺度）の設

定とデータの収集・調査が不可欠です。さらに、ある事業を行うことによって「中心市街地の活性化」を図るうとする場合、その事業の実施によってどの程度の効果があつたのかをデータで検証します。その結果から得られたエビデンスをもとに政策の立案や評価を行います。

## EBPMの推進はロジックモデルの構築から

このとき、「その事業を実施した結果、中心市街地が活性化される」と言う因果関係に関する「仮説」が存在するはずです。これはどのような政策にも当てはまります。政策には、資源の投入（インプット）から最終的な成果（アウトカム）が発現するまでの因果関係言い換えれば、政策の目的とその実現手段との間の論理的関係が想定されています。「これをわかりやすく図式化・可視化したものを「ロジックモデル（Logic Model）といいます。」

EBPMの前提として、政策のロジックモデルを明らかにしておくことが大切です。そのため自治体政策のロジックモデルの研究を進めています。



**自治体職員や公務員となり、  
地域政策やまちづくりの第一線で  
活躍したい人は、  
ぜひ門を叩いてみてください。**

## ゼミの活動内容

人口減少、少子・高齢化、住民の価値観の多様化、財政危機の深刻化が進むなか、行政は住民に対する説明責任を果たしながらサービスの効率化や成果重視の経営が求められています。それでは、行政はいかにして住民ニーズに対応した政策を立案し実行すればよいのでしょうか。また行政はどのように民間セクターと協働しながら、様々な公共問題を解決し、持続可能なまちづくりを行えばよいのでしょうか。こうした諸課題に対し、「理論」と「実践」の両面からアプローチしています。

ゼミでは、行政学、地方自治、公政策の理論のみならず、実践にとづく生きた研究を目指しています。文献調査をもとにしたディスクッションはもちろん、自治体を対象にアンケート調査を行ったり、インタビュー調査に出かけたりします。そして、一人ひとりがリサーチクエスチョンと仮説を設定し、調査研究を進め、卒業論文を完成させます。私自身が国や自治体の委員・アドバイザーとして政策過程に積極的に参画しており、現場での観察から得た知見なども教育や研究に生かしています。

# 佐藤徹 研究室

## 担当教員の情報

位 教授

専門分野 行政学、地方自治論  
公共政策論担当科目 行政学、政策科学  
政策評価論、演習

## 佐藤徹編著(2021)『エビデンスに基づく自治体政策入門』公職研

近年、わが国や自治体において、エビデンスに基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making:EBPM)が推進されています。また、コロナ禍で、あらためて「エビデンス」とは何かが問われています。本書は、自治体におけるEBPMの入門書としてまとめ上げたものです。公共政策や地方自治を学ぶ大学生にも是非読んでほしいと思います。



## 担当教員の研究

**東京一極集中の是正に向けた  
多拠点居住の可能性に関する  
研究**

多拠点居住は、東京一極集中の是正や空き家住宅の有効活用、知識創造の新たな装置として可能性を秘めた新しいライフスタイルといえます。どのような人物が、どのように目的で、どのように移動しながら、多拠点居住を成立させているのか、多拠点居住の特性を理解することができます。この研究の目的です。特性が理解できれば、都市問題の解決に向かって、郊外、都市と農村、中央と地方との対置された空間概念に、大幅な修正を迫ることになるでしょう。

**郊外住宅地における高齢化と  
空き家対策に関する研究**

2010年以降、日本は人口減少・少子高齢化社会に移行しました。建設から半世紀が経過したニュータウンの多くでは、住民の高齢化と建物の老朽化という二つの「老い」に直面しています。住民の高齢化を抑止するためには、世代交代を速やかに進める必要があります。しかし、次世代の住まい手とされる団塊ジュニア世代は、不安定なライフコースを辿ってきており、団塊世代が築き上げた社会経済的に均質な郊外住宅地を継承できない可能性が考えられます。この研究では、人口が維持される住宅地と維持されない住宅地を比較しながら、郊外

住宅地の選別・淘汰のメカニズムを明らかにします。

**最寄駅徒歩圏居住と中古住宅  
の役割に関する研究**

日本の住宅市場は主に新築住宅で構成されており、中古住宅の普及が欧米諸国よりも立ち遅れています。ただし、中古住宅は新築住宅よりも物件の種類が豊富なため、幅広い所得層に取得機会を与えるなど、一般消費者がニーズに合った住宅を選択しやすいメリットがあります。たとえば、身体機能の弱化を見た高齢世帯が、最寄駅非徒歩圏に所有する戸建住宅を処分して、最寄駅徒歩圏の中古集合住宅へ住み替えるケースは、中古住宅の新たな需要を喚起する動向として注目されます。この研究では、中古住宅の普及促進に向けた都市のあり方を考えていきます。



## 偶然の出会いがもたらす 新たな発見(serendipity)を探してみましょう!

## ゼミの活動内容

2年次の基礎演習では、まず現代の都市問題に関する文献を用いて輪読をします。文献に書かれている内容を理解することはもちろん、著者の主張が正しいのか批判的に読み込むことで、自分自身の考え方や新しい発想力を養います。つきに地理情報システム(GIS)とExcelを使つてさまざまな地図を作成し、基本的な地域分析の手法を学びます。

3年次の演習Iでは、三扇祭のプレゼン大会に向けてグループ研究に取り組みます。2年次で培つたGISを駆使して、「これまで高崎市の土地利用変化や郊外住宅地の高齢化など、地域分析に取り組みました。3年次の後半から4年次の演習IIにかけては、卒業論文の執筆に向けた準備を進めます。

なお、3年次の夏休みには海外巡検を実施します。国内外の都市を比較するために、シンガポール、香港、高雄などを訪れました。基礎演習で、どこに、なにを調べてくるのか、海外巡検の企画・立案もおこないますので、ぜひ自分が訪れてみたい国や地域を考えておきましょう。



箸本健二・武者忠彦編  
(2021)

『空き不動産問題から考える地方都市再生』

ナカニシヤ出版

人口減少・少子高齢化に直面する日本の地方都市。いかにして活力を与えていくべきか、地域の事例からそのヒントが詳しく述べられています。



## 担当教員の研究

立法事実の変遷  
と合憲性判断について

最近、私が興味を持つて取り組んでいるテーマは、社会状況が変化しているにもかかわらず法律が改正されないことに対する裁判所はどういう評価し、判断しているかということです。

法律は社会的、経済的、政治的な背景などを考慮して立法機関である国会で制定されます。法律を制定する際に法律の基礎となって合理性を支える社会的、経済的、政治的事実がこれらのことには科学的事実も含まれますを立法事実といいます。裁判所が立法事実を用いて、問題となつた法律が憲法に適合しているか判断する手法は以前から行われています。ですが法律の制定から時間が経つと、法律を制定したときの社会状況が異なつてくること（立法事実と法律の乖離）が起こることがあります。そのため裁判所は法律の制定時から社会状況などが変化したこと、つまり立法事実と法律が乖離したことの理由として、その法律が憲法に反するものと判断することがあります。例えば、在外邦人選挙権訴訟（最大判平成17・9・14や国籍法違憲判決（最大判平成20・6・4）、婚外子相続分違憲判決（最大判平成25・9・4など）で、この手法を用いて問題となる法律を違憲と判断しています。では立法事実と法律の乖離はどの程度になれば違憲と判断される

のでしょうか。裁判所はどのようにして立法事実を見出し、それを違憲であると認定するのか、またいつの時点で立法事実と法律が乖離したと認定するか、などについての基準を明らかではありません「このため立法事実の変遷を認めた違憲判断は判断理由が不明確である、場当たり的な判断であるとして批判されています。立法事実が乖離したことと裁判所が判断する枠組みや、立法事実の性質および役割についての検討が必要な領域であるといえます。

また注意深く判決をみてみると、裁判所は立法事実が乖離しつつある状態を指摘するといった立法事実の評価を通じて補完的に法改正の猶予を促す、判決を通じて法改正の猶予を与えるといった作用を行なつているのではないかと考えられる部分もあり、この点も興味深いテーマです。

担当教員の情報	
<b>職位</b>	教授
<b>専門分野</b>	憲法学（日本、アメリカ）
<b>担当科目</b>	法学、憲法、比較憲法 演習



鈴木陽子  
研究室

自分で考えて出した答えなら、通説でなくてもいいと思います。



安念潤司、小山剛、青井未帆、  
宍戸常寿、山本龍彦（2014）  
『憲法を学ぶための基礎知識  
論点 日本国憲法〔第二版〕』  
東京法令出版

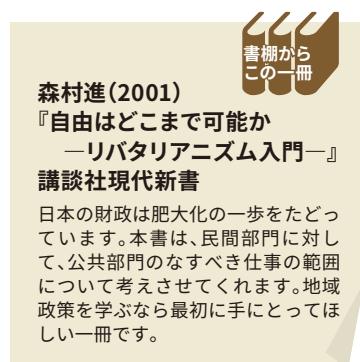
憲法に関する本としては中高の教科書のような体裁で図版も多く、一つの項目が見開きで書かれていて気軽に読み始められます。

## 担当教員の研究

**かけがえのないもの、  
それは「自由」**

私たちにとって「自由」はかけがえのないものです。昨今経験した感染症のパンデミックは、このことを深く実感させてくれました。他国の政治情勢に関する近年の報道からも、その大きさが伝わってきます。

今日の日本では、表現や宗教などの個人的自由の尊重は誰もが認めるところだと思います。しかし、経済的自由の尊重については意見が大きくわかれるようです。平等な社会の実現のために、積極的な政府介入が必要だと考える人もいます。一方、政府が強大な権力がもつことを危惧し、その役割は最小限にとどめおくべきだと考える人もいます。

**公共選択論とはなにか？**

**森村進(2001)  
『自由はどこまで可能か  
—リバタリアニズム入門—』**  
講談社現代新書

日本の財政は肥大化の一歩をたどっています。本書は、民間部門に対して、公共部門のなすべき仕事の範囲について考えさせてくれます。地域政策を学ぶなら最初に手にとってほしい一冊です。

## 中村匡克 研究室



担当教員の情報

職位 教授

専門分野 公共選択、財政・地方財政、公共政策

担当科目 財政学、地方財政論、ミクロ経済学、演習

## 地域政策研究 公共選択論の視点を踏まえた

の利害対立がつきまとでの、必要なときはあらかじめ定められた民 主的手続きに従つて決めましょうと主張します。ですが、その民主的手続きも問題を抱えていることがわかつています。

このように、公共選択論は社会システムのあり方の基本に関する考え方や、その研究分野は多岐にわたります。政府のあり方を踏まえた国および地方自治体の財政、もちろん財政と表裏一体の関係にある公 共政策、民主主義の根幹に関わる選挙制度、政策決定に影響する官僚制や行政組織などはいずれも研究対象です。

私も地域政策学部にお世話になつてだいぶ時間が経ちました。近年は、公共選択論の視点を踏まえた地域政策地理的にみて一定範囲に便益をもたらす公共政策)の研究を取り組んでいます。

これから時代、というよりいつの時代も、将来の情勢は予測不可能なもので。一方、近年におけるITやAI、ロボット技術の飛躍的進歩は、私たちのライフスタイルを大きく変化させつつあります。卒業後も社会においてたくましく生きていける力こそ、みなさんが大学で身につけるべき能力ではないでしょうか。

このような問題意識から本研究室では、考え方力をはじめ、情報リテラシー、デザイン力、プレゼン力などの能力向上に資するさまざま

的な教育プログラムを用意しています。どのゼミにも負けないコンピュータ活用能力の習得を目標に、エクセルを中心としてワードやパワーポイントの操作実習をしていきます。研究過程においては、深い思考力を身に着けられるよう、学生同士または学生・教員間のやりとりに時間をかけています。研究ポスターの作成を通じて、要点をまとめる力やデザイン力の鍛錬も行っています。また、学内外の発表会への参加も促して、井の中の蛙とならないよう指導しています。

## 外国人の受け入れ

我が国の人口は減少傾向にあり、その結果労働力不足が深刻なものとなっている。この労働力不足に対し、政府は技能実習制度の導入等により、外国人を受け入れることで労働力不足に対応している。

外国人の受け入れは将来的には、我が国における移民制度の導入も検討することになることが予想され、その結果国内において様々な問題を生じる恐れがある。

私は外国人の我が國への受け入れに関する様々な問題について、行政法的に研究を続けている。それに加えて難民問題も我が国の重要な課題である。

そもそも国民とは何か、新たに帰化によって国民となる場合の要件、手続き、例えば、国家に対する忠誠の誓いなども重要な研究テーマとなっている。

# 時間がたっぷりある 学生時代だからこそ、 いろいろな経験を 積んでください。



## ゼミの活動内容

当ゼミでは、行政法について判例研究を中心に行なっている。行政研究対象は多岐にわたるが、たとえば、昨今問題となっている新型コロナ感染症などの疫病問題、原子力発電等のエネルギー問題、地震や台風など災害問題あるいはダム建設などの公共事業に関する問題などは、全て行政法に関わる問題である。

これらの問題を検討するためには、行政法の基礎知識の習得は不可欠なので、最初に行政法教科書の輪読を行い、その後、行政法に関する様々な判例を研究している。

ゼミでの研究成果は、各自の卒業論文として結実することになるが、個別具体的な問題について問題点を整理し、資料を収集し、論文にまとめる作業は、その後の実社会においても有意義なスキルとなる。

## 航空法

航空法は、行政法をはじめとして商法、民法、刑法、国際法等様々な法領域に亘るが、私は行政法学の立場から、航空法を研究している。

航空行政法の体系化を試みるとともに、個別的な研究テーマについて研究している。

たとえば、全地球的航空管制システム(GPS)を中心とした航空管制等の航空保安施設に関する研究、あるいは、無人航空機の導入が実用段階になつていて、無人航空機の法規制の現状そして将来の有りよう等である。



担当教員の情報

職位 教授

専門分野 行政法、航空法

担当科目 行政法総論、行政法各論、法学、演習



### 外山滋比古『思考の整理学』ちくま文庫

自らの頭を使って学ぶ。「学び」に対する姿勢を養える。

## 担当教員の研究

## ジョン・ロールズの 道徳・政治哲学研究

英語圏の倫理学および社会哲学が私の専門分野であり、とりわけ、ジョン・ロールズ（1921-2002）というアメリカの道徳・政治学者の研究を長年続けてきました。ロールズは「社会正義とは何か」という一つのテーマだけを考察し続けた特異な学者であり、功利主義的な政策（最大多数の最大幸福）一辺倒であったこれまでの社会の在り方に對して、それとは異なる望ましい社会の姿を提示しています。すなわち、全ての人びとに対し市民的・政治的な自由と権利を平等に保障すること、ならびに社会的な機会の公正な平等を確保し、許容できる社会格差の規準を設けること、これらの原則を諸制度（法、政治、経済制度）において実現する社会が「公正な社会」であるとロールズは提唱しています。ロールズの道徳・政治哲学に対しては、その主著である『正義論』（1971）の發表以来、多くの哲学者から様々な批判がありますが、現代社会におけるその重要性は未だ色褪せてはいません。ロールズの哲学を批判的に吟味し、その意義と可能性を現代日本社会の文脈において考察しています。

## 倫理学における 非理想理論の構築

現在の研究課題は「倫理学における非理想理論の構築」です。近年、「理想理論・非理想理論」という主題が、とりわけ政治哲学において、高い関心を呼んでいます。本研究では、他者が道徳的義務に従つておらず、そうした義務を履行させるための正しい制度も存在しないという望ましくない状況すなわち非理想的な状況において私たちは何をすべきかについて考察しています。この問題は倫理学におけるその重要性にも関わらず、これまで十分注目されてはいませんでした。他人々が自身の道徳的義務を果たしていない——すなわち、不遵守の場合においても、私たちは自らの道徳的義務を果たすべきであるのでしょうか。従来の倫理学理論が非理想的な状況に対しても何を答えるのかを批判的に吟味することを通じて、またメディアやマスコミで取り上げられている社会的な事象を踏まえながら考察します。

## ゼミの活動内容

予定としては、2・3年次では上記の問題について論じている文献を輪読し、3年次末までには卒業論文のテーマを各自選択する。そして4年次前期には各自選択したテーマに基づいて研究発表してもらい、後期には卒業論文の完成を目指します。

さらに長期休暇中には学外授業として博物館や美術館等の見学、またゼミ生からの希望があればゼミ合宿なども行います。本を読み、映画を見たりしながら、哲学的、社会的な問題について考え、議論することが好きな学生の参加を期待しています。



## 福間聰研究室

担当教員の情報	
職位	教授
専門分野	倫理学、社会哲学
応用哲学、死生学	
担当科目	公共哲学、倫理学 法哲学、演習

ジョン・ロールズ  
(神島裕子・福間聰訳)  
『政治的リベラリズム(増補版)』  
筑摩書房 2022年



私が長年研究してきたジョン・ロールズの第二の主著であり、「包括的リベラリズム」から「政治的リベラリズム」へと自らの<公正としての正義>という正義構想を発展的に修正することを試みた書です。価値の多元状態にある現代社会において市民の間での正義構想への合意、そして社会の安定性はどういうふうにすれば獲得・維持ができるのかを本書でロールズは探求しています。

## 地方議会会議録の内容分析

国会にしても、地方議会にしても、オンライン動画やライブ中継が視聴できるようになってきました。政治世界のデジタル化の進展は、遠かつた政治や議会を身近なもの、アクセスしやすいものに変えてくれています。

行政機関では、好んで組織間の相互参照が行われることが普通ですが、地方議会はどうちらかというと「独特の世界観」を維持しようとするとする傾向があるようです。皆さんは、トランプやリノなどのカード・ゲームで、知っているルールが友達と違つて困惑したことはありますか？ 地方議会は、まさにローカル・ルールの巣窟のようないわけです。研究では、そうした地方議会の「多様性」をテキスト・マイニングの手法を使って、「一般化」したいと思っています。

## フランス政治研究

研究者としての出発点は「現代フランス政治」でした。90年代の政治改革期に、研究室内でフランス選挙研究に取り組んでいる大学院生が多いなかつたので、入学早々抜擢されました。研究計画では、英仏文化の交わる「カナダ地域研究」をやろうと思っていたので正直面喰いましてが、明治以来、日本が参考にして

# 増田正研究室



担当教員の情報

職位 教授

専門分野 政治学、主権者教育、投票行動論

担当科目 政治学、地方政治論、現代政治論、演習



ペーテル・エールディ

高見典和訳(2020)

『ランキング 私たちはなぜ順位が気になるのか?』

日本評論社

巷にあふれるランキングは、客観的に見えるものもありますが、どれも主觀性を排除できません。「地域ブランドランキング」が世間を毎年のように騒がせていますが、あれは業者の販売ビジネスです。そうとはわかっていても、順位や格付けを必要以上に気にしてしまうあなた、ぜひこの本を読んで、ランキングの本質について考えてみてはいかがですか。

## 担当教員の研究

フランスでも「フランス的例外」という言葉があります。複数の政治体制を客観的に比較するのは極めて難しく、「対象を知れば知るほどかえって単純化できなくなる」というジレンマがあります。それは自分自身を客観視できないことと似ているかもしれません。日本を知るために、もっとフランスを知る、フランスを知るために、もっと日本を知るよう常に心がけています。

## 自ら考え、みんなと議論し、変わっていこう！



### ゼミの活動内容

ゼミでは、みんなで考え、議論し、行動するという民主主義社会において当たり前の行為を日々追求します。これは主権者教育の実践そのものです。全国43団体が参加する「若者選挙ネットワーク」や県内17大学等が参加する「主権者教育を推進する群馬県大学コソーシアム」に参画し、積極的に全国の若者をリードしていきます。

## 担当教員の研究

## 日本経済の成長と農業の適応

日本の農業構造の中で最も構造再編が進んだ畜産に焦点をめて、これまでの日本経済の成長に対する適応プロセスについて検証を行つてきました。畜産經營において構造再編が進展した要因としては、戦後の食料消費の拡大のもと農産物価格政策が展開したこと、飼料生産を海外に依存することで土地利用からの脱却がはかられたこと、群衆管理技術が確立したこと、等が挙げられます。

また、構造再編の最先端に形成されている大規模農家、大規模法人経営では、高い技術水準<sup>II</sup>生産性に支えられ、収益<sup>II</sup>成長の源泉が確保され、財務内容の安定性も増してしました。そこで事業規模（資本金、従業員数、売上高等）は農家の枠組みを大きく超えて地域の中企業の水準にまで到達しています。以上の点を、現在、口蹄疫の発生で非常に大きな被害を受けている宮崎県川南町や都城市的実態分析等からも行つてきました。

水田農業の再建、  
土地利用型農業、

対照的に、日本の土地利用型農業、特に水田農業では、経済成長に伴う所得の上昇に農地の集積がはるかに及ばなかつたため、「兼業化」というかたちで適応がはかられてきました。ただし、ある種安定状態にあるかのようにみえた「兼業

農業」は「昭和一桁世代」（2010年すべて75歳以上）のリタイアともあいまつて急速にその持続性を喪失させつつあります。そこで、異業種、特に、地域の建設業からの土建工事への参入が、その再建への一步を導くのか、否かについても全国各地の実態から解明を進めています。その際、食用米の恒常的生産過剰と飼料穀物の自給基盤の未確保といった隘路を切り拓くためにも食用米の飼料化といった点に着目しながら研究を進めています。



## 担当教員の情報

<b>職位</b>	准教授
<b>専門分野</b>	農政学 農業構造問題
<b>担当科目</b>	農業経済学 農業・農村政策論 フードシステム論 演習

## 学問のフロンティアの拡大。 全く思うようにはいきませんし、しんどいですが、 とてもとてもわくわくすることではあります。

## 宮田剛志研究室

## ゼミの活動内容

近代国家の形成以来、農業は政策と強い関係を持ち続けています。资本主义国ではもちろん、旧社会主義国でもそうでした。それは何故でしょうか？また、20世紀末からWTO体制の発足、食料・農業分野でのグローバリゼーションの本格化により、世界的規模で農業・農村地域政策が刷新されています。それは何故でしょうか？当研究室ではこうした現代社会の根源的な問題と関わる課題の解説を進めています。経営学と経済学・社会学等の関連する学問の研究方法を用いながら、同時に地域ごとに様々な「顔」を持つ農業構造や地域社会構造、食料消費の実態を的確に把握するため、濃密なフィールドワークを大切にします。「ひとつの農家、ひとつのムラの現実から、世界の動きを見る」ことに挑戦しています。そして、フィールドワークに基づいた研究とそれを土台にした理倫的研究を進めており、国内問題に限らず国際的な視野（農業経営の国際比較や先進国農政の刷新、開発途上国農村開発への貢献等々）を持ち、また、実践性（問題解決型のアプローチやケーブルネットワーキングの導入）を意識した研究も進めています。

食料・農業・農村の実態に対する理解を基礎に、この学問分野のフロンティアの拡大と一緒に目指していくませんか？当研究室のモットーはwarm heart cool headです。

## 担当教員の研究

## 航空宇宙産業の研究

私は航空宇宙産業の研究に力を入れています。航空宇宙産業とは「官民に関わらず飛行機、ロケット、及び人工衛星を製造、運用する産業」のことです。私は特に民間航空機産業の研究を進めてきました。

民間航空機産業は寡占産業(市場を数社で占有)と呼ばれ、世界で民間航空機を製造できる主要メーカーが3社しかありません。民間航空機メーカーはグローバル・サプライチェーン(世界的な供給連鎖)によって、世界から最適な部品調達を行っています。

民間航空機は、1機当たり100万点以上の部品で作られており、この部品は世界の企業、中でも中小企業(サプライヤー)によって生産されています。国内にも民間航空機部品を生産している中小企業が多数あり、新規受注や受注拡大を目指してきました。このような航空宇宙産業の構造を解明することが研究テーマの一つです。

## 周辺地域における先端産業の立地研究

もう一つの研究テーマは、先端産業の立地が空間的に周辺化していく要因の解明です。例えば先端産業である民間航空機産業では、安全性を確保するために、難しい加工技術と厳しい品質管理が求められます。

右されるという課題を内在させています。かかる状況を踏まえ、周辺地域へ民間航空機部品のサプライヤーが立地するようになつてきました。このことは、企業の利益が出にくく、地域経済がグローバル競争に左います。そのため日本でも周辺地域と影響を考えています。

担当教員の情報	
職位	教授
専門分野	経済地理学 機械産業論 中小企業論
担当科目	産業政策論 中小企業論 産業立地論 演習



## 自らの常識を疑い、物事を批判的に考えてみよう！

## ゼミの活動内容

当ゼミは2021年度から開講され、1期生12人で活動しています。研究テーマは「地域の産業振興と中小企業」です。ゼミ(基礎演習)の前半では地域産業論を扱ったテキストを輪読し、産業振興や中小企業の理解を深めました。後半では中小企業経営者をゼミへ招聘し、中小企業の連携や経営戦略についてインタビューするとともに、春休みには群馬県庁地域企業支援課や県外中小企業へのフィールドワークを実施します(予定)。

当ゼミの特徴は、学外活動が盛んなことです。2021年度は、ゼミの有志3人で高崎信用金庫主催のかしんビジネススプラン・コンテスト2021に応募し、最優秀賞を受賞しました。さらに3年生からは卒業論文を準備するとともに、サブゼミを開講し、山形県のビジネスコンテストへの応募や、企業と連携したプロジェクトをすることで、地域産業振興の一端を実践から学びます。当ゼミでは、ゼミ学修を通じて、高崎市や県内外で公務員、金融機関等で産業活性化に貢献できる人材になれるよう、支援していきます。

宮崎雅人(2021)  
『地域衰退』  
岩波書店(岩波新書)

本書は、地域経済衰退の要因として基盤産業を位置づけています。基盤産業は、域外から稼ぐ産業です。この基盤産業の衰退が地域経済の衰退に結び付くことを、事例を通して明らかにしています。



## 担当教員の研究

## EUをめぐる国際関係

四年間は短いものですが、全力でやりたいことに挑戦して下さい。

これまでヨーロッパの国際関係を主に研究してきました。「地域」の問題を多面的に考える上で、ヨーロッパはとても興味深い研究対象です。国民国家間で戦争を繰り返し、凋落したヨーロッパは、第二次世界大戦後、わずか六ヵ国でヨーロッパ統合の動きを開始し、今や二十七ヵ国からなるEU(歐州連合)を生み出しました。その結果、政策の立案・決定・執行が地方や国単位で行われる分野もあれば、EUレベルで行われる分野も増えています。統合の深化に伴い、市民といわゆるエリートとの間の分断が進み、それが国民投票などを通して表面化することもあります。EUをめぐる国民投票は研究テーマの一つです。

## 北欧諸国の政治・外交

ヨーロッパの中でも北に位置する北欧諸国(デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン)に惹かれました。小さな国々にもかかわらず、福祉国家として国内的に安定した社会を築き上げるとともに、国連などで活躍な

く、透明性のある政治を実現する一方、有能な人材をベースにして生産性の高い経済、社会を運営していく。量よりも質を重視した国づくりを実感します。政治、外交という観点から、そうした国づくりの実態と課題を明らかにしたいと考えています。

## 日本・ヨーロッパ関係

そのほか、日本とヨーロッパとの関係についても関心をもっています。日本とヨーロッパは歴史的にいかなる関係を発展させ、お互いにいかなるイメージをもつてきたのでしょうか。これまで北欧諸国を事例に分析してきました。たとえば日本とノーベル賞との関係を歴史的に調べています。また、北欧諸国が映画を通して日本にいかに紹介されてきたかについても考え、「虚像」と「実像」を意識する必要性を指摘しました(共編『映画のなかの「北欧」—その虚像と実像—』小鳥遊書房、2019年)。

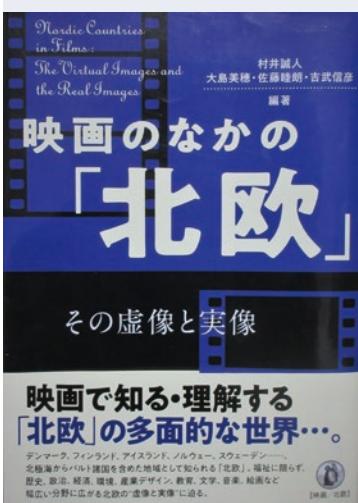
## ゼミの活動内容

ゼミでは、国際関係の理論、歴史学び、それにより激動する国際関係を見極める「眼」を養つてもらいたいと考えています。そのため、まず国際関係論に関する概説書、専門書ができる限り多く輪読し、理論的な見方、歴史的な見方を学んでいます。

さらに、時事的な国際問題にも関心を深めてもらうため、各自テーマ(たとえば、EU、米中関係、日本外交など)を一つ決め、新聞、インターネット等を利用して情報を集め、数カ月に一回のペースでそのテーマに関して最新の動向を報告してもらっています。自分から情報を積極的に集めて分析することにより、問題意識を深めることにつながっています。

そのほか、国際関係に関連する史料などを訪問するフィールドワークを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症のため、現在は中断しています。

## 吉武信彦研究室

ジョージ・オーウェル(2009年)  
『動物農場』岩波文庫(ほかにも多くの邦訳版あり)

ロシア革命後のソ連の歴史を踏まえ、動物たちが繰り広げる政治ドラマ。寝転んで読める小説ですが、「権力は腐敗する。絶対的権力は絶対に腐敗する」を実感できます。政治学のよい入門書です。

## 担当教員の情報

職位 教授

専門分野 国際関係論、北欧地域研究

担当科目 国際関係論、国際交流史、現代欧洲の歴史と構造、演習

## 持続可能性のある「分散」

高崎経済大学は、中規模の都市にいながらして、また小規模の都市や町村部の様子を身近に感じながら、地域に関する高度な学習・研究ができる数少ない大学の一つです。1990年代以降、地域経済学の分野では「集積」に関する理論・実証研究が大幅に進み、その重要性が強調されてきました。しかし、大都市や特徴的な産業に特化した一部の中小都市などを除き、多くの地方にとって重要なのはある程度「分散」していて優位性が失われず、将来にわたって持続可能な生産を行うことが出来る産業です。私は客観的なデータから今後地方の経済や雇用を支えることができる産業を見だし、それを支援し伸ばしていく方法を考えています。同時に、実践的な研究プロジェクトなどにも参加して分析を補強しています。

なお、私は東日本大震災時には福島県内に居住していたことから、災害に関する研究も続けていますが、そちらも「分散」に関わる研究の一種と位置付けています。

## 担当教員の研究

### 行動経済学と 都市・地域経済学

行動経済学は近年めざましい発展を遂げていますが、その理論や成果を都市・地域経済学の分野に応用しようとする動きはあまり見られません。都市・地域の事象を分析するにあたって、住民の行動や満足

担当教員の情報	
職位	准教授
専門分野	都市経済学 地域経渉学 空間経済学
担当科目	都市経済学 地域経済論 経済学 地域政策学入門演習



## 過去と未来の調和する機能的な都市構造

度、その背後にある選好・効用への理解是非常に重要です。従来用いられてきた最もシンプルな前提を変更すると、全く異なる結果や結論が得られることがあります。私は参照点依存型効用など行動経済学の分野で一般的になりつつある概念を用いて、新しい視野から都市・地域を分析しています。

私の研究の原点は都市の耐久性がもたらす、都市の混雑や空洞化問題の考察です。まだ都市における人口減少や空き家問題を研究する人がほとんどいなかった90年代からずつ、伝統的な都市モデルなどを応用してこの問題に取り組んできました。今後も、現実の変化を追いつつライフケースとしてこの問題に関わっていきたいと思います。

## 一度物事を深く調べてみると、考えてみると？



## 米本清 研究室

### ゼミの活動内容

都市・地域経済学の理論を応用して、実際の社会・経済の様子を学び、分析します。これまでの卒業生は都市や地域の人口・住宅・商業・その他産業・交通・災害などを卒業研究のテーマとしてきました。2年次・3年次前期は基礎的な学習を進めながら、地域支援など実践的な活動やグループに分かれた学習も行います。3年次後期以降は公的統計データや独自のアンケート調査などに基づいて卒業研究に取り組みます。

このゼミの特徴は自主性を尊重する点と、バランスのとれた大学生生活を推奨する点です。卒業研究のテーマは各ゼミ生の興味に応じてある程度自由に選べますので、自ら問題意識を持ち積極的に学習・研究を行う学生を歓迎します。一般授業の積極的な履修や学内外のサークル・部活動、個人による主体的な活動などをいつづバランスのとれた大学生活を送り、それらをゼミの学習・研究にも活かそうとする学生を応援します。



J. V. Henderson(1985)  
『Economic Theory and the Cities (second edition,)』  
Academic Press.

昨今は理論に触れないでいきなり実践(だけ)、という人が増えてきました。やや古い本ですが、都市経済学の多くのトピックは既にこの本にまとめられています。社会科学においても、過去の知の蓄積に学べば深い考察が可能です。

## 担当教員の研究

## 「ネットワークつながり」という視点

私の専攻は経営学・組織論で、その中でもネットワーク組織論を専門としています。多数の人や組織が集まって活動する時の「つながり」に注目して研究をしています。

世の中の活動は個人や組織の「つながり」によって成り立っています。職場を見てみると、そこで働く人たちとはお互いに「つながり」を持つて仕事をしています。時には協力し、時には励まし合い、時には教え合いながら活動しています。個々の頑張りだけではなく良い「つながり」があることで日々の活動がうまく行えているのです。

このような「つながり」は組織の枠を超えて広がっており、地域・社会は個人や組織の間の「つながり」

によってできています。そこで、地域・社会にはどのような「つながり」があるのか、個人はどうな「つながり」を持ってよいのか、どのような「つながり」があるとよい職場・企業・地域・社会となるのかを研究しています。

### 新しい働き方や働く場所

そこで、近年登場してきた新しい働き方や働く場所に注目しています(写真1)。新たなキャリア観やICT技術を活用したりモートワークは新たな「つながり」方と言えますし、様々な組織に所属する人が一緒に仕事をする「コワーキングスペース」は新たな「つながり」を生む場所と捉えられます。オンライン上での働き方やDXといった新たな動向も踏まえた実態調査を行っています。



## 大学生活では何事も自分から働きかけよう！

### ゼミの活動内容

ゼミでは経営学、組織論、リーダーシップ、キャリアをテーマに学びます。「世の中のすべてのことは経営学を通じています」と言う人もいるほどで、経営学・組織論の対象とする領域・事例は幅広く、ゼミ生の興味・関心を反映した活動を行います。学んだ内容を卒業後も含めた実生活で活かすことが重要な分野もあるので、ゼミ内外でのリーダーシップの発揮や、実務家インタビュー・フィールドワークといったキャリアにつながる活動を行います(写真2)。興味・関心のある学生がいれば、デザイン思考を用いた商品企画やビジネスプランの立案などにも取り組みます。

最大の特徴は、ゼミ内での「つながり」を重視したゼミ運営を一緒に行っていくことです。みんなで意見を出し合ってよりよい意思決定をし、それを実行して目的を達成するという組織の運営を、ゼミの活動を通じて肌感覚で学び取つてもらいます。テキストを用いた輪読・議論やゼミで何をするかの話し合いなど、ゼミ生がリーダーシップを發揮して自分たちでゼミを進めていく場面も多くあります。同時に、学年を越えて一緒に活動し、在学中だけではなく、卒業後も続くような関係が築ければと思っています。そのため、良いゼミ(組織や新たな人間関係を自ら創り上げていきたいという意欲がある人の参加を求めてい

写真2



## 若林隆久研究室

堀尾志保・館野泰一(2020)

『これからのリーダーシップ

—基本・最新理論から実践事例まで—』

日本能率協会マネジメントセンター

リーダーシップについて、研究の変遷を追いかねながら最新理論に至るまでをわかりやすく紹介してくれています。その身に付け方・教え方にについても触れられていて、リーダーシップを身に付けたい人の参考にもなります。



## 担当教員の研究

## なぜ？をデータでひも解く ワクワク感

みなさんは、「データサイエンス」という学問を知っていますか？世の中、「なぜだろう？」と疑問に思うことばかり。その「謎」に「データ」で迫ろうとするのが私の研究スタイルです。特に関心のあるテーマは環境問題。「謎のデータパート」といってもいいほど、様々な環境問題が未解決のまま私たちの社会に横たわっています。

正しく観測されたデータは「謎」の断片です。その断片を集め、手に入らないデータを統計的に予測・補完し、環境問題の因果関係を見えて化しようとするアプローチを「環境データサイエンス」といいます。複雑に絡み合った因果の糸を、データ解析でひも解いていくときのワクワク感が私の学問探究のエネルギーです。

### 環境データサイエンスと 地域政策

なぜ、環境にやさしい行動をとる人と、そうでない人がいるのでしょうか？その謎が解けたら、人々に環境行動を促すための政策が提案できそうですね！環境問題に対する心理と行動の関係性・・・これも環境データサイエンスの研究分野です。心中は直接観測できませんが、アンケート調査への回答データなどから環境問題に対する心理構造を推測することができます。これと、

環境行動との関連性を分析すると、心理と行動の「謎」に迫ることができるのです。こういった研究の成果は望ましい政策を提案する上でとても有用です。政策には規制、課税、補助金、情報、教育など、様々な手段がありますが、目的とする行動変容に対し、どれが一番有効かを予測できるようになるからです。

## 「食行動」は変えられるか？

今、私の中でホットな研究テーマは「環境心理と食行動の関係性」です。世界的な人口増加と経済発展により食肉需要が増えていますが、環境負荷の大きい従来型の畜産業では食肉を増産し続けることは持続不可能です。近年、環境にやさしい代替たんぱく源の提案が相次いでいますが、その中には昆虫や培養肉などの心理的に抵抗感のある選択肢が含まれています。環境にやさしいたんぱく源をどのように社会実装していくばよいか、データサイエンスを武器に食をめぐる心理と行動の関係性を探究しています。

## Input < Outputを目指しましょう！

### ゼミの活動内容

ゼミでは、環境データサイエンスの応用研究を行っています。テーマは「環境の見える化」です。環境の概念はやや抽象的で、その良し悪しの評価も主観的になります。環境の実態を「データ」で客観視し、そこから問題の構造を見る化し、解決の糸口を見つけるという科学的な問題解決のアプローチを探究しています。

環境データサイエンスは様々な環境データサイエンスは様々な研究テーマに応用可能です。(1)水環境や大気環境を対象とした環境影



海外フィールドワーク(タイ・ハン村視察)

### 担当教員の情報

#### 職位 教授

**専門分野** 環境データサイエンス、環境科学  
環境教育

**担当科目** 地球環境学、地域循環共生論  
環境科学、演習



科学は苦手です・・・と言つていても、学生が、「データサイエンスってスゴイですね！」と目を輝かせて卒業研究に挑戦しています。

## 担当教員の研究

## 増えも減りもする被害

私は、公害・薬害・食品公害などの「加害者がいる病」に関心があります。この病に冒された人々は、命と健康を破壊され、家事や仕事を以前のようにできなくなり、将来設計の変更を迫られます。さらに、加害企業が自らの責任を認めなかつたり、政府が適切な対応をしなかつたり、医師が病の存在を否定したりすると、被害は増幅します。このように、直接的に身体を破壊する有害物質だけでなく、被害者を取り巻く社会関係によっても被害は深刻化されられます。

しかし、被害は悪化するだけとは限りません。なぜなら、社会的に増幅させられた被害は、社会的に軽減させられる可能性があるからです。被害に対し公的な支援策が講じられたり、適切な補償体系や医療サービスが用意されたり、周囲が理解や共感を示したりすることで、被害者の社会的立場や経済的状況は変化しうるのであります。

そもそも被害を生じさせ、拡大させる社会構造はどういうものか。また、社会政策はいかに被害を軽減するのか。私は、これらの問いを社会学の視点から解明しようとしてきました。

## 社会調査という方法



ゼミ生とZoomを使った聞き取り調査をする教員

## 担当教員の情報

職位 准教授

専門分野 環境社会学、保健医療社会学

担当科目 社会学、環境社会学、フィールドワーク入門、演習

者、医師、弁護士、議員、行政、企業などの当事者に話を聞きます。するとい込みをしていたことに気づかれます。「被害者は誰もがひどい差別にさらされてきただろう」「行政組織は法律の通りにしか行為しないはずだ」「弁護士は勝算があるから裁判で弁護を引き受けるのだろう」。どれも調査で自覚させられた間違いました。また、さまざまの人々の話を聞くうちに、どの立場の人の話にも一定の理があることがわかつてきます。

調査をするたび、狭い世界に生きている自分の目が開かされます。そこで自らの論理を超えた他者の論理を知り、初めて問うべき問題がなかなか明らかになるのです。

## 7号館の上階から山を見てください。きれい

## 宇田和子研究室

ゼミの日常

安藤聰彦・林美帆・  
丹野春香編(2021)『公害スタディーズ  
—悶え、哀しみ、闘い、語り  
つぐ—』

ころから株式会社

全国の公害問題が今どうなっているのか、13の事例から考える本です。私もカネミ油症という食品公害について書いています。クラウドファンディングで支援を得て、全面カラーでの出版が可能になりました。

## ゼミの活動内容

私のゼミの目的は、学生が学問的方法を身につけることです。特に文書を書くことを重視します。いつも特別な才能やセンスは必要なく、学術論文の型通りに書けばよいのです(書き方の習得)。また、実はどのように書くかよりも、なにを書くのかと、その方が難しい問題です。自分がなにを知りたいのか、なにに興味があるのか、意外と知らないものです。そこでゼミでは、各自の関心を知るためのヒントを、文献や調査を通じて提示します(調べ方、問い合わせの立て方の習得)。上記の達成のために、各年次で次のような課題に取り組みます。2年次では、文献から社会学の視点を学び、さらに小論文の執筆を通して文章の書き方を身につけます。続く3年次では、全員で一つの事例に関する調査を行い、調査報告書を発行します。これまでには、安中公害、化学物質過敏症を各地で調査してきました。最後に4年次では、各自の自由な関心のもと、卒業論文を執筆します。

## 担当教員の研究

## 都市における観光を考える

私は大都市圏の沿岸地域で、フィールドに研究を進めてきました。特に、東京湾の沿岸地域は、2021年夏に開催された東京オリンピックやパラリンピックをきっかけとして新たな観光スポットとして再編され、再び注目を集めます。私は地図を片手に現地を歩きながら、フィールドワークによってこれらの地域における観光空間の形成過程について考えていました。

また、最近は大都市の夜間ににおける観光についても研究しています。都市における経済活動を昼間と夜間に時間別に分類すると、夜間の経済活動はナイトタイムエコノミーと呼ばれます。都市における経済活動は、これまで昼間の活動に焦点が当てられており、夜間の経済活動はあまり注目されませんでした。こうした状況に對して、ナイトタイムエコノミーを活性化させる目的で、世界の主要な都市ではさまざまな施策が行われています。たとえば、都市観光における主要な訪問先としては、レストランや居酒屋などの飲食店のほか、博物館や動物園、劇場といった文化施設などがあります。ナイトタイムエコノミーを活性化させる取り組みには、レストランやバーなどの飲食店の夜間営業を充実させるだけでなく、夜間の劇場での公演や、夜間を含めた24時



## 研究に、サークルに、アルバイトに、大学生活を思いきり満喫しましょう。

## ゼミの活動内容

2年生ゼミでは、地図を活用しながら地域のさまざまな魅力や課題について考えるとともに、人文地理学の中でゼミ生自身が関心のあるテーマをみつけ、深めていくことを目指します。このためにはまず、人地図で見える化（可視化）する

さらに、近年はコンピューターの発達や統計情報の整備が進んでおり、GIS（地理情報システム）を活用した地域分析にも取り組んでいます。私はこれらの統計データやフィールドワークで得られたオリジナルのデータを、地図を描くことによって可視化し、わかりやすく伝えることを目指しています。

地図によって地域の魅力や課題を共有し、研究成果を発信していくことも重要な研究テーマです。

2年生のゼミでの活動は、様々なテーマに触れるために文献の輪読を行います。輪読では、毎週担当の受講者に文献の内容を発表してもらい、発表終了後にはゼミの出席者全員で発表内容について議論していくことがあります。また、観光地の成り立ちや課題をゼミで共有するためには、地域を実際に歩いて、みて聞いてみることで、現地の空気を感じ取ることが大切です。2年生のゼミでは、観光地などがどのように成立したのかを、テーマを決めて見学する「巡回」プランを計画してもらい、実際に現地を歩きながら地域の課題を考えます。

さらに、3年生では実際に手を動かし、グループ作業を通して地域の課題や魅力を探ることを目指しています。現在は、高崎市全域の地形模型を作成し、そこにGISで作成したさまざまな地図をプロジェクトで投影する「地域プロジェクトショットマッピング」の作成を目指しています。4年生のゼミ活動では、これまでの学びの総仕上げとして自分で課題を設定し、卒業論文を仕上げます。

担当教員の情報	
職位	准教授
専門分野	地理学、観光地理学、GIS(地理情報システム)
担当科目	地理学、地理情報システム論、地域統計論、演習

貝塚爽平(2011)  
『東京の自然史』  
講談社学術文庫

タイトル通り、主に東京の地形についての専門書ですが、高崎を含む関東地方の成り立ちがよくわかります。

書棚から  
この一冊



# 熊澤利和 研究室



## 担当教員の研究

### アポリアとしての『ケア』

現在、「日本のケアシステムに関する基礎的研究—緩和ケアにおける意思決定過程を中心にして—」というテーマで研究を進めています。学際的なメンバーによる研究です。

“Indigenization”という鍵概念を踏まえた形での「日本の文化・社会に適した緩和ケアにおける意思決定支援に対する仕組み」に着目しています。

このようなテーマで研究する動機は、終末期医療や先端医療（脳死・臓器移植・遺伝子治療等）において、数年単位で変化するいわゆる「社会的合意」形成に、本当に自分の「いのち」を委ねてもよいのかという恐れを感じたことからです。特にターミナル期の「ケア」が、マニュアル化がなされていくことに不安を覚えます。この間、終末期医療における sedation（鎮静）の問題に着目をして、どの様な判断基準に基づいて sedation が実施され、 sedation という考え方に関する問題点を調査により明らかにしてきました。もちろん研究の途についたという段階だ

る際に evidence に基づく事は、重要なことだと思います。しかしそれが機械的に進められることは、考えることをやめ生むことを諦めるように感じます。

このテーマで研究を深めることは、今までの経験から「緩和ケア・ターミナルケア」に関連する研究を続けていきたいという思いからです。

### 研究者としての終わり、研究としての継続

このテーマで研究する動機は、終末期医療や先端医療（脳死・臓器移植・遺伝子治療等）において、数年単位で変化するいわゆる「社会的合意」形成に、本当に自分の「いのち」を委ねてもよいのかという恐れを感じたことからです。特にターミナル期の「ケア」が、マニュアル化がなされていくことに不安を覚えます。この間、終末期医療における sedation（鎮静）の問題に着目をして、どの様な判断基準に基づいて sedation が実施され、 sedation という考え方に関する問題点を調査により明らかにしてきました。もちろん研究の途についたという段階だ

## 何かをしないで後悔するより、挑戦することに価値がある。

### ゼミの活動内容

ゼミでは、地域政策における社会福祉の位置づけを俯瞰しつつ、保健福祉の現状と課題を踏まえ、障害者・高齢者に対する生活支援・ターミナルケアに係わる諸問題を中心に取り組んできました。しかし、必ずしも上記に関するテーマで卒論を提出する学生だけではなく、各自の興味関心を地域政策に引きつけて考えてくる人も徐々に多くなってきたと思います。

そういう意味では、共通のテーマに全員が取り組むのではなく、各おのおのがゼミの時間を使って自由に使っていると感じています。

(2021年度の)3年生の各 自のテーマは、「スポーツ遊び・観戦と地域愛」、「ペットを飼っている人／そうでない人の健康について」、「子育て支援」「ショッピングセンターと地域政策」、「アーメの聖地巡礼」、そして C O V I D - 1 9 によるパンデミックを経験して、「死」、「老い」、「死生観」に关心をもち始めた学生もあります。また、2年生は、希望によって「生きるに値しない命」とは誰のことかナチス安樂死思想の原典からの考察(新版)の輪読を行っています。



#### ①マーガレット・ワイルド、[文] Margaret, Wild>

ロン・ブルックス[絵] Ron, Brooks)/今村葦子訳(1995)

『ぶたばあちゃん』

あすなろ書房

この絵本は、作者二人は、オーストラリア出身です。ぶたのばあちゃんと孫の生活が描かれています。私たちは、自然とともに生きていることを考えさせられる絵本です。そして絵から感じることも大切にして欲しいと思います。

#### ②ヴァーツラ・フハヴェル〈Václav, Havel〉/

阿部賢一訳(2019)

『力なき者たちの力』

人文書院

著者のハヴェルは、チェコスロバキア大統領、チェコ共和国初代大統領を歴任しているが、この著作が出版されたのは1979年、まだ劇作家の時です。市民として考えなければならないこと、社会や政治、国家をどう見るのか、中欧に位置するチェコから学ぶことは多いと考えています。地域政策を学ぶ上で必読書と言えます。

### 担当教員の情報

職位 教授

専門分野 社会福祉学(障害者福祉)、緩和ケア(ターミナルケア)研究

担当科目 障害者福祉論、ケアシステム論、地域医療保健論

高齢者福祉論、演習、介護等体験実習

## 担当教員の研究

教育や学習という言葉から皆さんが真っ先にイメージするものは何でしょう。まずは「学校」が思い浮かぶかもしれません。しかし、地域の暮らしを支える地域づくりの実践の中にも住民の学びとも言える蓄みが豊富にあります。地域をつくる（地域が変わる）ためには、立派な道路や施設等のハード整備だけではなく、そこに住む人びとの意識改革や主体的な地域づくりへの参加の積み重ねが求められます。生涯学習・社会教育研究室（櫻井常矢ゼミナール）では、学校教育以外のこうした地域をつくる学びに多様な角度からアプローチし、ひとづくりの視点から地域政策や地域づくり実践のあり方を考える研究活動を進めています。これらを理論だけでなく、多様なフィールドワークから体得するためゼミ生による地域貢献活動にも取り組んでいます。

## 生涯学習とは？



担当教員の情報

<b>職位</b>	教授
<b>専門分野</b>	社会教育学 生涯学習論 地域づくり
<b>担当科目</b>	生涯学習概論 社会教育論 地域づくり教育論 社会教育実習 演習

## ひと、地域を育てる仕組み

地域づくりの実践では、地域づくりに取り組もうとする市民、団体などの主体性や力量形成が重要な要素となります。そのため、こうした人びとや団体を側面からサポート（支援・育成）するための施設、人材・団体の配置など社会的な仕組みの整備が求められます。例えば地域づくりを支える社会教育職員や地域担当職員（市町村）、地域おこし協力隊や集落支援員（総務省）、NPOや市民活動をサポートする中間支援組織・施設などが各地で様々な支援事業や活動を展開しています。そして、そこには必ず教育・学習の営みがあります。櫻井ゼミでは、地域コミュニティの再生・活性化と向き合うこうした支援主体の地域への“かかわり方”、あるいはこの仕組みを支える行政と民間との協働のあり方に着目しています。ゼミ生は、ヒアリング調査や現地学習会、さらには地域・自治体、NPO、企業等と連携した事業を通して、ひとや地域が育つ社会的な仕組みについて理解を深めています。

## 地域・市民の活力や自立 それらを促す学びとは何かを一緒に考えてみませんか。

## ゼミの活動内容

櫻井ゼミでは、国内の事例調査はもとより地域と連携した取り組みを学生主体で進めています。具体的には、市内の公民館と連携したリアルタイム配信形式（ラジオ形式）での防災講座の企画、地元企業と連携した地域づくりプラットフォーム事業などがあります。また、海外との連携では、カンボジア、ベトナム等における地域学習のサポートを進めています（写真）。農村地域における識字教育現場の訪問では、農作業を終えた夜間、小学校の教室環境整備のサポートを進めています。農村地域における地域学習のサポートを活用して若者から高齢者までが世代を超えて学習する姿を目撃することで、人びとが“生きるために学ぶ”という教育の原形態を知ることができます。

近年は、エジプトに日本の社会教育の導入をめざすプロジェクト「グローバル公民館」にも参画しています。エジプトでは、社会教育に興味関心のあるボランティア、大学、政府関係者が集い、日本の公民館に関する学習会を重ねています。当ゼミナーでは、オンラインで日本の地域づくりや社会教育の実情、あるいはワークショップ等の参加型学習の意義を伝え、エジプトとの交流を深めています。海外との連携を進めることによって、日本の社会教育の原点や課題を見つめ直す私たち自身の学びへと結びついっています。

『公民館のしあさって』  
(2021年)ボーダーインク

コロナ禍の間、オンラインで私たちのゼミも取り組んだエジプトに日本の公民館を開設する取組み。両国の関係者たちが公民館への思いや実践を書き綴った1冊です。



シェムリアップの地域学習支援の現場にて

## 担当教員の研究

**原発事故被災自治体の復興  
ならびに生活再建過程に  
関する研究**

近年は主に、福島原発事故の被災地研究に関わってきました。事故後10年を迎えた今も、被災者のなかには帰還や生活再建をめぐって、自分たちの意に反する選択を迫られている人が少なくありません。さらに、彼らの生命・暮らしを支えてきた避難元自治体はその存続すら危ぶまれる状況にあります。その背景には、現行災害法制に起因する問題に加えて、分権や自治を取り巻く権力構造が存在しています。こうしたことを探求してきました。その成果は日本学術会議を通して被災自治体の復興にかかる提言という形でまとめられています。

# 佐藤彰彦 研究室



担当教員の情報

職位 教授

専門分野 地域社会学、地域政策研究

担当科目 社会学、コミュニティ振興論、演習

## 地域や社会を見つめ直し、考え、関わろう！

**「認識圏としての地域社会」に  
関する研究**

地域社会学では近年、「生活圏」としての地域社会をテーマに様々な研究がなされてきました。各種の研究蓄積が進むなか、「生活圏」「地域社会」という根源的な認識概念の重要性も指摘されています。こうした状況を鑑み、2020年からは、原発事故灾害とともに違う全域避難という特異な事態により、従前の地域社会から遊離し、観察可能なかたちで表出した認識レベルの地域社会（以下、「認識圏としての地域社会」）に着目し、「生活圏としての地域社会」が崩壊—再編していくなかで、「認識圏としての地域社会」

が遊離・変容・継承・再編されいく過程を規定する要因・構造の探求に取り組んでいます。具体的には、原発事故被災によって全域避難かつ長期避難を強いられた福島県富岡町を中心的な調査対象とし、その復興過程を分析することによって、「認識圏としての地域社会」の原理的・動態的メカニズムを明すことをを目指しています。これらの成果は、現代日本社会で広く課題となっている、人口減少下における地域社会の持続・再生や、巨大災害への対応などの政策に資するものと考えています。



**提未果(2021年)  
『デジタル・ファシズム  
—日本の資産と主権が消える—』  
NHK出版新書**

コロナ禍を契機に、世界情勢の変化が急速化しています。国を超えたパワーゲームは、否応なく私たちの暮らしを左右するでしょう。私たちが今、そしてこれから、どう行動すべきか考えさせられる本です。

**ゼミの活動内容**

3年次前半までは、「身近な政策課題を見つけて解く」課題解決型のグループワークを中心的に活動します。「ここでは、課題発見、データ収集と分析、解決方策の検討といった仮想の政策づくりを体験します。また、同時並行して、地域社会に関する基本的な理論、代表的な研究について輪読を通じて学びます。3年次後半からは、これまでの学びを基礎にして、各自関心の深いテーマを設定し、卒業研究に取り組んでもらいいます。ここでは問い合わせと仮説を立てて調査し、それらを見直す作業を地道に繰り返すことがあります。無限ループのような苦しみにもがいているうちに、作品としての卒業論文のかたちが見えてくるはずです。3年次前半までの活動は、フィールドワークや夏合宿(長野ほか)と併せて進めます。また、ゼミの中では報告や討論の場を多く設けていますので、実社会で通用するコミュニケーションやプレゼンテーション技術を磨く機会として役立ててください。

## 担当教員の研究

## コロナ禍の居住保障

この4月以降、コロナ禍の居住問題について調べています。基本的な視角としては、「コロナ以前のトレンドの反映ではないか、したがって居住保障政策そのものと結びつけて理解すべきではないか」というものです。第一に、持家主義というイデオロギーそれが自体は、戦後から変わっていないように思います。大衆社会統合の型として、企業社会統合からその再編、現在の新自由主義的統合に至るまで、居住保障政策のイデオロギーそれ自体は「貫していますが、その要素・手法は変容しています。第二に、第一のコロラリーだと思いますが、公営住宅を中心とする公的借家のストックは少なく、家賃補助の利用も、国際的に見ると少ない状況です。仮に短期的なショックであれば、自粛と貸付で乗り越えられたのかかもしれません、が、長期化している今となつては、居住保障政策も長期的な観点からの「投資」が求められているのではないかでしょう。

## 民間借家市場の供給・管理構造

博士論文では、高度経済成長期の東京圏における民間借家経営を調べました。結論としては、くいつぶし型経営が、住宅問題の可視化・社会運動化を抑制することも含め、独自の機能を果たしたのではないか、

いります。そこで、この構造および機能は変化していますが、まだ総体としての供給・管理構造が記述されていないように思います。この30年間で考えてみると、第一に、個人家主が家主の中で多数派である点は変わっていますが、しかしながら、少しずつ型経営が継続しているということを必ずしも意味していません。なぜならば第二に、実際の供給あるいは管理のヘグモニーは、建設業者やディベロッパー、サブリース業者が担っているためです。家賃保証業者・管理業者など構造としても法制度としても変容している実態を踏まえて、「誰に」・「どのように」政策的介入を行えばよいのかを検討するための基礎作業をやっていきたいと思つています。

## 「健康でいて くれば良いです」 (DJ松永)

## 担当教員の情報

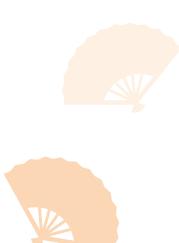
職位	講師
専門分野	居住政策、社会政策、社会学
担当科目	初年次ゼミ、社会保障論、演習 公的扶助論、住宅政策論



## ゼミの活動内容

今年から着任したため、ゼミも始まったばかりです。とりあえず間口広いほうがいいかな?と思ってゼミ白書もざっくり書いたので、やりたいことが決まっていない方もいます。それでもいいんじゃないから、と思って、まずは日本社会の基本的な仕組みとともに関心を深めてほしいと思い、(3冊ほど候補を挙げた中で)小熊英二さんの『日本社会のしくみ』を読みました。小熊本を読み終えたので、ちょうど次のゼミからは、みなさんやりたいことをメモで書いてもらい、進め方と内容をみんなで話し合いたいと思っています。

どう進めるかよくわかつていないうところもあるので、隠れてコソコソ、他の先生方に何を・どうやってるか聞いている(先生によつてゼミのやり方が全然違うことが分かりました)一方で、学生のみなさんがやりたいことを、やりたいようにやる」を大事にして、都度みんなで話し合い、教員はできるだけしゃべらず、サポート役に徹したいと思っています。



## 担当教員の研究

## 牛頭天王信仰を追う！



担当教員の情報

**職位** 准教授  
**専門分野** 国文学(中世神話研究)  
 宗教民俗学  
**担当科目** 博物館概論・民俗学  
 地域文化論・演習

私の研究テーマは「牛頭天王信仰」です。大学の卒論から今まで二〇年弱、研究をしてきました。「—ここで質問です。この冊子を呼んでいる皆さんの中で、「牛頭天王」についてご存知の方はどれくらいいらっしゃるでしょうか?」「…全然知らないし…なんて読むの?」「ぎゅうず?」「ぎゅうとう?」「てんおう?」という貴方!大丈夫。今の日本において、貴方のような方は圧倒的なマジョリティです。ちなみに「こずてんのう」と読みます。

あえて牛頭天王について五〇字程度で説明するならば、疫病を広め、また逆に抑えることができるとされた、前近代の日本において各地で広く信仰対象となることになるでしょうか。

## テキスト読解から信仰を捉える

皆さんからすれば、そんな研究をなぜするのか、疑問に思うでしょ

う。例年、ここではその理由について説明をしてきました。……が、今年からあえて省くことにしました。むしろ、皆さんが「どういう目的なんだろう?」と考え、推測していた代わりに、私がどのような方法で研究をしているかを説明します。信仰対象に関する研究のアプローチはさまざまありますが、私の場合は牛頭天王が登場する文書、それもいわゆる「物語」に近いものを読解するという方法を取っています。「物語」＝虚構の世界と侮るなかれ。むしろ虚構の世界だからこそ、当時の人々が牛頭天王に対し何を思ひ、願い、また何を託したのかがストレートに表象されているといえます。また、そうした牛頭天王への思いや願いが、実際の信仰を創り上げていったのではないでしょ

うか。テキストの読解と併せて、その他の信仰に関する史料調査、フィールドワークなどをいながら、日本の中近世における牛頭天王信仰のあり方を探る——これが私なりの手法です。

—ここで質問です。この冊子を呼んでいる皆さんの中で、「牛頭天王」についてご存知の方はどれくらいいらっしゃるでしょうか?」「…全然知らないし…なんて読むの?」「ぎゅうず?」「ぎゅうとう?」「てんおう?」という貴方!大丈夫。今の日本において、貴方のような方は圧倒的なマジョリティです。ちなみに「こずてんのう」と読みます。

あえて牛頭天王について五〇字程度で説明するならば、疫病を広め、また逆に抑えることができるとされた、前近代の日本において各地で広く信仰対象となることになるでしょうか。

う。例年、ここではその理由について説明をしてきました。……が、今年からあえて省くことにしました。むしろ、皆さんが「どういう目的なんだろう?」と考え、推測していた代わりに、私がどのような方法で研究をしているかを説明します。信

年からあえて省くことにしました。むしろ、皆さんが「どういう目的なんだろう?」と考え、推測していた代わりに、私がどのような方法で研究をしているかを説明します。信

## ゼミの活動内容

まずは、過去に提出された卒業論文のテーマを一部紹介します。

ゼミの視座をもつた卒論なのです。

「都道府県魅力度調査と群馬県民の満足度」なぜ高校球児は坊主頭なのか」「男性育児のこれまでとこれから」「日本における香りの文化」「日本における刺青のあり方」「現代女性アイドルの文化史」……。テーマがバラバラのように見えますし、実際に多種多様です。ただ、これらの卒論はみな、昔から伝えられてきた身の周りの文化がどのような歴史的変遷をたどり、今に至つたかについて論じているという共

通点があります。すなわち「民俗学」的視座をもつた卒論なのです。ゼミの内容は、2年生時は輪読やディベート、3年生時はプレゼンと卒論の下準備、4年生時は卒論報告&執筆、と一見シンプルに見えますが、実際はゼミ内部で積極的に議論をしたり、学年合同ないし外部での発表をしたり、フィールドワークを学生で計画して実施したりと比較的アクティブです。さらに詳細を知りたい方は遠慮なく鈴木までお尋ねください。お待ちしていま



## 鈴木耕太郎研究室



宮本常一・安渓遊地(2008)  
 『調査されるという迷惑—フィールドに出る前に読んでおく本—』  
 みづのわ出版

どの本にしようか迷いましたが……副題にもある通り、フィールドワークへ行く前に読んでおきたい一冊。調査するということは尊ばれるばかりではなく、ときには他者の大事な「なにか」を奪うことすらあり得る——そうした危険性に十分気をつけつつ、積極的にフィールドへと出かけられるようになると、新たな視点や視座が獲得できるようになるのではないかでしょうか。

## 担当教員の研究

私は、授業では英語を担当していますが、研究では、言語獲得・習得の点から人間の認知活動(脳の働き)について研究しています。また、機械学習にも興味があり、言語獲得・習得に応用できないか考えています。

## 臨界期仮説について

「臨界期仮説」と言う言葉を聞いたことがあるでしょうか。言語習得をおこなうさい、それに適した期間があるとする説です(英語教育用語辞典より)。現在、このことに興味関心をもち、主に生理測度(脳波)を計測し研究しています。例えば、読解をおこなう方法として「音読」と「默読」とあります。どちらが読み手にとって「内容理解」をおこなやすいに優位なのでしょうか。音読が優位なのか、默読が優位なのかの差は、年齢要因があると指摘する研究があります。およそ9～10歳前後で音読優位から默読優位の割合が増していくというのです。この音読優位から默読優位に変わつて行く年齢の時期と脳の構造・機能の発達時期などが関連しているのです。そこで、「この時期こそ『臨界期』ではないのか」と考え、調査対象者にまさに脳の構造・機能的発達が著しい児童を取り上げ、簡易脳波計などを用いて測定をおこない分析しています。

## 機械学習と言語獲得・習得

世界には、消滅の危機に瀕している言語(方言)が多いと言います。

機械学習と言語獲得・習得



## There are no shortcuts to life's greatest achievements. 人生を勝ち取るための王道など存在しない。

参照:デイビッド・セイン(2021)『感動する英語! 元気がでる英語!』

## 学生と接するにあたって

本学陸上競技部の監督を務めています。長距離は、11年連続「箱根駅伝予選会」に出場しています(2021・10月現在)。長距離だけでなく、短距離、中距離、跳躍、投げも近年では力をつけています。国公立27大学対校戦、関東学生陸上競技対校選手権で活躍しています。部員は、競技に参加するだけでなく、6月に「高崎経済大学競技会」、12月に「高崎経済大学長距離記録会」を開催し、大会運営もおこなっています。例年、およそ1000名の参加者がいます。これらの大会を運営するため、部員は、日頃、陸上競技大会で審判活動をおこなう県内外の陸上競技の関係者と幅広く交流し、大会の協賛を集めるために、学外のみなさまに協力をあつても、言語使用の環境についてはさまざまであるので、継承保存をする手段として、「記録保存」と「継承保存」がありますが、私の研究では、「継承保存」を容易にするための方法を考察しています。青森県津軽地方のような方言主流社会では、「継承保存」ができますが、私の研究では、「継承保存」を容易にするための方法を考察しています。

佐藤和博他(2016)  
『最高の弘前の見つけ方』

弘前学院出版会

学生・教員として10年間弘前で暮らしました。弘前を住時は、田舎で休日の余暇の過ごし方が一辺倒になってしまふこと、冬の雪かきなど嫌で嫌で仕方なかったです。今考えてみると、研究者、教員、陸上部の監督としての基礎は、弘前の師匠・友人から学んだことや経験に基づいています。離れてわかりましたが、弘前は最高です。そんな「弘前の魅力」を、弘前学院大学の先生方が痛快にエッセイにまとめた本書で、味わうことができます。



## 担当教員の情報

職位	教授
専門分野	認知科学、理論言語学 第二言語習得、ICT活用教育
担当科目	Business English I・II General English I・II Business English III・IV Language Learner Development I・II

## 担当教員の研究

## 今社会に心身の弱化が見えてくる

学校でのいじめや自殺、若者の薬物依存や目的・理由の見えない凶悪な犯罪など、精神のバランスを失った人間と、そうした人間を生み出している今社会に対する不安は大きくなるばかりです。

「健全な肉体には健全な精神が宿る」といった言い方がありますが、これには体力主義を中心とした伝統的な体育哲学的ニュアンスが強く、今の時代異論も出てくる表現かもしれません。

肉体的存在であり且つ精神的存在でもある人間にとつて、肉体と精神のどちらが優位かなどは鶏と卵の議論と同様に不毛なことであつて、心身一元論的にいえば、不即不離の関係にある心身のバランスを保ちながら生きているのが人間だといえます。

そのため、取り乱しているとしか思えない不幸な事件を耳目にするたびに人間の精神そのものが弱くなつていていることを感じますし、その根っこには、やはり肉体の弱化があるのではないかと思えてならないのです。わが国では子どもの体力の低下傾向がなかなか止まらない状況が続いています。これはいずれ、日本社会全体の活力低下にも繋がっています。

### 肉体的・精神的作業としてのスポーツ

スポーツは、もとより肉体的作業であります。肉体を機能的に作用させためには脳が介在する精神のより良い状態が必要であり、高度な心身のバランスなくして高度なパフォーマンスは望めません。「心・技・体」といわれるようすに究極的には人間としての総合力を競うものがスポーツといえます。したがってスポーツは、人間が力強く生きていくためのひとつの生活手段（ライフスタイル）となりうると思うのです。

そういった意味で、生活の中のスポーツ教育や生涯スポーツの必要性が叫ばれている今日、スポーツを日常のものとする社会のしくみが求められています。その仕組みづくりをどうしたら良いのか考えるのがスポーツ政策です。そして、それを推進する中核となるのがスポーツ指導者といえます。

### アフター「コロナのスポーツを考える

コロナ禍は、人びとの身体活動を制限し人の接觸がはばかられる社会へと変えてしまいました。体力の低下、人とのつながりの希薄化、今社会にも潜んでいる懸念材料が一気に噴き出してしまってはないかという心配があります。だからこそ、人的交流を基礎としたスポーツの意味や意義、そしてその機能を改めて見直すべきだと思いませんか？

**2024年3月で定年を迎えるため、ゼミ生の募集は終了しています。**  
後任の教員を採用予定ですので、**スポーツ研究に興味のある学生はぜひ精力的に若い先生のもとで学んでください。**

## 高橋伸次 研究室



## 担当教員の情報

職位	教授
専門分野	スポーツ行政・政策
担当科目	スポーツ科学、スポーツ政策論 スポーツ指導者養成論、演習

## ゼミの活動内容

今日のスポーツを理解するには、スポーツそのものだけではなく、スポーツを取り巻いている社会のありようやその変化を理解する必要があります。今やスポーツは、経済を刺激する重要な産業としても位置づけられ、そのため、ともすると国際政治の動向にも影響を与えるものになっています。スポーツには、その捉え方・関わり方によってそれぞれの表情があり、スポーツに接近する糸口はまさに無限といえるでしょう。

ゼミナールでは、「こうしたスポーツに関するさまざまな資料や文献にあたつたり、実際に体験したり討論していくことを通して、これまで「する」だけの対象であったスポーツを考える」対象へと、そしてまた、スポーツを「身体」ではなく「文字」で表現しようとしています。とはいえ、最終的には体力勝負になります。



## 佐伯夕利子(2021年)

### 『教えないスキル—ビジュアルに学ぶ7つの人材育成術—』 小学館新書

欧州およびスペインで最も堅実なカンテラ(育成組織)を持つと評価されているビジャレアル。そこでは、人格形成に軸足を置いた指導を追求するための改革が進められている。教えて人を伸ばす方法とは？

サッカー日本代表の久保建英選手があえて選んで渡欧したクラブによる世界最高品質の人材育成術が明らかになる。頑張らせるることはできても、自分で考える力を育む文化が弱い日本のリーダーたち必読のバイブルです。

## 担当教員の研究

## 確率論ことはじめ

偶然の要素をもつ確率現象を対象に研究をおこなっています。確率は物事の起こりやすさを量として表すという、単純なアイデアを基本としていますが、数学の歴史のかたでは比較的新しい分野です。古代から中世にかけては特定のサイコロゲーム等を取り上げ、結果の起こりやすさを考えるといった学問としてはごく初步の段階にとどまっていましたが、近代科学の発展に伴い、興味関心のある対象において不規則に見える現象を数学の枠組みで扱うための手段として、理論が整えられてきました。

社会における不規則な現象の説明…待ち行列

確率論の扱う一見して不規則に見える現象は、分子の運動のような自然科学の分野に限られません。たとえば、銀行の預金預け払い機(ATM)に並ぶ人の列を、適当な日の特定の時刻に観察してみましょう。そこで見る利用者は個別の必然性のある理由で並んでいるはずで、しかし観察者や他の利用者などの第三者からみて、その理由を把握することは困難です。そのため、いまなぜそこに何人が並んでいるかは当事者も含めた誰にも予測できないことがあります。そのため、予測不可能な現象としてとらえるしかありません。このような現象を理解する一つの手段として、人の行動を確率論

の概念でどうえ直し、現象を数学的モデルとして表現して、分析する研究が行われています。

## 不規則性と意思決定

不規則性はものごとの予測を難しくしますが、マイナスなことばかりではありません。いつも決まって得られる報酬よりも、ゲームで当たりを引いたときのように偶発的に得られる報酬のほうが、齋される嬉しさなど心理的效果が高く、継続意欲にも影響するでしょう。先に挙げたゲームの分析は現代においてもなお有効です。ゲームというとまじめな話とは捉えられないことや、結果規則にしか得られないことや、結果に対するいわゆるリスクを伴う状況において意思決定を迫られるケースは、当たり前のないように存在します。そのような状況下で、当事者がどのような決定を行おうかを考えることは、産業・業態・公私を問わずシステムが維持可能な状況であるかどうかを考えるといった一般的な問題にも適用することができます。



担当教員の情報

<b>職位</b>	准教授
<b>専門分野</b>	確率モデル解析 待ち行列理論 オペレーションズ・リサーチ
<b>担当科目</b>	応用数学、データ分析 オペレーションズ・リサーチ 演習



浜田宏(2018)  
『その問題、数理モデルが解決します』

## ベル出版

人の行動や社会の構造を、単純な数理モデルを使って表現・説明する方法を紹介した本です。アルバイトの配置方法(マッチング)など身近なイメージしやすい話題について、文学部の2人の学生が対話しながらモデルをつくり上げたり、新しい仮説を試したり試行錯誤する展開で、单なる紹介に留まらずにモデル分析の手触りを親しみやすく示してくれます。



## ゼミの活動内容

ゼミのテーマは、社会や日常で察される現象を対象に、数学的モデルで表現したり、データを収集して統計分析したり、コンピュータで現象を擬似的に再現するシミュレーション実験といった数理的アプローチにより、現象の特性を明らかにして問題の解決につなげることです。ゼミの始まる2年後期から3年にかけて、これら数理的アプローチの基本的考え方と方法を学び、3年後期から取り組む個々の卒業研究で実践します。

人によりさまざまですが、数学のイメージとして、記号で表現された式を規則に従って変形して何らかの計算をすることを思い浮かべる人も多いでしょう。ゼミで学ぶ数学は、世界や現象を数学の言葉で表現する方法です。高校までの数学知識を少し広げるだけでも十分です。これまでの卒業研究には、アルバイトでのレジ要員、高校野球部のピッチャーや、ゲーム参加など自身の経験や観察から発展させたさまざまなテーマがあります。

## 担当教員の研究

社会心理学から  
社会を読み解く

担当教員の情報

<b>職位</b>	准教授
<b>専門分野</b>	社会心理学 社会的認知
<b>担当科目</b>	社会心理学、 社会調査(量的調査) 社会調査演習 演習

「心理学」と聞くと、みなさんはどのようなイメージを持つでしょう。「相手の心を見透かせる」とか、「人間関係に役立つ知識・技術が身に付きそうだ」と思うかもしれません。しかし、実は心理学はそうした知識を手っ取り早く提供するようなHow-toモノではありません。

心理学では、実際に調査や実験を行うことで心を科学的に調べます。そういう意味で、単なる心理テストや血液型診断、占いなどとは異なるものです。

心理学の中でも、特に人の行動に影響を及ぼす要因に着目したのが社会心理学です。みんなは一人でいる時と、友達といふ時、集団の中にあるのかを詳細に検討するアプローチは、最近、地域の問題や政策策定でも重要なと指摘されてきています。

心理学の中でも、特に人の行動に影響を及ぼす要因に着目したのが社会心理学です。みんなは一人でいる時と、友達といふ時、集団の中では、考え方や行動が変わりますよね。こうした社会の中で人がどのように考へ、行動する傾向にあります。特に最近は、社会的弱者に対するバッシングや在留外国人に対する差別がなぜ生じるのか、また、どうすればそういう状況を打開できるのかに興味を持っています。

ステレオタイプ・偏見の  
メカニズム

私は、こうした社会心理学の観点から、人が他者に対して抱く印象や

感情を実証的に研究しています。昨

今、性別や年齢、国籍、障害の有無に

かかわらず、それぞれが自立し、認め合えるような共生社会の構築が

喫緊の課題となっています。しかし、

心理学の研究によると、私たちは、

自分とは立場の異なる人を偏見の

目で見てしまうことがあります。それを

避けることは非常に難しいことが

明らかになっていきます。こうした事

実に基づくと、果たして、共生社会

というものは実現できるのでしょうか。私は偏見や差別がなぜ生じてしまうのか、そして偏見などの固定観念にとらわれずに相手のこと

を理解するにはどうすれば良いの

か、という問題について研究してい

ます。特に最近は、社会的弱者に対

するバッシングや在留外国人に対

する差別がなぜ生じるのか、また、

どうすればそういう状況を打開

## 人の心理・行動を科学的に捉えよう！

## ゼミの活動内容

ターリー・シャーロット  
(2019)

『事実はなぜ人の意見を変えられないのか—説得力と影響力の科学—』

白揚社

統規制など議論を呼ぶ話題では、どんなにデータ(科学的事実)を示しても、相手の意見を変えることは難しいといいます。本書では、脳科学や社会心理学の研究を元に、なぜ人の意見を変えることは難しいのか、どのように説得できるのかを解説しています。

なお、授業時間外にも、夏休みに研究成果を報告する発表会を行ったり、学年を超えて協力しながらデータ分析を行う機会を設けたりしてきました。実証的研究を行うのは楽ではありませんが、ゼミ生で協力し合いやり遂げる充実感を得られるゼミだと思います。



田戸岡好香研究室

## 担当教員の研究

# 成長のためには経験が不可欠です。様々なことにチャレンジしてください。

## 地方都市の商店街はなぜ衰退したのか？

### 地域のブランディング

現在、地方における人口減少や地域経済の衰退は深刻な問題になっています。地方都市における中心市街地や商店街の問題も顕著であり、これまで多くの施策が展開されてきましたが、ほとんど効果は見られず、その衰退傾向に歯止めはかかっていません。特に、より小さなまちの商店街の衰退は著しいものがあります。

なぜ、商店街は衰退してきたのでしょうか。商店主の意欲の低下や大型店から商店街を保護する法律の廃止など様々なことを指摘することが可能ですが、根本的な要因として交通手段の発達や所得や余暇時間の増加など消費者が豊かになったこと、そして経済成長に伴う地方から都市部への人口移動、結果としての地方の人口減少などが大きな要因といえます。つまり、消費者がより大きな都市の大型店まで買い物に行けるなどより豊かになつたこと、そして、地方から都市部への人口流出をもたらす日本の経済成長が、地方の、そして、より小規模の商店街の衰退をもたらしているのです。

このような中で、昔の商店街の賑わいを取り戻すことは不可能であり、そのエリアの役割を考え直すことが必要といえます。

このように、昔の商店街の賑わいを取り戻すことは不可能であり、そのエリアの役割を考え直すことが必要といえます。

皆さんには「ブランド力の高い地域」といえば、「」と問われたとき、高いと言えるでしょうか。「ブランド」の反対の言葉としてマーケティングの世界では「モーディティ」という言葉が使われます。「モーディティ」とは、消費者がどのメーカーの商品を買っても大差がないと思っている商品です。そう考えると、ブランド力の高い商品というのは、消費者に同種の他の商品と違う、そしてその違いが魅力的だと認められている商品といえます。企業や別の業界の企業に対しても、どのような状況で参考になるのかということを考へるために、多くの企業活動の事例を調べてもらいたいと思い、このようない形で進めています。

### ゼミの活動内容

2年次後期から始まる基礎演習および3年次の演習では、マーケティングの基礎理論について、テキストを用いて事例を活用しながら学んでいきます。毎回、テキストの内容の発表の後に、企業のマーケティング活動について、各自が事例を調べて発表するという流れです。これは、ある企業の取り組みが、別の大差がないと思っている商品です。

そのためには、地域外の人々にそのためには、地域外の人々にそぞろ思われることも大事ですが、地域住民が自身の地域を、他とは違う魅力があると思うこと、地域に誇りを持つことも不可欠です。地域の人々が自分の地域を「モーディティ」と考えずに、ブランドだと考える、ブランド力を高めるために行動する、発信していくことが求められています。



担当教員の情報

職位 教授
専門分野 マーケティング、地域マーケティング
担当科目 マーケティング、地域マーケティング、経営学、演習

森岡毅(2016)  
『USJを劇的に変えたたった1つの考え方  
—成功を引き寄せるマーケティング入門—』

角川書店

低迷していたUSJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)をV字回復させた森岡毅氏が、マーケター当事者の視点から、どのように考え、どのようなマーケティングを行ったのかを、具体的に記載しています。また、キャリアはどうやって作るのかといった森岡氏の考え方も合わせて記載されており、マーケティングの本としてだけでなく、キャリアについて考える上でも、今後社会に出ていく大学生に、ぜひ、読んでほしい一冊です。



## 担当教員の研究

## 「文化政策」とは

私は、主に文化政策を対象とした研究を行っています。「文化」という言葉は実際に曖昧で、定義づけるのが難しいものではあります。ここで「文化」とは人生を「意味」という観点から豊かにするもの、あるいは私たちの生活を、機械の歯車のように無味乾燥なものにしないための資源だと、とりあえずは理解してください。そのような「文化」に対し、助成や規制などの政策的な働きかけを行うのが「文化政策」です。たとえば国や自治体が文化ホールや美術館などを建設してさまざまなお演劇や展覧会を開催したり、市民の文化団体の活動に補助金を出したりするのも、文化政策における政策実行のひとつです。

## 効果の不明瞭さ

この文化政策には、いくつかの固有の問題があります。まず、政策の実施効果がなかなかはつきりしません。経済効果であれば結果が数値として如実に表れてくるでしょうが、文化政策の実行と「人の心が豊かになった」といった状況との因果関係を客観的に証明するのは困難です。たとえばある自治体が市民のために美術館を建てたとします。その美術館の存在価値を検証するためには入館者数を調べてみることも必要でしょうが、それだけでは美術館がもたらしている効果は測れないはずです。

## 文化的公共性の不確かさ

また「文化」には、どこまでが私の趣味の範囲でどこからが公共の力で支えるべき財なのかが判然しないという特徴があります。そのため、たとえばある自治体がオペラ・ホールを建設するといった計画を立てたりすると、「そんなものを税金で作る必要はない」といった批判が必ずといっていいほどわきあがります。さらに、文化に対する政策的介入は、時として統制や検閲など、市民の自由な文化的活動を阻害してしまうこともあります。このようなものかを考えるのが、私の仕事です。



担当教員の情報

**職位** 教授  
**専門分野** 社会学、文化政策研究  
**担当科目** 文化政策論、博物館実習Ⅰ・Ⅱ、演習

## 読書も遊びも、少しの「背伸び」が大切です

## ゼミの活動内容

私のゼミでは、地域社会における人々の文化的活動にとって今何が問題なのか、そして文化的活動および文化的資源は地域社会の形成にとってどんな意義を有しているのかを考えています。2年次では、共同で地域の文化活動のお手伝いをしたり、文献講読を踏まえた討議を行ったり、文章執筆の訓練をしたりします。3年次では各自が自分で研究テーマを選定し、調査を踏まえ論文を執筆します。主な調査研究の対象は、①文化施設の運営、③市民の文化的活動、③文化産業、④伝統文化の保存・継承などです。研究の進捗状況については随時報告会を実施してゼミ生同士で批判的討議を行い、それを更なる調査に活かして、最終的に調査報告書をまとめます。4年次には、3年次での経験を活かして卒業論文を執筆します。

## 友岡邦之研究室

書棚からこの一冊

小林真理 編(2018)  
『文化政策の現在 第1巻 文化政策の思想』  
東京大学出版会

私も一章担当しています。学問の領域は幅広く、そしてそれぞれが恐ろしいほどに奥深いです。この本にかぎらず、本学の図書館に足を運んで広大な知の世界をのぞいてみてください。

文化政策の現在  
1  
文化思想  
Cultural Policy Studies vol.1 Concepts

## 担当教員の研究

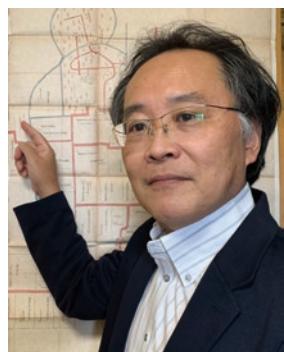
## 歴史学(地域史)とは

E・H・カーの言葉を借りれば「歴史とは現在と過去との対話である。現在に生きる私たちは、過去を主体的にとらえることなしに未来への展望をたてることはできない。複雑な諸要素がからみ合って動いていく現代では、過去を見る新しい眼が切実に求められている」。地域政策に限らず、現代を考える道するべとなる学問です。とりわけ歴史学の一分野である地域史は、地域独自の歴史を発掘して叙述する、地域に即して問題を汲み上げるものなのです。

## 「私の現在の研究」

私の専門とする時代は日本近世史、江戸時代です。特に江戸幕府の経済的基盤であった直轄領を支配し、徴税・民政を担う役人である代官について研究をしています。時代劇の少なくなった現在では死語になりつつある「悪代官」。代官とは賄賂を貪り、過重な年貢を百姓に強いる悪者というステレオタイプのレッテルを剥がすための研究をしてきました。近年は、よりその実像に迫るため、代官の残した日記の翻刻並びに分析を行っています。

江戸時代日記は身分を問わず多くの人によって書かれ、現代にも残されています。日記というと自分だけの秘密の世界を書き記すこともありますが、当時の日記はオールに子孫へ書き残す物でもあります。



担当教員の情報	
<b>職位</b>	教授
<b>専門分野</b>	日本近世史 地域史
<b>担当科目</b>	歴史学 博物館資料保存論 地域史史料講読 演習

ました。とは言え心情を記すことはほとんど無く、淡々とした事実のみを記す無機質なものが多いのです。ところが、現在取り組んでいる「代官日記」は、大変珍しい父子家族間での交換日記で、遠く離れたお互いがあたかも一緒に暮らしているように毎日の出来事を事細かに記録している、正に生きた江戸時代を垣間見ることが出来るのです。普通は記録にも残らないような日常生活における描写や庶民の風俗、動植物の観察、一日の天候のみならず昼夜二回の気温も記されています。当時機材の関係からも気温の記録はほぼ無く、これは文理融合の研究に史、現代の地域を考えることに繋がります。

3年次生は、前期にはテキストを使い、卒論執筆へ向けて史料を用いた研究方法を学びます。夏にはゼミ合宿により史料・遺跡・文化財に触れ、歴史の追体験をしてもらいます。4年次生は、各々の関心に基づいて、出身地域の歴史を新たな視点から捉え直し、主体的に調べ、フィールドワークもしながら卒論としてまとめていきます。

## ゼミの活動内容

西沢淳男  
研究室

E.H. カー(1962年)  
『歴史とは何か (岩波新書)』  
岩波書店

少し難解ですが、歴史の見方を学べる色あせない古典的な名著です。

## 担当教員の研究

## 研究テーマとその前提

多岐にわたる社会福祉の課題の中で、子どもや家族に関する福祉課題が私の研究テーマです。

社会的排除状態にある子どもや

家族を対象とし、社会的統合に向けた福祉的対応のあり方を検討する

とともに、家族政策・福祉政策について研究しています。具体的な対象は、児童養護施設退所者との家族

や外国にルーツを持つ子どもとそ

の家族などです。

子どもの権利を守ることを理念

とし、地域にある人、組織、制度を活用しながらその人らしく生きるために環境を改良していく方策を

福祉現場や地域に軸足を置き探求

しています。

## 現在の研究

現在は、児童養護施設等の施設退所者の主体的な生活の実現にむけた支援のあり方について研究しています。

「子どもの貧困」を背景として、児

童養護施設等施設退所者の自立支

援は、今日、国としても堅密な課題

に位置づけられており、支援の仕組

みを整備することの重要性が指摘

されています。

施設等への入所前・入所中・退

所後の各局面において、親密圏を維

持・再構築・形成し、多様な親密圏

を担保する具体的な支援と意義に

ついて実証的な研究に取り組んで

います。

## 社会福祉学の魅力

社会福祉学を学ぶということは、現代社会のあり様を考えることにつながります。その意味で純粋にもろい学問領域であると思いま

す。またその有用性は高く“生き

た”学問と言えることができると思

います。

誰もがその人らしく歩むことが

できるよう、頼り・頼られる社会を作ることを模索する面白さを、学生

のみなさんにも感じてほしいと思

います。

多様な個性と価値観にふれ  
視野を広げよう！

## 原史子研究室

## ゼミの活動内容

社会福祉学の面白さの1つは、実

践を通じ、その意味と方法を学びと

り、そのなかで人間の多様な個性や

可能性を知ることができることに

あります。

福祉実践の場には、冷静な頭と

あたたかい心”(Cool Head, but

Warm Heart)を持つ魅力的な人が

たくさんいます。そのためゼミでは、フィールドワーク等を通して、

その面白さを感じられる機会を持

ちたいと思っています。

またゼミは、自分の考えを他者に

伝わるよう表現できるようになる

ためのトレーニングの場であると

考えています。専門書を読み解き、

プレゼンテーション・ディスカッ

ションにより学び合い、文章化する

ことを通して、自分を作りあげて

いつてほしいと考えています。

そして、ゼミの最終目標として、

各々の関心に基づき、大学での学びの集大成として完成度の高い卒業論文を作成してほしいと思っています。

## 井出栄策編(2021)

『壁を壊すケアー「気にかけあう街」をつくる』

岩波書店

当たり前に「ケアしあえる街」を取り戻そうと地域に根を張り、人と人とのつながりを大切にする実践家たちの記録です。



## 担当教員の研究

**現在の農業問題と  
地域政策の課題について**

日本の食料・農業・農村をめぐる問題点としては、大きく①食料自給率の低さ、②農業の担い手の減少と耕作放棄農地の増大、③農山村地域の高齢化と人口減少にともなう衰退があげられています。地域政策学部では国(農水省・総務省・国交省等)の政策を批判的に検討しながら、全国各地(特に自治体や農協)の先進的な取り組みを取り上げ、そのポイントを明らかにすることが大切です。

もちろん、日本の食料・農業・農村問題を解決するためには幅広い知識が求められます。日本という国の政策はもちろん先進諸国の農業政策や地域レベルの取り組みとの比較も必要です。私の研究は下に見るように、日本の全国各地の地域農業の調査が主要なフィールドですが、幅広い研究や情報に目を配り収集するように心がけています(例え

**研究テーマ・その1  
農業政策の国際比較**

主に、アメリカ・EU(ヨーロッパ

連合・中国)の穀物を中心とした食料政策や農業経営の保護・支援政策に関する研究です。これらの国や地域の政策と日本の政策を比較することで、日本の農業政策の現実を把握しようとするものです。

私はの場合、毎日、全国紙二紙を読み、必要な情報はノートにストックし、必要に応じて読み返しています。



## 担当教員の情報

**職位**

教授

**専門分野**農業経済学、地域農業政策  
都市農村土地利用計画**担当科目**地域政策学入門、農村土地政策論  
比較農業政策、演習

進め、農業経営を保護するための格政策を大きく削減しました。日本の食料自給率が37%と先進国最低レベルにとどまっています。しかし、アメリカやEU、中国では、まだ、強力な農業保護政策を維持しています(EUは環境政策という名目で農業を保護しています)。地球温暖化による自然災害が多発している中では、食料自給は大切です。食料とくに小麦や大豆、畜産物の飼料のほとんどを海外に依存している日本の姿は、先進諸国では異常な姿なのかもしれません。

**研究テーマ・その2  
地域農業の多様な担い手に関する研究**

全国各地をみると、地域農業の問題点を主体的に解決し、農村の活性化を実現している地域が多いります。そうした地域を訪問し、その秘訣を探っています。例えば、女性や高齢者の力を活用して特産物の市場化を実現したり、伝統食を活かした都市農村交流に取り組む地域があります。また、水田地域では、集落の小さな農家がみんなで、官農組合をつくり、大規模で効率的・持続的な経営体を創っている地域が多く数出ています。自治体や農協が、独自に、それらを積極的に支援しているのです。必要なのは、地域の人たちの危機感とそれを乗り越える知恵なのです。

**体育会や文化・音楽サークルなどに参加して、多くの友人を持ちましょう。  
授業はもちろん、古典や新書、小説など、  
目と思考を通して幅広い知識を身につけましょう。  
自分を客観的に見る、もう一人の自分を持ちましょう。**

# 村山元展 研究室

- ①出口治明(2015年)  
『人生を面白くする本物の教養』  
幻冬舎新書

私もそうですが、「若い時からもっと勉強すべきだった」と後悔する人が多いでしょう。しかし、何をどのように勉強すれば心は満たされるのか。そのヒントがあります。

- ②吉見俊哉(2019年)  
『平成時代』  
岩波新書

平成時代の分析を通して、戦後から現在までの日本社会の問題点が浮き彫りにされています。この人の意見に賛成する人にも、そうでない人にも、一読の価値があります。



## 担当教員の研究

人々は省エネ型家電製品に買い換えるれば、エネルギー消費量は本当に減るのか？

最近のエアコンや冷蔵庫など家電製品のエネルギー効率は、政府による「トップランナー制度」によって大幅に向上了っています。そのため、旧式の家電製品から最新の省エネ家電に買い換えると、エネルギー消費量の削減と光熱費の節約を得ることができます。

しかし、環境経済学では、エネルギー消費量の削減はエネルギー・サービス例..室内的冷暖房や食品などの冷凍保存にかかる費用を引き下げるため、私たちはより一層のエネルギー・サービスの需要量を増やしてしまう、「リバウンド効果」という問題を指摘しています。私と松山大学の岩田教授、そして早稲田大学の有村教授と行った実証研究では、省エネ型のエアコンに買い換えることで、人々は省エネ行動（ここでは、夏の設定温度を28℃以上にする）を実施する確率を25・45%引き下げてしまうことを明らかにしました。その結果、例え省エネ型エアコンに買い替えたとしても、期待されるエネルギー消費量に対して5・9-10・6%のリバウンド効果があることがわかりました。

このように、人の行動レベルを深く探求することで、表面上では環境やエネルギー削減に良いことと思われることも、実際にはそうではない

いかもしれないという事実を明かにすることは大変に面白いことです。

### 少子高齢化社会では、エネルギー消費量はどう変化するのか？

日本は、総人口に占める65歳以上の割合（＝高齢化率）は2019年10月時点で28・4%と世界で最も高い値となっています。一般世帯について見てみると、1995年時点では世帯主年齢が50歳未満の割合が50%、60歳以上の割合が29%であったのにに対し、2015年時点では50歳未満の世帯割合は39%、60歳以上の世帯割合は45%と、世帯レベルでも高齢化が進んでいます。

世帯主の年齢が50代までは、電気などエネルギー消費量は上昇傾向を示し、60代以降になると減少傾向となっています。しかし、世帯構成一人当たりで評価した場合、一人当たり電気使用量はむしろ高齢世帯になるほど上昇していく傾向となっています。この理由としては、子供が独立した後も、古くなつた家電製品を「もったいない」という気持ちから、壊れるまで使用し続けていることが一因と考えられています。なぜ、高齢者は廃棄したり、買ったりした方が、経済的にメリットがあるにも関わらず、こうした非合理的な意思決定をしてしまうのかについて行動経済学の観点からアンケート調査を実施し、今現在調査・分析しております。



## チャレンジする気持ちをもって取り組もう！

## 担当教員の情報

職位 準教授

専門分野 環境経済学、エネルギー経済学

担当科目 環境経済学、環境政策論、計量分析、演習

私のゼミでは、主に環境問題やエネルギー問題と経済学の考え方とデータを使って研究を行っています。「環境・エネルギー問題と経済学は関係がないのではないか」と思う方もいるかもしれません。実際の環境・エネルギー問題の原因は私たちが暮らす社会経済と深く関係しています。よって、社会経済を理解（＝「経済学を理解」）、その上で環境・エネルギー問題について考えることが重要となります。さらに、環境・エネルギー問題やその解決策の効果は、私たちの日常生活に大きな影響をもたらすことがあります。そのため、具体的にどの程度の影響が発生するのか、あるいは発生したのかを、データを収集し、それを用いて分析・検証することも大切です。

以上のことから、私のゼミでは、経済学の分野において環境問題やエネルギー問題を取り扱う「環境経済学」の考え方と「データ分析」の方法をゼミ生にも習得してもらい、様々な社会問題について一緒に考え研究しています。



## ゼミの活動内容

## 担当教員の研究

教育を学ぶとは？

「教育を語る」と言えば、みんな多かれ少なかれ学校経験を持つているので、「学校がどうだ」とか「教育がどうだ」とかになりやすい。とかく「学校＝教育」だと捉えがちで、教育を個人レベルで語るのもおもしろいのですが、学校はその一部にしかすぎません。教育は社会全体の営みの一つであり、教育的事象を正確な事実認識やデータをもつて規則性や構造、因果関係を導き出すことが重要なのです。

そもそも教育学は「学び」のおいと方を考える学問です。人間は生涯にわたって学び続ける生き物。人をどのように育てるか、自分はどのように学ぶか、これを多角的客観的に考えるのが“教育を学ぶ”です。

幅広い内容を扱う教育学の中で  
も私は、教育政策を専門としています。  
教育政策の方向性を考える主体  
は政治家や官僚だけではありませ  
ん。今や、市民一人一人も教育の現  
状を把握しどうすべきかを建設的  
に議論できる能力が必要です。市民  
全体で次世代育成の責任の一端を  
担っていく時代なのです。

私が研究の主軸にしているのは、  
英國をはじめとする歐州の教育政  
策です。英國は日本と同じ島国です  
が、地域によって教育制度や政策の  
方針が異なります。イングランドは  
新自由主義に基づく教育施策を進

近年では少子高齢化による地方衰退、とりわけ若者による地方離離れが加速しており、そのような地域では残された児童・生徒の学びの機会や質をいかに保証していくかが問われています。地方の衰退を地域の教育力がどのように再生に導くか、あるいはそのための高等教育、社会教育や学校教育等の教育資源が地方創生にどのように活用されているのか、今はこういった問い合わせにも取り組んでいます。

地域政策学における教育政策

めている一方で、スコットランドは市民意識を重視しています。まさにナショナリズムとローカリズムのせめぎあいです。さらにグローバリズムの流れがそこに加わった教育政策の舵取りは、誰が教育の主役かをあらためて考えさせられます。

# 吉原美那子研究室

## ゼミの活動内容

観や教育制度に触れながら多角的なものの見方を得ています。ゼミの活動は、「学生自らが動く、学生主体の学び」そのものです。議論においてもフィールドワークにおいても、何ができるか、何をしなければならないのかを自ら考え、グ

書棚から  
この一冊

芹沢一也 他(2009)  
『日本を変える「知」  
—「21世紀の教養」を身に付ける—』

光文社

政治、経済、教育、文化、思想など出版当時は若手とされた研究者が、日本社会の諸問題をライトに語っています。賛否両論ある本ですが、是非ココから自分の関心分野を固めてみては。

本ゼミでは今ある教育問題、特に地域の教育問題を自ら見出し解釈し、自らの目で調べ、問題提起していく力を育成します。教育は今や画一的ではなく地域によって多種多様です。また、教育は学校だけが対象ではありません。教育に関わる人々、施設、活動を自分の知らぬないループの中で共有し、かつ事後に相互評価することを重視しています。勿論、グループ活動が苦手な者もいれば、人前で話すことが苦手な者もあります。それでも、人には何かしらがいいところがあるので、そこを調整していくのが私の役割だと思っています。

“これが学びか！”という実感。味わおう。



担当教員の情報

**職位**  
准教授  
**專門分野**  
教育政策、比較教育学、教育行政学  
**担当科目**  
教育学、教育政策論、演習、教職原論  
教育実習Ⅰ・Ⅱ



## 担当教員の研究

## 地域社会の固有性を理解する

私の専門は、都市社会学、観光社会学です。その立場から、(1)地域社会の固有性、(2)地域社会にとっての観光、の二つをテーマに研究を進めてきました。

町の個性は、町並み、街路などのハード、人々の日常生活やお祭り、地域活動、まちづくりなどのソフトの両面から生まれ出されています。私はこれらと共にある人々の當みや想いに惹かれ、それについての社会学的な研究を目指すようになりました。

対象領域も広いので未だ研究途上ですが、幸い魅力的な個性を有する町に出会うことができました。それが、東京都の「谷中・根津・千駄木」地区と、群馬県の桐生市です。私は両地域にお世話になりながら、町並みの保存・活用の実態、祭礼行事、まちづくりの取り組み、生活史などに関する事例研究を進めてきました。このような研究を積み重ね、地域社会の固有性について様々な観点から考察し、理解することが第一の課題です。

## 地域社会にとっての観光というテーマ

これから地域社会を考える上で、観光というのは重要な方向性一つです。現在の観光現象を正しく理解することは欠かせません。ただし、どのような観光形態が当該地域に適合的なのか、そもそも観光



担当教員の情報

**職位**  
准教授  
**専門分野**  
地域社会学、観光社会学  
**担当科目**  
社会調査(質的調査)  
観光社会学、都市社会学  
演習

が最適解なのかどうか、ということはその地域社会のあり様を踏まえて考えていく必要があります。そのためにも、まずは地域社会の固有性の理解が求められます。観光現象は多様な側面を含んでいます。そこで中でも特に、近年の新たな観光行動の発生に興味を持っています。地域社会にとっての観光を考える上で、大規模な投資が必要な観光形態はあまり現実的ではありません。むしろ、小規模であります。むしろ、小規模であります。それでも、その地域にしかない独自の歴史や文化、町並みなどを経験消費することを望むような新たな観光潮流に、今後の可能性の芽があると思います。そのため、このような新たな観光潮流の特性の解明を第二の課題として研究を進めています。

ゼミでは私自身の研究対象地である群馬県桐生市「谷根千」地区を主なフィールドとして、様々な地域活動行事にも参加させて頂きながら、調査研究を進めました。

学生には、調査だけでなく、可能な限り現場でのお手伝いや地域イベントの企画などに取り組んでもらいたいと思っています。多様な人々と接することは、社会性を身につけるきっかけになります。また、文献の知識を現場にぶつけてみれば、新たな問い合わせ生まれます。さらに、現場の方々のパワーにも直接触れてもらいたいのです。

ゼミではこのような地域の活動を基礎に、関連する領域の知見を文献で学びつつ、現場での活動に従事し、その経験を持ち帰り、改めて関連領域、現場についての議論を深めていくという作業を行っていきます。各自の関心に即して、地域社会やまちづくり、観光現象について、社会学的に分析、理解できるようになることがゼミの目標です。

近年、台湾の都市や歴史の研究を始め、ちょくちょく渡台しています。行く度に新たな発見があります。皆さんもぜひ台湾に目を向けてみてください。

## ゼミの活動内容



## 石井清輝研究室



藤田弘夫(1993)

『都市の論理—権力はなぜ都市を必要とするか—』

中公新書

都市の権力論という観点から古今東西の都市を縦横無尽に論じていく本で、読んでいると、まるで世界各地の都市の時間旅行に行っているような楽しい気分になります。



## 担当教員の研究

## 観光まちづくりにおける リーダーシップ

私の専門である「観光学」は観光に関する事象をさまざまなアプローチによって捉える学際的学問で、私がおもに用いるアプローチは経営学や心理学です。これらのアプローチを用いて近年は「観光まちづくりにおけるリーダーの発達及びリーダーシップ」について研究してきました。

日本では最近、観光まちづくりがさまざまな地域で進められています。「このまちづくりには必ず」と言って良いほど、リーダーの存在があります。彼らはどのように観光まちづくりのリーダーとなつたのか、彼らが發揮するリーダーシップとはどのようなものか、それはどのような成果をあげるのか、にしても興味があります。「これまでリーダーの視点から研究を進めてきましたが、今後はフォロワー、すなわちリーダーシップの影響を受ける人々の視点から「観光まちづくりにおけるリーダーシップ」を研究していきます。また、リーダー以外が発揮するリーダーシップについても研究していくと考えています。

### 研究する上で 大切にしていること

私は「その研究の社会的意義は何か」ということを大切にしています。研究という行為自体に、「探求」という面白さがあります。しかしそ

**石黒圭(2012)**  
『この1冊できちんと書ける!  
論文・レポートの基本』

日本実業出版社

ゼミナールの指定テキストです。私たちのゼミナールでは、2年生の時にこちらを輪読し、論文を書く準備としています。第1部が「論文の構成」、第2部が「論文の表現」になっており、おさえておきたい論文の作法がわかりやすく網羅されています。



## 単純なことは複雑に、 複雑なことは単純に

担当教員の情報	
職位	准教授
専門分野	観光学、政策学、観光まちづくり リーダー発達論、リーダーシップ論
担当科目	観光まちづくり論、観光産業論、アーバンツーリズム 演習



## ゼミの活動内容

ゼミナールでは、観光まちづくりに科学的かつ実践的にアプローチし、論理的思考力や問題解決力、ひいては「自ら考えて行動する力」を高めます。進行は、テキスト輪読や討論、個人／グループでの研究発表を基本とします。各学年での学びの概要是以下の通りです。

- ① 2年次後期～3年次以降の演習に必要とされる基礎的なスキルを習得します。具体的には論文・レポートの書き方とビジネスマナーの習得に取り組みます。
- ② 3年次：習得してきたスキルを土台に、前期は専門書／論文の輪読やグループ研究の計画立案です。夏休みにグループ研究の一環として地域調査を行い、後期の前半にその結果をまとめて報告書に仕上げます。後期の後半は、各自で研究テーマを検討し、卒業論文の研究計画書を作成します。
- ③ 4年次：前期は、各自の研究計画に基づき、データ収集のための調査計画を立案します。そして、夏休み前後に各自で調査を実施します。後期は、データ分析及び研究進捗報告・討論を繰り返し、卒業論文を完成させます。卒業論文執筆を通して大学での学びを「ラッショアップし、卒業後の活躍につなげます。

## 担当教員の研究

### 道の駅の採算性と効率性に関する研究

私の専門の研究領域は交通政策論・公益企業論であり、主に大きく3つのテーマを中心いています。1つは道の駅の採算性と効率性に関する研究です。現在、全国には1193件に上る道の駅が全国に設置されており、道路交通情報の提供はもちろん、観光、防災、教育、医療など地域のあらゆるニーズを支える拠点として大きな役割を果たしています。しかし、近年は施設の老朽化に伴う修繕維持費の高騰や駅間競合により業績が伸び悩む性の両立が求められますが、これを実現するためにはどのような施策が望ましいのかについて定量的・定性的な調査をもとに分析を行っています。

### 条件不利地域の公共交通と交通インフラの非経済的便益の評価に関する研究

2つ目は、条件不利地域の公共交通とそれを支える空港、港湾、駅などの交通インフラをめぐる非経済的便益とその価値構成の評価に関する研究です。周知のように少子高齢化の進展に伴い、過疎地域や離島をはじめとする条件不利地域の公共交通の経営は厳しさを増しています。しかし、これらの交通は不採算ではあるものの、住民の移動や

**学生生活は一生に一度です。**  
沢山学んでください。

**公共交通の住民参加と  
ソーシャルキャピタルの  
関係をめぐる研究**

最後は、公共交通の住民参加と条件不利地域の公共交通は苦しい経営を余儀なくされています。そのため、公共交通の企画・運営に参加する住民参加型の公共交通の運行が開始されています。「一方、このような住民の取り組みの原動力になるものとは何か。」ここでは、ソーシャルキャピタルの存在に焦点をあて、ソーシャルキャピタルの醸成が公共交通の住民参加に結びつくのか否かについて理論的・実証的に明らかにすることを目的に研究を行っています。

担当教員の情報	
職位	准教授
専門分野	交通政策論、公益企業論
担当科目	交通政策論、観光交通論 流通経済論、演習



就職活動体験報告会(2020年度)



伊藤羊一(2018)

『1分で話せ：  
世界のトップが絶賛した  
大事なことだけシンプル  
に伝える技術』

SBクリエイティブ

プレゼンや面接等で自分の話を相手に簡潔に分かりやすく伝えるための考え方や方法がわかりやすく書かれています。とくに就活前の学生には必読です。



夏季企業研修  
(ANA羽田整備工場:2019年度)

大会や懸賞論文の応募に向け、論文の執筆や報告資料の作成を行います。それ以降は卒論の執筆準備に取り掛かります。

ゼミは学生の自主性を尊重し、「全力で勉強し、全力で遊びをモットーに明るく活発なゼミにしたいと考えています。また、他大学との交流や関連施設の見学、ゲストスピーカーの講義も企画し、これらを通して様々な見識を身に付けて頂きたいと思います。交通分野(例えばJCT、空港、クーリーズ船、港湾、高速ツアーバスなど)に興味を持つ学生はもちろん、観光関連産業や地域活性化などの分野に関心がある学生これから勉強したいと思っている学生、誰でも歓迎です。

## ゼミの活動内容

ゼミナールでは、主に交通分野を研究領域とし、フィールドワーク、基本文献の整理、調査分析など様々な作業を通して、ゼミ生1人1人が自分自身で調査研究できる力を養成することを目指して活動を行います。はじめに、2年次基礎演習では、ゼミ生の関心に応じて3~4つ程度のグループを作り、グループ研究のテーマを決め、そのテーマに沿ったフィールドワーク先を決定してもらいます。そして、フィールドワークを行うための準備として文献整理や調査先の下調べを行ってもらい、冬季休業期間中にグループでフィールドワークを行ってもらいます。3年次はフィールドワークの結果をもとに秋から冬に開催される各種ゼミナール



## 担当教員の研究

私が取り組む研究は、これまで一貫して農業・農村における宮農活動と、そこから派生する教育・福祉的活動、観光振興活動などに焦点を当て、各地の調査を行ってきました。以下では、近年の主な研究テーマについて紹介します。

## 世界／日本農業遺産登録を通じた地域農業経営

2000年代以降、世界／日本農業遺産（FAO／農林水産省）、重要な文化的景観（文化庁）など、農村景観・農村文化・農業技術を後世に残す保護制度が誕生しています。地域農業の担い手が早晚不在となるなかで、これらの制度を活用して国土保全とともに農業・農村の歴史的文化的価値を活用した地域観光を行っています。

現在取り組む研究では、世界／日本農業遺産等の国内認定地域を対象に、持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因の解明を行っています。以下では、近年の主な研究テーマについて紹介します。

現在取り組む研究では、世界／日本農業遺産等の国内認定地域を対象に、持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因の解明を行っています。以下では、近年の主な研究テーマについて紹介します。

現在取り組む研究では、世界／日本農業遺産等の国内認定地域を対象に、持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因の解明を行っています。以下では、近年の主な研究テーマについて紹介します。

## 地産地消と食育

現在取り組む研究では、世界／日本農業遺産等の国内認定地域を対象に、持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因の解明を行っています。以下では、近年の主な研究テーマについて紹介します。

## 理想を高く持ち、実現するための学びと行動ができる大学生活にしてください！

## ゼミの活動内容



現在取り組む研究では、世界／日本農業遺産等の国内認定地域を対象に、持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因の解明を行っています。以下では、近年の主な研究テーマについて紹介します。

現在取り組む研究では、世界／日本農業遺産等の国内認定地域を対象に、持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因の解明を行っています。以下では、近年の主な研究テーマについて紹介します。

現在取り組む研究では、卒業論文に関する研究と論文執筆を行います。地域観光・農業・環境・食など、各自の課題意識に基づき選定をさせ、課題意識を醸成したうえで、文献調査のみならず、現地調査の実施による研究を重視しています。

## 片岡美喜研究室

**竹内和彦(2013年)**  
『世界農業遺産  
—注目される日本の里地里山』  
祥伝社新書

世界農業遺産制度が分かりやすく解説されており、各地の事例紹介も含めて理解しやすい書籍となっています。農業・農山村の価値とはなにか、それらを保全するための制度および地域営農システムのあり方とはなにかを知ることができます。

一方で、現在では教育政策・農業政策の一環で展開されている学校給食における地産地消ではあります。しかし、その安定的な生産や供給体制が残っています。学校給食の今昔の状況を踏まえながら、その後の展望を研究しています。

担当教員の情報	
職　位	教授
専門分野	農業経営学 農業・農村における観光・交流活動による地域振興
担当科目	観光資源論 地産地消・スローフード論 エコツーリズム論 エコツーリズム・グリーンツーリズム演習

## 担当教員の研究

## 多文化共生社会をめざして

現在、日本には二八〇万人以上の外国籍の人々が暮らしており、日常生活のなかで外国人と接することも増えてきました。少子高齢化による労働人口の減少や世界的な留学生獲得競争のもと、日本における外国人住民は今後ますます増加していくことが予想されます。

自分が生まれ育った文化から離れて、まったく違う言語が使われている国で生活することは大変な苦労が伴いますが、私たちのまわりにいる外国人は、必ずしも教室で日本語を教えてもらえるばかりではありません。経済的な理由や仕事の都合など様々な事情から日本語を学びたくても学べない人がいます。そのような人たちが、言葉ができないければ何もできないと諦めることなく、自分のやりたいことにチャレンジしながら安心して生活していくためには、わからないことがあります。でも気軽に助けを求められる環境や、悩みを聞いてくれる身近な日本人の存在が欠かせません。言語や文



## 担当教員の情報

職位	准教授
専門分野	日本語教育学 留学生教育
担当科目	大学生活のための日本語 専門聴解、ビジネス日本語Ⅰ 多文化共生論 異文化コミュニケーション

## 外国人とのコミュニケーション

私は、外国人と日本人が交わる接觸場面のコミュニケーションを分析し、そこで見られる問題や日本人の言語行動、日本語会話の特徴について研究しています。

外国人とのコミュニケーションを成功させるためには、私たちが普段どのように人とかかわっているのか振り返り、日本語を母語としない人の視点に立って客観的に日本語を捉えることが重要です。外国人にとってわかりやすい日本語とはどういうものか、外国人とのコミュニケーションを通して我々日本人も学んでいく必要があるのです。

化の違いに閑わらず、誰もが安心して暮らせる社会を築いていくためには、私たち一人一人が自分にできることを考え、外国籍の人たちを「住民」として受け入れていくための環境づくりが必要なのです。

## 自分にできることを考えよう！

## 学生と接するにあたって

私の専門は日本語教育学で、留学生対象の日本語科目のほか、「多文化共生論」や「異文化」「コミュニケーション」などの授業を担当しています。授業では、日本人学生と留学生が交流しながら学び合い、体験を通して理解することを心掛けています。また、学んだ知識を実生活でも活かせるように、実践的なトレーニングを取り入れ、学生同士が協力して課題に取り組めるように工夫しています。

例えば、「多文化共生論」の授業では、言葉がわからない外国で震災に遭つたらどのような状況に置かれるのかを、シミュレーションを通して学んでいます。言葉がわからないことから生じる不安な気持ちを体験し、留学生の経験を聞くことで、外国人が災害弱者にならないためのまちづくりについて考えていきます。また、「異文化」「コミュニケーション」の授業では、日本人学生と留学生が協力して、外国人住民に向けた新聞記事や大学紹介ポスターを作成し、日本語弱者の立場に立った「やさしい日本語」を身に付けていきます。

皆さんには、このような活動を通して価値観の異なる多くの人と出会い、多文化社会において自分を表現することができる異文化コミュニケーション能力を身につけてほしいと考えています。そして、一人一人が自分にできることを考え、多文化共生の地域づくりに貢献できる人になつていつてくれる期待しています。

## 木暮律子研究室



岩田一成・柳田直美(2020)

『「やさしい日本語」で伝わる！公務員のための外国人対応』

学陽書房

多文化共生時代を迎える、外国人の人にもわかりやすい日本語の伝え方が注目されています。この本では、そんな「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションの心構えやテクニックについて学ぶことができます。公務員を目指している人だけでなく、外国人と日本語で交流したい人にもおすすめの本です。



## 担当教員の研究

卒業旅行で  
他文化と出会い

私が専門としている文化人類学とは、他文化と自文化を比較し、一般理論を導き出そうとする学問です。私が他文化を強く意識したのは卒業旅行の時です。成田空港からモスクワ経由でロンドンに到着し、ヨーロッパ各地をまわったあとで、アテネから陸路でイスタンブールに入りました。ヨーロッパでは教会や大聖堂を中心に観光し、とくにドイツの教会のゴシック様式の尖塔に心を動かされました。けれども、五感が一齊に刺激されるような高揚感を味わったのは、イスタンブールが初めてでした。異国情緒漂うモスクのある風景、定時に響きわたる礼拝への呼び掛け、雜踏さえ心地よいバーザール。すべてが新鮮で好奇心をかき立てるものばかり。それがイスラーム世界だったのです。

担当教員の研究  
自文化の鏡としての  
他文化の研究  
歩いてみよう  
コンタクトゾーンを

自文化と他文化が接触する場を「コンタクトゾーン」(接觸領域)と捉えることがあります。コンタクトゾーンには、面白い問題が潜んでいます。人類学者(自己)が文化的な他者とどのように向き合い、交渉し、記述するのかとか、グローバル化が進む現代でも、自文化と他文化を分離して考えることはできるのかとか。みんなさんの身近なところに「自分の常識や感覚とは違う」ヒト・モノ・コトはありませんか? コンタクトゾーンとしての観光を考察するにあたって、どれも重要な切り口です。ゼミでの学びは次の通りです。まず、2年後期の基礎演習では、テキストの輪読、スピーチやプレゼンスとスキルを磨きませんか?

きるよう、慌てて日本のことを勉強しました。インドで調査しながら私自身も「これって日本ではどうだったかな」と考えることが増えていきました。他文化を研究することを通して自文化を見ることが、文化人類学なのです。



担当教員の情報

職位	教授
専門分野	文化人類学 南アジア地域研究 イスラーム地域研究
担当科目	文化人類学 宗教学 アジアの文化と観光 演習

## 問題を発見するセンスとスキルを磨く!

## ゼミの活動内容

本ゼミでは、個人研究が中心です。従って、研究テーマも自由です。実際、ゼミ生の研究テーマは、観光関連だけでなく、ジェンダー、セクシユアリティ、宗教とグルメ、生死、ニューデリーの大学に留学し、3年間、イスラームの家庭に滞在しました。驚いたのは、インド人よりも私の方々がインドのことを知っているということ。当たり前ですね、私はインド研究者なのですから。それなのに、現地の人方が私に質問するのではなくて、現地の人方が私が質問するのです。私は日本代表なのです。回答で

からはみ出しているのでは、と感じられるかもしれません。が、コンタクトゾーンとしての観光を考察するにあたって、どれも重要な切り口です。ゼミでの学びは次の通りです。まず、2年後期の基礎演習では、テキストの輪読、スピーチやプレゼンスとスキルを磨きませんか?

小牧幸代  
研究室

長沢英治(監修)・鳥山純子(編著) (2021年)

『イスラーム・ジェンダー・スタディーズ4  
フィールド経験からの語り』

明石書店

「手間がかかり、お金がかかり、時間がかかる割には収穫が約束されず、コストが悪い」のが、フィールドワーク。それでもフィールドワークをするのはなぜ? 本書で答えが見つかります。



第二言語習得

## 担当教員の研究

最近、通訳訓練の手法の一部が英語教育に応用されていますが、その中で最近注目を集めているシャドーイングの効果についても研究しています。シャドーイングというのは、人の発話を聞きながら、ほぼ同時に、文字通りシャドー（影）のように元の発話を真似していく訓練です。もともとは同時通訳訓練の導入として、聞きながら話すという非日常的な作業に慣れさせるために行われていました。オウムのように聞こえてきたものを忠実に真似して発音するという単純そうに見える行為ですが、外国语学習において

などの間違いが多く見られます。日本人学生の冠詞使用の傾向、冠詞習得を困難にしている要因を考察し、冠詞習得を促すための指導法を模索しています。

# 関口智子研究室



担当教員の情報
職位 教授
専門分野 言語学(統語論)
第二言語習得
通訳翻訳教育
担当科目 General English I・II Business English I・II・III・IV World Issues I・II

# Practice makes perfect! 練習を続ければ完璧になる: 習うより慣れろ!

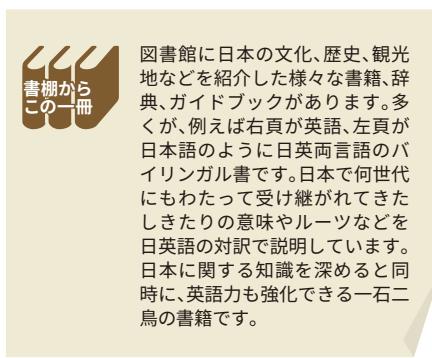
## 学生に接するにあたって

私は、子どもの頃から言語に関心があり、NHKで放映されていた様々な語学のテレビ講座をよく見ていました。それぞれの言語はどんな風に聞こえ、どんな文の仕組みをしているのかに大変興味がありました。そんなことから、大学では言語学を専攻しました。大学卒業後は、国際電信電話（KDD、現KDDI）に入社し、東京国際電話局に勤務していました。しかし、留学の夢を捨てきれず、思い切って退職し、カナダとアメリカに留学しました。帰国後は、非常勤講師として関東圏内の大学で英語とフランス語を教えるかたわら、商談通訳や通訳ガイドをしていました。日本では、会議通訳、商談通訳などに資格はなく、通訳案内士（いわゆる通訳ガイド）が国土交通省管轄の唯一の国家資格です。通訳ガイドは、外国



中国、広州の学会にて

意味で通訳とは少し異なります。海外から日本を訪れる観光客に、日本の歴史や文化を英語やその他の外国語で紹介します。学生の皆さんにはプロの通訳ガイドを目指さなくとも、自分の地元や、高崎、群馬、日本について簡単に紹介できる英語力やプレゼンテーションスキルをぜひ身に付けて欲しいと思います。そして、日本についてどんどん発信し、将来、海外との懸け橋になる人材が育つてくれることを期待しています。私のゼミはあります、が、英語選択科目の「World Issues」を担当します。英語の生のニーズを素材に、語彙力とリスニング力を向上させるとともに、文法と理解力を養成していきます。英語で世界情勢を理解する知識も養っていきますので興味のある人はぜひ履修して下さい。



## 担当教員の研究

## ①地域持続の条件研究

私は、長年に渡って地域振興の原理について探究してきた。1990年代に入ると、過疎地域では、更なる人口減少と高齢化によって限界化が進展し、集落の存続が問題となり、地方都市の中心市街地においても同様の問題が顕在化するようになった。こうした問題への処方箋はないのか、これが第一の研究テーマであった。この研究へのアプローチは、近世の農山村に存在した入会林野を起源として、明治以降も集落の共有財産として存在してきた共用林の機能分析によって行われ、空洞化の進む中心市街地にも応用可能な理論を得ることができた。研究成果は、西野寿章（2013）『山村における事業展開と共有林の機能』（原書房）にまとめた。

## ②地域の内発性に関する研究

私が学生時代の1970年代後半から地域主義、内発的発展に関する議論が活発化していた。(1)の研究に関連して、地域の内発性が発現する機会を歴史的に捉えて、研究してきた。具体的には、修士論文研究の際に知った戦前の町営電気事業、村営電気事業の成立条件の析出を通して考へてきた。研究から得られた知見は、2011年3月の東北沖巨大地震の発生に伴う原発事故後の電力改革問題に寄与できるものとなつた。研究は、西野寿章（2020）『日本地域電化史論』（日本経済評論社）にまとめた。

## ③グローバル化と地域経済

私は、高崎経済大学での30年間、ゼミナール生とともに、農山村地域、地方都市中心市街地の研究を積み上げてきた。ほんどの研究は、限界化の著しい過疎山村で行われたが、2020年度には、以前から気になっていた高崎市の旧城下町、中心市街地研究に着手した。ゼミ最終研究となつた2021年度の度に研究報告書をまとめることとなつて、その結果、群馬県神流町の研究成果と合わせて、私の定年の年である2022年（2021年度）度に研究報告書をまとめることが決まりました。この度は、西野ゼミ30期生（最後）が、この度の報告書を提出することができました。この度は、西野ゼミ30期生（最後）が、この度の報告書を提出することができました。



担当教員の情報

<b>職位</b>	教授
<b>専門分野</b>	経済地理学
<b>担当科目</b>	農村地理学 観光地理学 地域振興論 演習

## 大学では「問題意識」を持つことが不可欠です。

## ゼミの活動内容

## 西野寿章研究室

西野ゼミナールは、1991年度から経済学部に、1998年度から地域政策学部にオーブンした。私は、学部ゼミを選択する時、地域研究の成果を報告書にまとめる活動をして、経済地理学ゼミを選択した。前期は論文、後期は研究レポートを執筆して、3月にはタイプ印刷の研究報告書を刊行した。当時は、ワープロではなく、原稿は全て手書きであった。このゼミで鍛えられたことが、研究者の道を志すきっかけとなった。本学で、ゼミを担当するようになつたとき、迷わず、この方式を踏襲した。ゼミ1期生は、見事に研究をこなして、その後のゼミ活動の手本となつた。研究報告書はすでに28冊を数え、最終的には29冊になる。今、30余りのゼミナール活動を振り返ると、ゼミ生を教えていたつもりが、ゼミ生から多くのことを教えてきたことに気づく。感心のある人は、研究報告書を図書館に寄贈してあるので参考されたい。



1991年度  
西野ゼミ1期生  
(最初)



2021年度  
西野ゼミ30期生  
(最後)

諸富 徹(2018)  
『人口減少時代の都市』  
中公新書。



諸富氏は、環境経済学、財政学、地方財政論を専攻する経済学者である。本書は、今後的人口減少社会を展望しつつ、都市経営のあり方、持続可能な都市の政策原理を提示している。事例には農山村地域も取り上げられ、持続的な地方財政形成の方法としてドイツのシュタットベルケにも言及され、今後の地域のあり方を考える好著と言ってよく、地域政策学部の学生のみなさんに一読を勧めたい。

## 担当教員の研究

## エスニックマイノリティと観光

私は大学院時代からエスニックマイノリティ(少数民族)の方々と観光の関係性に興味を持ち研究を続けています。大学時代に60年代にアメリカで起こった市民権運動に関する本を読み「人種のるっぽ」と言われるアメリカでの人種差別に興味を持ったことやエスニック雑貨が好きだったことなどからこの研究テーマに惹かれ、少数民族の方々が作る伝統工芸品がお土産になることの影響や、「ルーツ観光」として移民やその子孫たちが自分の祖国を観光者として尋ねることに関する研究を行ってきました。特にグローバリズムのなかで、少数民族の方たちの固有文化、帰属意識、民族意識がどう変わっていくのか、それに観光はどうのような役割を果たすのかに興味を持っています。

## 外国人街の観光地化について

2011年に本学に赴任してからは、ブラジル人街(群馬)や韓国人街(大阪)を例として、外国人街の観光地化に関する住民の意識を研究しています。地域政策の観点から観光地化をどうえ、観光地化がどのように日本人住民と外国人住民の間の相互理解・雇用促進、外国人のエンパワーメントといった地域的課題を解決することに役立つかを調べてきました。研究を通して同じ地域の中でも観光地化に関する考えは社会的立場によって大きく違

うことが明らかになりました。「地域住民」を考えるとき、それが一つのグループではなく様々な考え方を持つ人たちの集合体であることを理解する必要があると思っています。

## コロナ禍と観光

最近は、「コロナ禍における観光」在り方にも興味を持っています。コロナ禍において観光をする人と控える人の両方がいますが、それぞれの理由や理由による長期的な旅行行動への影響の差等を調査しています。例えば、過去の研究では、禁煙からに基づいて、コロナ禍で変わった人々の観光行動の根本的な理由とその影響を探っています。

うことが明らかになりました。「地域住民」を考えるとき、それが一つのグループではなく様々な考え方を持つ人たちの集合体であることを理解する必要があると思っています。



## 観光を「社会を映す鏡」として考えてみよう！

## ゼミの活動内容



## 丸山奈穂研究室

担当教員の情報	
職位	教授
専門分野	観光学、地域住民と観光、エスニックマイノリティと観光
担当科目	国際観光論、観光プロモーション論、観光文化政策論、演習

有川浩(2011)

『県庁おもてなし課』

角川文庫

専門書ではなく映画化もされた小説ですが、地域に観光客を呼ぶプロセスやそれにかかる公務員、民間業者、地域内外の人達の考え方などがとても分りやすく書かれています。専門書に入る前に読んでみるにとてもいい本だと思います。



丸山ゼミでは、観光と文化、そしてそれにまつわる観光政策について学びます。ある地域の文化を観光化するとき、どういうプロセスを経ていくのか、そのプロセスと政策はどのようにかかわっているのか、観光化は地元住民や文化へどのような影響を与えるのか、そしてどのように観光化したいかを決める権利をもつのは誰なのか、誰が利益を得るのかといったことを考えていくます。また、観光が与える影響といふのは、地元社会だけに限りません。文化観光は、どのように観光者

にどのような影響を与えるのでしょうか。本ゼミでは、「観光」という人が楽しむために行う行動が地域に与える影響を分析することによって、地域づくりのなかで観光をどのように生かしていくかを考えます。またディスカッション、プレゼンテーション、グループ研究などそれぞれが課題に主体的に取り組むことを目標としています。

## 担当教員の研究

## 2つの「シュウカツ」

人生の中で重要な行動は、人によってさまざまかもしれません。保護者から経済的に自立するために行う「就活（就職活動）」は、人生の前半で重要な行動のひとつであると思います。また、2010年代から広がり始めた、自分らしい人生の終わり方を考え、実践する活動、いわゆる「終活」は、人生の後半での大切な行動のひとつになりつつあります。

しかし、だれもが満足できる2つの「シュウカツ」を行えるわけではありません。不登校やひきこもりになった若者は、そもそも普通の就活ができません。そこで、行政や民間非営利団体（NPO法人など）が社会復帰と就職の支援を行うことがあります。また、身寄りがなく生活に困窮している人は、終活を十分に行うことができません。このような場合、葬式やお墓についての本人の希望がだれにも伝わらず、故人の遺志が無視されます。一部の地方自治体では、民間団体と協力しながら、この問題に取り組み始めています。この2つ「シュウカツ」で民間団体と行政に何ができるのか、どんな協力関係が望ましいか、といったことを研究しています。

**人とのつながりを大切にした  
経済活動は成り立つ？**

もうひとつのお題は、より大きなものです。現在、わたしたち



はグローバルな市場経済の中で生きています。厳しい競争を勝ち抜いた生き方が求められています。とはいっても、他人を尊重しつながりを保った経済活動を行うことは本当に不可能なのか。疑問が浮かびます。答えは簡単にはできません。ただ、21世紀に入ってから、社会貢献活動とビジネスの両立を強調する「社会的企業」という組織が登場しました。簡単に言えば、上述の民間非営利団体、あるいは協同組合といった既存の団体が、リニューアルしたのです。彼らによる経済活動や運動の総称を「社会的連帯経済」と呼んだりもします。この経済のかたちにどんな可能性があるのか、また限界はどうあるのか。そのような点に 관심を寄せて研究をしています。

## 目的を持って学生生活を過ごしてください。

八木橋慶一  
研究室

## ゼミの活動内容

ゼミでは、まず社会的企業（国内ではソーシャルビジネスの事業者とも言います）の基礎知識を習得するため、テキストを輪読します。同時に、これらに該当する団体（たとえばNPO法人）も実際に訪問して調査を行います。2・3年次はこのような地道な作業を通じて卒業論文のテーマを決め、4年次には論文作成に取り組むことになります。普段のゼミでは、各自あるいはグループで報告を行います。しかし、勉強だけでは息が詰まりますから、夏合宿やコンバもあります。そのほか、高崎市にある榛名神社の社家町地区で地域活性化のボランティア活動も行っています。お土産物の開発、神社のボランティアガイドなど、地元の方と協力しながら活動しています。

楽しく、でも適度に厳しく勉強するのがこのゼミのモットーです。2年半のゼミはあつという間です。充実したものになるよう主体的に動いてください。



## 担当教員の情報

## 職位 教授

専門分野 社会的企業論、ローカル・ガバナンス論

## 担当科目 社会起業論、NPO論

コミュニティビジネス論

演習

カール・ポラニー（1944-2009）（野口建彦・柄原学訳）

『[新訳]大転換—市場社会の形成と崩壊—』

東洋経済新報社

わたしたちが当たり前と思っている市場経済について、その成り立ちや社会に与えた影響、問題点を古典から学んでみてください。



## 担当教員の研究

## 観光史から、地域社会の人々の「思い」を考える



担当教員の情報	
職位	准教授
専門分野	中東地域研究 観光史 観光人類学
担当科目	演習

## 人生哲学としてのツーリズム・リテラシー

研究を進めていくと、観光とは決して「一時的な非日常」ではなく、私たちの日常生活や人生とコインの表裏のように、密接に関わりを持つ実践であることに気づかれます。そのなかでも、口頭や文字、写真で「観光経験を語る」という行為が、時代や地域固有の社会的文脈を生み出す実践であることを「よりよい観光を実践するための技法や思考」としての「ツーリズム・リテラシー」の概念を絡ませながら明らかにします。

この「ツーリズム・リテラシー」の概念を絆ませながら、その歴史的変遷を追っていきます。特に、19世紀から20世紀にかけて中東諸国を旅した旅行者たちの旅行記を分析しながら、その歴史的変遷を通じて、彼らの間での相互交渉によって蓄積された「ルート(歴史)」と、その後に存在する、人びとや社会の多くの「思い」が存在することを知ることになります。

私自身、中東・イスラーム社会や日本国内の宗教観光を分析するなかで、紆余曲折しながら発展してきた現象の背後にある、人びとの多様な思いに触れてきました。中東から始まり、南アジアや東南アジア、西洋諸国や日本各地の聖地をめぐるなかで、観光に仮託される人びとの思いや歴史の重さを、常に感じています。

## 世の中は常にわからないことだらけです。

## ゼミの活動内容

ゼミでは、国内外の観光地・観光現象を対象に、旅行記やガイドブック、旅行雑誌、ポスター、写真をはじめとするさまざまな過去の観光資料を収集し、分析していきます。その過程で、個人やグループでのフィールドワークを通じた関係者へのインタビューや、参与観察、各地の図書館での文献資料収集を行っていきます。この一連の観光史研究の経験の数々が、皆さん自身のツーリズム・リテラシーを蓄積する足掛かりとなるはずです。そして、研究の過程で出会い、交流する土地やヒトとの相互交渉の経験の数々が、実は観光史研究における最大の魅力であることに、気付くのではないでしょうか。



書棚からこの一冊

ジョン・アーリ&ヨーナス・ラースン  
(2014)『観光のまなざし 増補改訂版』  
加太宏邦訳、法政大学出版社

観光に関するさまざまな議論やアイディアが詰まっている一冊で、大学院時代から何度も読み返しています。読み返す都度に、今まで考えもしなかった新しい発見があったりします。おそらく今後も、時を経て何度も読み返すことになるのでしょうか。





担当教員の研究

都市とまちを  
網羅的に扱う領域

私は民間企業等を経てから行政機関にて、都市計画実務と道路行政実務を長年実践してきました。民間・行政・大学と民官学を渡り歩き、法律・制度・事業の一連の仕組みを実践してきた経験を基に、理論と実践の融合を目指しています。

私の専門分野は大きく2つ、公共政策領域とまちづくり領域になります。都市政策や都市計画をはじめとする「行政施策」と、地域経営や市民参加などの「地域マネジメント」という、行政側でもあります。市民側でもある、つまりは行政と市民の間に立つための領域と捉えることもできます。そのため、研究・実務共に最も意欲的に取り組んだ内容は、福祉のまちづくり（ユニーバー・サル・デザインを目指した取り組み、手段としてバリアフリーーや高齢者の健康など）と住民合意の為のブロセスデザイン（合意形成理論）になります。このような実践領域は、海外を中心に学問としても成立しており、地域政策に不可欠な要素となります。

## 人・移動・空間をデザインする 方法を多角的に分析・評価

論と「ミニミニティデザインの実践」空き家・空き地を増やさないための「ミニミニケーションデザイン」をテーマに、人・移動・空間を「デザインする方法を研究しています。多样性と相違性を取り上げる領域でもあるため、様々な分野の先生方と一緒に学際的な研究を行なったり、司法書士の先生方との連携による「空き家・空地対策」に関する活動を展開したり、都市政策を専門とするコンサルタントとの「計画理論づくりの研究」や、「集約・コンパクト化する都市と交通」の課題を取り組んでいます。また、地域へ入り込み、住民の皆さんと行政を繋ぎ、「コーディネートする役割や、社会福祉協議会と地域が連携するような活動も、地域デザインの実践として取り組んでおり、住民やステークホルダーの合意形成を目指すための活動・研究を行なっています。



# 長野博一研究室

地域政策学科

# 誰もが暮らしやすい都市の 仕組みを考えよう！

ガミの活動内容



ジェイン・ジェイコブズ(著者)  
サミュエル・ジップ(編者)  
ネイサン・シュテリング(編者)  
宮崎洋司(訳者)  
(2018/12/08)  
『ジェイン・ジェイコブズ都市論集  
—都市の計画・経済論とその思想—  
鹿島出版会

ゲイコブズの思想と理念は、現在いまさに起きている都市課題を言い当てる内容です、しかもかなり以前から。ぜひ手にとってほしい一冊です。

お問い合わせ  
担当教員の  
書棚から

担当教員の情報

職位 准教授

**専門分野** 都市政策、都市計画、地域デザイン、ユニバーサルデザイン、交通政策

政策論、都市計画学、都市経営論、都市再開発論、初年次ゼミ、グループ研究Ⅱ、演習

地域政策学会 66

## 担当教員の研究

## 多様化するスポーツ

今日のわが国の政治・経済・社会状況はめまぐるしくかつ大きく変化しています。特に、人口減少と高齢化、医療費の増大、運動不足による疾病の増大などの社会状況の変化は、大きな社会問題を招いています。この影響を受け政治・行政・経済構造など社会のさまざまな分野において、従来のシステムの改革が推し進められています。

一方、20世紀以降国際的に急速に普及・発展し、とりわけ1964年のオリンピック東京大会開催を契機に創造的な文化活動の重要な柱として、国民の中に広がつていったスポーツは、その存在感をさらに強めています。スポーツがこれほどに注目されている時代はこれまでなかつたように思います。

また近年では、競争性を可能な限り排除し誰でも楽しむことができるようにルールが改良された軽スポーツ、ゆるスポーツや近代科学の技術革新の恩恵を受け誕生したユニー・スポーツ、超人スポーツ、eスポーツと呼ばれるスポーツが多くの人々を虜にしています。

さらに健康意識してヨガや太極拳、体操やダンス、エアロビクスなどを行つたり、自然への回帰を求

## 「異質」なものを「受容」しよう

めてウォーキングや・ハイキング、山登りに出かけたりなど、スポーツはこれまでになく多様化しています。

## 政策対象としてのスポーツ

このようなスポーツの多様化は、スポーツが健康・社会福祉・教育・社会化・経済発展等社会の広範な領域への貢献が期待されている現れであるといえます。

したがってわが国のスポーツは、文教政策の一分野としてのみ捉え

られるのではなく、健康福祉政策・地域づくり政策、観光政策、さらには経済政策の一貫として広く対応する

ことが必要であるといえます。

これまで、戦後の国会においてスポーツがどのように捉えられ、議論が展開されてきたのか、またその議論がどのように政策に結実しているかについて、国会議録の分析から考察を行つてきました。

また、地方自治体におけるスポーツにも着目し、都道府県議会におけるスポーツに関する議論の分析も実施してきました。

現在は、これまで実施してきた国

スポーツは、社会の様々な分野に影響を与え、様々な分野から影響を受けながら存在しています。つまりスポーツを考えるにはそれを取り巻く現代社会について理解する必要があります。

そこでゼミナールでは、現代社会の諸問題に関連した書籍を読み、様々な視点から理論的に理解するのと同時に、議論を通して理解を深めています。

そしてそれを踏まえ私たち、スポーツにどのようにかかわれば、スポーツの価値や意味をどのように理解すれば、様々な現代社会の諸問題を解決することができるのかについて考えておきます。

また他大学との交流や学外イベントの参加を積極的に実施し、様々な価値観や見識を身につけてほしいと思います。

このような活動を通して最終的に自分が興味関心を持ったテーマについて卒業論文として纏めています。卒業論文は、学校教育の集成となるものです。しっかりと取り組んでほしいと思っています。ゼミナールの活動、卒業論文の執筆を通して、「コミュニケーション力」「想像する力」「あきらめない力」を身につけていきましょう！



伊藤亜紗、渡邊淳司、  
林阿希子著(2020年)  
『見えないスポーツ図鑑』  
晶文社

本書は、「目で見えないスポーツのわかり方」や「目に見えないスポーツの本質」について述べられている研究ドキュメンタリーとなっており、「するスポーツ」や「みるスポーツ」に新たな視点を与えてくれる書籍です。

## ゼミの活動内容



## 観光政策学科

## 担当教員の情報

<b>職位</b>	准教授
<b>専門分野</b>	スポーツ政策学 スポーツ行政学
<b>担当科目</b>	スポーツ政策論 スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 初年次ゼミ グループ研究Ⅱ 演習

## 田中宏和研究室





▼就職活動の相談にものります。そのときは、作成したE.Sなどを持つてきてくださいね。

## 番外編 ときには雑談も

Dさん 「先生、お昼ごはんのおすすめって？」

S先生 「2号館のパン屋さんで売られているみそパンズ。あれ、中毒性があって、食べなくなるの。」

T先生 「私はねー、三扇館二階の学食のセットメニューがお買い得で好きだよ。」  
▼こんなお喋りも大歓迎！ 先生とお話ししたいなと思ったときは、ぜひアクティブ・ラボへ！

## アクティブ・ラボの基本情報

場所 ● 研究棟1階(地域政策学部掲示板の後ろ)

開室時間 ● 講義期間中の平日 13:00 ~ 17:00

相談内容 ● 大学での学習にかんする相談

来室方法 ● 予約制

アクティブ・ラボ Teams から予約できます。

Teams加入コード: **senpewu**

## 学習相談って、本当に必要なの？

とはいって、高校までは相談しなくてもなんとかやつてきたし、友達に聞けば大丈夫っしょ、と思うそこのあなた！ そんな気持ちもよくわかります。大学生になつたみなさんですら、ちょっととしたハーモルなら乗り越える力はすでにあります。

しかし、大学の学びは、高校までは少し違う特徴があるのです。その特徴をよく知った先生、つまり「遊びのプロ」に聞くのは、大学生生活になじむ近道になります。  
ここでは、大学での学びの特徴を見てみましょう。

### ①講義のスタイルの多様性！

大学の講義のやりかたは、先生によつてさまざまです。板書をする先生、スライドを使う先生、配布物を用いる先生、「LMS(学習管理システム) Learning Management System)」を使う先生……どんなふうに授業を聞けばいいか、学生は一コマずつ考えて対応する必要があります。

また、成績評価の方法も、レポートであつたりテストであつたり、発表がある授業もあります。単位を取るには、それぞれの科目の成績評価方法を理解して、それに対応していくことが必要です。  
しかも、時間割は人それぞれなの

で、基本的に、各科目を一人で把握する必要があるので。

### ②自己管理の難しさ

そんなわけで、大学では、時間割も生活スタイルも学生それぞれ違うので、基本的に自分で自分の学習内容を管理しなければなりません。

同じ「コマ」を受ける友達がいないときもあるし、担任の先生もいません。

(わからん、初年次ゼミではきつと顔見知りができるけどねー)ひとり暮らしも始まり、毎日自由で楽しい！ とキラキラしている人もいれば、課題の作成が間に合わず、夜遅く寝たら起きられなくなり、そのまま一限の授業に行けなくなつて……とい

う人もいるかもしれません。  
こんな大学生になるはずじゃなかった！ と思ったら、とりあえず何が問題か整理するために、誰かに状況を話してみることも有効です。問題は放置せず、解決に向かつて一步踏み出しましょ。

### 困つたら、「プロ」に聞く！

アクティブ・ラボで相談に応じるのは、みなさんと同様に大学に入りましたし、その後大学院に進んだ教員です。大学で十年以上は勉強した若手教員がアクティブ・ラボで相談にお答えしています。

それでは、大学一年生のころは大学での学びに悩み、ひとつずつ乗り越えてきた経験があります。みんなの学習上の悩みを解決できるように、サポートしていきますので、ぜひ気軽に訪れて下さい。

## アクティブ・ラボを 利用する学生の声



観光政策学科3年  
Y・H

私は交通政策を専門分野とする小熊先生のゼミに所属し、現在、少人数でのグループ研究に励んでいます。その中で、国内線の航空貨物に関する統計データの分析を担当し、他のゼミ生と協力しながらグループ論文の執筆に取り組んでいます。興味のあることを自ら探求できる充実した日々を過ごさせています。

### アクティブ・ラボとの「出会い」

高校生までの私は消極的で、勉強さえしていればいいと考えていましたので、人間関係は希薄でした。大學に入学し、1年前期の必修科目「初年次ゼミ」で、担当の中澤先生からアクティブ・ラボについて知ったことは、そのような私が一皮むけるきっかけとなりました。ここでは、先生と学生が分け隔て無く、気軽に学生活から社会問題について話せる

ため、自分一人では考えもしないことや友人どうしではあまり話さないことも考え、刺激を与え合うことができます。インプット中心の座学にどどまらず、もっと積極的にアウトプットしたいと感じていた私にとつて、アクティブ・ラボはそれを実現できる最適な場所でした。

### アクティブ・ラボでの 経験をいかす

アクティブ・ラボに通うようになり、私は2つ成長できたと思えることがあります。1つは積極性を身につけたこと、もう1つは人間関係を広げられたことです。いわば『ガリ勉』で消極的かつ人間関係が希薄だった私が、今ではゼミ長を務めるようになり、学業のみならず学生とも先生たちとも関わり充実していると思える日々を過ごせていることは、アクティブ・ラボでの経験が少なからず役立っていると感じます。

### まずは、第一歩！

先生たちがいる部屋に行くというと、最初は少し戸惑うかもしれません。しかし、ここはいわゆる職員室とは異なり、敷居が低いため、学生なら誰しも気兼ねなく入れる雰囲気が漂っています。大学に入ることを契機に一皮むけたい、そのよう

な気持ちが少しでもある方は是非アクティブ・ラボに足を運んでみてください。優しく接しやすい先生たちが迎えてくれますよ。



アクティブ・ラボで、  
ゼミの活動を話してくれるYさん



地域政策学部1年  
佐藤 隼音

**学びの視野が広がる**

当初は、自分自身で日本の地域のことについて研究していく、そのヒントをもらうべく足を運びました。もちろんそのヒントも教えてもらつたのですが、それ以上に大学生・研究者・大人としての活動をする手がかりを教えていただきました。実際に研究に役立つ専門的な情報から、いかに人間を動かすかなど多岐で役立つ情報など様々教えていただき、それらの知識は今の自分の学生生活に大きく役立っています。

### 大学生活を充実させるために

私は、この学部を志望した理由は将来「地域」を単位として働きたいと思ったからです。中高生の探究活動を支援するプログラムや、商店街の活性化プロジェクトに携わったり、自分が楽しむ→モットーに、学生生活を過ごしています。

大学生活の醍醐味は、「遊ぶこと」と思っています。そして、「学ぶこと」はこれまでの学校とは違い、自分が興味のある、そして楽しんで学べるものを選択して学ぶことができるのです。より実践的、また躍動的な学びを得るために、アクティブ・ラボは非常に役立つことでしょう。

**ACTIVE  
LAB.**

**アクティブ・ラボで日本語の練習**  
自分は普段、あまり人とコミュニケーションをしませんが、アクティブ

最初は観光に関心がありました  
が、大学の授業を受けて、私は、教育や生涯学習に関する心を持つようになりました。そして、櫻井常矢先生のゼミを選択しました。卒業まで、生涯学習を中心に勉強しようと思っていました。

**助教の先生たちとの語らい**  
初年次ゼミで中原先生のクラスに配属され、そこでアクティブ・ラボを知りました。そして、一年後期から訪問し始めました。

アクティブ・ラボでは、日本での

生活や、学習の過程で遭遇した多様な問題について、助教の先生方と話しています。また、自分がまだ知らないことや、楽しい話題についても、気楽に話すことができます。

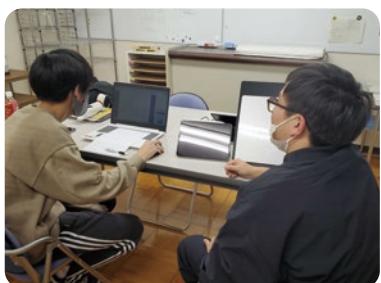
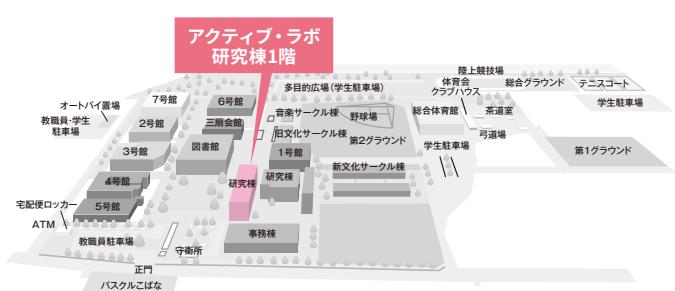
### 話してみたいな…でも…

大学に入学が決まって、貰った事前資料にアクティブ・ラボのことが書いてありました「この場所を知り、話すことが好きだった私は利用して

私は0号館というサークルと地域政策学部ゼミナール協議会(通称地ゼミ)の2つのサークルに所属しています。0号館では、大学近くにある古民家で地域交流や地域貢献を目標とした活動をしています。地ゼミでは、地域政策個別履修登録説明会など、学生の立場から学術支援・就職支援を行っています。

### まず行って、話してみよう

アクティブ・ラボをどう利用したらいいか分からずも多いと思います。けれど、どんなことでもよいので、まずは質問をしに訪問してみると良いと思います。少し勇気がいるかもしれません、気軽に連絡をしてみると良いと思います!



地域づくり学科3年  
馬 羽辰

私は、中国江蘇省出身の留学生です。来日して、九ヶ月間、日本語学校で学び、地域政策学部に入りました。最初は観光に関心がありました

が、大学の授業を受けて、私は、教育や生涯学習に関する心を持つようになりました。そして、櫻井常矢先生のゼミを選択しました。卒業まで、生涯学習を中心勉強しようと思っていました。

ブ・ラボで先生たちとたくさん話題を話すようになりました。日本語での会話も、上達してきました。そして、来日以来、寂しいと感じていた自分の生活が変わり、気楽にコミュニケーションできる環境ができました。



地域政策学部1年  
湯本 彩果

### ACTIVE LAB.

### 話をする中で、見えるもの

正直、自分が何を学びたいのかも定まっていないのが現状です。でも、ふわっとしたものだけやりたいくと、好きなことはあります。私はそれをアクティブ・ラボの先生と話しています。自分の頭の中で考えているだけではなくて、人に話すことにより自分の考えていることが明確になるからです。その上、専門知識を持った先生と話すので、自分の思いつかなかつた考え方や発見が得られます。私は自分のやりたいことに気付くために、このアクティブ・ラボを利用しています。

大学に入学が決まって、貰った事前資料にアクティブ・ラボのことが書いてありました「この場所を知り、話すことが好きだった私は利用してみると良いと思います!」



## ACTIVE LAB.

### アクティブ・ラボ

### 助教の紹介

本紙面に掲載している特認助教は、2021年度取材当時のメンバーです。

#### 知らない世界へ 飛び込んでみる



**中澤 芽衣**  
(なかざわ めい)

**【経歴】**大阪府出身。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻 博士課程(5年一貫制)修了。

**【研究内容】**専門は、地域研究、ジェンダー研究。アフリカのウガンダという国の農村部で、女性世帯の暮らしについて研究。

#### Q1 研究はどんなところが面白い？

「わからないことをひとつひとつ紐解いていく作業」が、私のなかでのおもしろポイントです。私の研究スタイルは、長期間にわたるフィールドワークです。同じ場所に、何度も足を運び、そこに暮らす人たちと寝食をともにし、地域住民の視点で地域の実態を理解したうえで、その地域に内在する問題を発見することを心がけています。村の人とお喋りする時間がとても好きです。

フィールドワークで得たデータを見返し、データと文献で得た知識が結びついたとき、「ああ、あのときの話はこのことにつながるね」と気づき、点と点が線でつながったときの快感！！研究は続ければ続けるほど、面白みと深みが増してきます。

#### Q2 地域政策学部のいいところは？

多種多様な講義を受講できるところです。時間割に目を通してみると、面白そうな講義がたくさんあります！これらの講義を受講することで、幅広い知識を身につけることができるのが、地域政策学部の強みだと思います。お気に入りの講義を探してみましょう！

#### 一瞬で過ぎる輝く 青春を大切に、 そして楽しんで



**蔡 珂**  
(さい か)

**【経歴】**中国南京出身。2013年に来日。千葉大学人文社会科学研究科地域文化形成専攻前期課程、同研究科文化科学研究専攻博士後期課程修了。

**【研究内容】**日中近代教育史、日中比較史、教育思想、近代知識人

#### Q1 研究はどんなところが面白い？

最初は「研究したい」という気持ちで大学院に入ったわけではなかったです。ただただ「なんでこんなこと起きたのか」「これについてもっと知りたい」という気持ちで大学院に入りました。最初は「研究とは何か」を考えながら院生生活を始めました。右も左もわからない状態で始まった院生生活は挫折することも多く、ゼミの休憩時間に誰もいないところで泣いたことは何度もありました。ただ、そこでやめたら「知りたい」ことが知ることができなくなると思い、その気持ちに掻き立てられ、研究を続けることができました。

研究する過程は決して順風満帆ではないですが、自分の興味関心のあることについて、いろいろ調べ、自分が持っている疑問を少しづつ解決していくことが楽しいと思います。

#### Q2 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

勉強(笑)。すごく固い答えになってしましましたが、私はいまでも学部の時もっと勉強したらいいなと常に思っています。ただ、その勉強は、授業や試験のための勉強ではなく、自分のやりたいことに向けて、様々な知識を習得する勉強です。例えば、いま参加しているサークルの活動、音楽や映画など興味のあることについて知識を深めることです。ある程度自由に時間を支配することができる大学時代に、バランスを保つつ、思い存分に自分の興味関心に時間を費やしたら、より広い世界が目の前に広がると思います。

## 「つくる」ことでみえてくる



寺田 光成

(てらだ みつなり)

**【経歴】**宇都宮市出身。千葉大学大学院園芸学研究科後期課程修了。博士(農学)松戸市岩瀬自治会集会所管理人

**【研究内容】**専門は、ランドスケープ学、子どもを含む住民主体のまちづくり、参加のデザイン論

### Q1 研究はどんなところが面白い？

私は、まち研究ではなく、まちづくり研究に携わっています。エビデンスを作り出した後、地域の状況を踏まえながら関係者とまちを「つくる」作業をしていきます。「つくる」作業では、これまで単なる情報だったものが「つくる」材料となり、どんな方向性、どんなものがよいのかコミュニケーションがはじまります。人々が主体的に「つくる」活動の中で、共に「成解」が織りなされていくプロセスは何より面白いものです。

### Q2 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

高校までに強烈な体験をした人を除けば、自分を知る手がかりなんぞ、部活か学校の思い出しかありません。とりあえず描いた夢も、自分が決めたのか、親か誰かの吹込みなのかわからないものです。大学から、いよいよ自分自身を中心に「つくる」作業がはじまります。失敗を恐れず、自分自身の感覚を一つ一つ体験を積み上げる中で、自分は何を「やってみたい」のか、確認していくことをオススメします。

## 大学は、いろんな人と 出会う場所！



中原真祐子

(なかはら まゆこ)

**【経歴】**千葉県船橋市出身。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程満期退学。

**【研究内容】**専門は哲学、倫理学。とくにフランスの哲学者アンリ・ベルクソンの思想研究。人間が人間らしく生きるってどういうことだろうということを考えています。最近は科学論、芸術論にも関心があります。

### Q1 研究はどんなところが面白い？

ものごとを、時代的・空間的制約にとらわれずに原理的に考えることに面白さを感じます。たとえば、「幸福とは何か」といったような普遍的な問題を古典テクストの中に辿ることで、何千年も前の人の思考を、現代の日本に生きる私が理解できることが素朴に面白いです。

### Q2 印象に残っている大学の授業は？

科学思想史の授業が印象に残っています。講義の終盤に、科学・技術と公害の問題が扱われました。そして、レポート課題で、水俣病について調べてレポートを書きました。人間にとて科学・技術とは何かという問いは、その時から研究の核にずっとあります。

### Q3 お気に入りの高経大スポット

7号館6階西側(烏川側)の教室。夏の夕暮れの烏川の景色が最高です。みなさんもぜひ大学でお気に入りの場所を見つけて下さい。そうすると大学がきっと「自分の場所」になります。

## 「分からぬこと」は楽しい



塩山 貴奈

(しおやまたかな)

**【経歴】**東京都江戸川区出身。学習院大学大学院人文科学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程修了。

**【研究内容】**日本中世文学。特に『平家物語』の研究。社会にとって歴史とは何か、物語とは何かということを考えています。

### Q1 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

自分が夢中になれる「何か」を見つけること、そしてそれに熱中することです。学問、読書、ライブ、スポーツ、ゲーム、なんでもいいです。とにかく、自分にとって大切な「何か」と出会い、夢中で打ち込んでほしいと思います。その「何か」や夢中で過ごした時間は皆さんの今後の人生において、とても大事なものになると思います。

### Q2 大学生の時にハマっていたことは？

図書館をうろうろして、目についた歴史資料や難しそうな研究書を手あたり次第にめくっていくことです。世の中には私の想像以上に私の知らない世界があるのだという衝撃と、けれどなんだかとにかく面白そうだという予感につき動かされて、色々な本を手に取っていました。今思えば、きちんと内容を理解できていない部分も多かったですが、何とか読んでみようと、ああでもないこうでもないと挑んだ時間が今につながっているように思います。

急に遠隔、って言われても……。

それでも、遠隔授業は待ったなしにはじめた。あの時は本当に大変だった。いまは対面授業も再開されただけで、あれがきっかけで、講義資料の配布も、課題の提出も Teamsなどのアプリとインターネットの活用が基本になった。

僕はパソコンが苦手だ。情報の授業もギリギリ、ついていくのがやつと現れ、何でも相談にのってくれる伝説の人物がいるらしい。

図書館一階のホワイトボードに Z・Y・X と書き込むと、どこからともなく現れ、何でも相談にのってくれる伝説の人物がいるらしい。

その人物は、ドクター Q と呼ばれているとのこと。しかし、ドクター Q が誰なのか、知る者は一人もいないといふ。

いまどき、そんな伝説みたいな話信じる学生なんているわけない。だけど、いまの僕は、時代に取り残されはじめている。背に腹はかえられない。学生が少なくなつたところを見計らい、僕はホワイトボードに Z・Y・X と書いてみることにした。

## 特集 ヨ

# 情報機器とアプリ

## 伝説のドクターQとの出会いが とある学生の学び方を変えた!

かもしれない物語



そのときは突然訪れた。教室の片隅でパソコンと格闘しながら課題をやっていたら、僕は不意に肩を叩かれたのだ。

「振り向かないで。そのままそのまま」

「何か、助けを必要としているのかな」

男性とも女性ともとれない声だった。あまりに急だったので、僕は硬直した。その言葉に、うなずくことしかできなかつた。

僕は、緊張しながらも聞いてみた。

「もしかして、伝説の……、ドクター Qですか？」

すると、返事がかえってきた。

「わたしのことを、そう呼ぶ人もいるらしいね」

僕は、思い切って話を切り出した。  
「エーとか苦手で……」

返事がかえってきた。

「そうか、そうだよね。大學じゃ、たいして教えてくれないし、苦手な先生もたくさんいるから……」

「でも、考え方次第だよ。ちょっと詳しくなったら、その点においては、あなたがもう先生になれちゃうわけだからね」

ドクターQの言葉は、僕をすこし安心させた。僕は思い切って、いろいろ質問してみることにした。

「ゼミでグループワークに取り組むように言われているのですが、なかなかみんなで集まれないんです。ゼミの先生はグループワークも遠隔でやつたら?、っておっしゃっていたんですけど……。どうしたらいいですか」

ドクターQの返事はこうだ。

「先生の言うとおり、この機会にどんどんやってみたほうがいいよ。この先、それが当たり前になるかもしれないから」

「遠隔授業のとき、Zoom Meetings を使ったでしょ。あれは、条件付きだけど無料で使えるから、あなたも会議を開催できるはずだよ」

その後、ドクターQは、Zoom Meetings の使い方を詳しく教えてくれた。教わってみれば、意外と簡単だつた。

「今度、僕がホストになつて会議を開き通り教わつてから、僕はこう言った。

催するから、みんなで遠隔のグループワークをしようよ、って言つてみます」

すこしだけ、心が軽くなつたような気がした。

すると、「こんどはドクターQの方から語りかけてくれた。

「対面授業も再開されたけど、様子をみてみると、以前とはちょっと教室の雰囲気が変わつてきているよ」

「Windowsじゃなくて、Macintosh、つまりMacを使つている学生も増えたかな。これからは、特定メーカーのシステムやアプリに依存してばかりいられない時代になるとと思うよ」

ドクターQってやっぱり先生なのが、僕は思った。思わず振り返りそうになつたけど、そのときはなぜか振り返らず、僕は「うつぶやいた。

「そうなんですか……」

ドクターQは、続けざまにこう言った。

「いずれにしても、情報機器は持ち運びやすいように、軽いものを選んだほうがいいと思つた。」

「たとえば、ノートパソコンは大きい画面のものを選びたくないけど、そういうのは重いから大抵持ち運ばなくなつちやうよ。それよりは、性能にこだわつた方がいい。遠隔授業を受けながらWordやExcelを使つうと、パワー不足を感じるかもしれないから」

確かに、僕が一年生のときには、画面の大きいノートパソコンだ。そのほうが作業しやすいと思つたし、大学にはデスクトップパソコン、ピュータがいっぱい設置されているから、普段はそれを使えばいいと判断したんだ。

ちなみに、うちの学生ならWordやExcelなどを無料でインストールできる、と知つたのは入学してしばらく経つてからだつた。もっと早く気づいていたら、そのぶん、性能のいいノートパソコンを選んでいたかも知れない。

### ドクターQが教えてくれたアプリはこちら



**Zoom Meetings (ズーム社)**

ビデオ会議でグループワークをやりたいなら、Zoom Meetings を活用してみよう。人数や時間の制限はあるけど、基本は無料で利用可能。チャットの機能もついていて便利。

本学の学部生ならびに大学院生はOffice365を無料で利用可能。

「ドクターQはいつも言った。」

「あと、三、四年生を中心の授業では、講義資料をプリントアウトしてきている学生が多いけど、「二年生が多い授業ではタブレットとペンを使っている学生が一定数いるような気がするよ」

僕はこう聞いてみた。

「パソコンも苦手なのに、タブレットって難しくありませんか？」

ドクターQの返事はこうだった。

「でも、スマホは使っているんですよ。スマートを使うときにマニュアルを見て見たかい？」

「パソコンもタブレットも、最低限の基本を学ぶ必要はあるけど、あとはいろいろ試していくばいいんだよ。特に、タブレットはスマートみたいに、直感で操作していくよ」

たしかにそうだ。スマホの使い方なんて、誰にも教わっていない。だけど僕にもちゃんと使っている。

「お金の問題はあるかもしれないけど、将来の自分への投資だと思って、バイト代を貯めて購入を検討してみては」



ドクターQが教えてくれたアプリはこちら



**Microsoft Lens**  
(マイクロソフト社)



**Adobe Scan**  
(アドビ社)



紙の書類をPDFで管理したいなら、Microsoft Lensか、Adobe Scanを活用しよう！  
スマホやタブレットのカメラで書類を撮影、枠を整えるだけ。

あれば2、「Q」と言って、パソコンにもタブレットにもなるやつもいかもね」

僕はすかさず聞いてみた。

「タブレットって、どんなことに使つたらいいんですか？」

ドクターQは教えてくれた。

「そうだなあ。いまはまだ、講義資料をプリントアウトして配ってくれる先生もいるよね。それに、過去にもらったものも、いっぱい持っているでしょ」

「タブレットがあれば、配布された講義資料をデジタル化して管理したり、紙のノートの代わりとして使つたりできるよ」

確かに、授業で配布される講義資料は、バラバラになりやすい。試験勉強で使いたいときに限って、どこにいつたかわからなくなり、困ってしまうことも少なくない。

ドクターQは、二つのアプリを教えてくれた。

「Microsoft Lensか、Adobe Scan」というアプリを使うといよいよ配布プリントをカメラで撮影すれば、スキャンしてPDFとして保管できるから」

たしかにそれは便利かもしれない。ちょっとと大変そうだけど、これなら教科書だってスキャンできちゃうじゃん、と僕は思った。

分厚い教科書を何冊も持ち運ぶより、タブレット一台を持ち歩いたら楽に決まっている。何より、そつちの方がカッコいい。これは友だちにも教えてあげよう、と僕は思った。

「ちなみに、ファイルの保存管理はクラウドサービスを使うといよいよ」  
きつと、僕の頭の上にはてなマークがついていたんだと思う。ドクターQはこう付け加えた。

ドクターQが教えてくれたクラウドサービスはこちら



**OneDrive**  
(マイクロソフト社)



**Google Drive**  
(アルファベット社)



**iCloud**  
(アップル社)

ファイルの破損や忘れを防ぐため、ファイル保存は無料のオンラインストレージに任せよう！容量の制限はあるものの無料の範囲で十分。用途によって使い分けるのもあり！

「スマホを持っているのなら、写真とかはネット上に保存しているでしょ。あれだよ、あれ。いまは、OneDriveのほか、Google Driveとか、iCloudとか、容量の制限はあるけど、無料で使えるオンラインストレージがたくさん提供されているよ」

「ファイルをそこに保存しておけば、ネット環境さえあるところなら、いつでも取り出せるから便利だよ。まさか、またデータをUSBに保存していたりしないよね。ファイル破損などのトラブルを考え、これからはオンラインストレージを使いこなさないと」

「したらドクターOは一世風靡したあとの世代なのかも知れない。

ドクターOはこう教えてくれた。

「ただし、使用条件があるから、タブレットを購入する前に確認が必要かな。それから、タブレット用のWordやExcelは、まだ使いににくい部分があるのも事実だよ」

「でも、外出先でちょっと文章を書いたり、簡単な計算をしたりするくらいなら、全然使えちゃうから心配しないで」

「あと、Googleはオンラインで使えるオフィスアプリを提供して

僕は追加で質問をした。

「ほかにも、おすすめのアプリってありますか」

ドクターOはこう言った。

「あるよ」

「それも、聞いたことのあるセリフだった。テレビドラマで見た人の人は、今や、よくバスに乗っている。

ドクターOの話の続きはこうだ。

「慣れるまでに時間がかかるかもしれないけど、紙と鉛筆をやめて、これからは授業ノートもタブレットでどうっていうのはどうかな」

「先日、タブレットにペンで書き込んでいる学生がいたから、聞いてみたんだよね。そしたら、ひとりは

OneNote、もうひとりはGoodNotesを使っていましたよ」

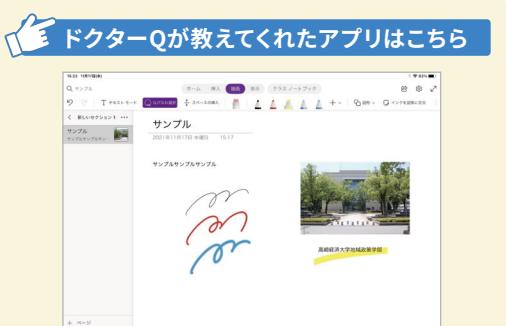
「OneNoteは無料だよ。キーボード入力が基本だけど、手書き入力もだいぶしやすくなってきてるかな。GoodNotesは有料だけど、そんなに高価じゃないよ。ノートとしても優れているけど、教科書や論文も保存しておいて、蛍光ペンや赤ペンで線も引けちゃうからとても便利なんだ」

「他にもいろいろなノートアプリがあるみたいだから、目的に合わせて自分が使いやすいものを選ぶといいよ」

「ドクターOは、何でも知っているすごい! もつと聞きたかったけど、ドクターOはいつの間にかいなくなつていた。」

「バイト代が入ったので、ぼくは早速タブレットを購入した。もちろんドクターOに教えてもらったアプリも入れた。」

「そういう言い方する先生、たまにいるよね、と僕は思った。いや、もしか



**OneNote**  
(マイクロソフト社)



**GoodNotes 5** ※iPad版のみ  
(タイムベース・テクノロジー社)

タブレットと専用のペンがあれば、手書きノートの代わりになるアプリ。もちろん、キーボード入力も、画像挿入も可能。文字や画像は、あとから移動させたり拡大縮小したりできちゃう。

「僕は質問を続けた。  
ドクターOは即答した。  
「オフース」

まずは、今までの講義資料をカメラでスキャンしまくった。まだよくわからないけど、なんだか最先端を行っているような気がしてきたぞ。不思議と自信みたいなものも湧いてきた。

そして、まだまだ使いこなせてはないけど、いまや、僕も授業にタブレットを持ち込んでいる。付属のペンを使い、講義資料に直接、メモを書き込んでいる。不思議とヤル気がでてくる。

遠隔授業のときは、パソコンで動画をみながらタブレットでメモをとっている。プライベートな時間には、映画や雑誌なんかを見るのにも使って便利だ。もうパソコンの起動なんてしたくない。YouTubeだって、ほとんどタブレットで視聴している。

そういえば、Microsoft LensとAdobe Scanを教えてあげた友だちが、こう言つていたつけ。  
「教育実習に行くんで、授業用の配布資料を作ったんさーで、教科書の図表をスキャンして配布資料に貼り付けたの。そしたら、わかりやすい!、て先生に褒められたんさー」

ゼミのグループワーク、こっちは思つたほど進んでいないんだ。時々ひらく遠隔グループワークだけじゃ、みんなとのコミュニケーションが深まらないからだろう。LINEの連絡先を交換しようと思つたけど、あまり乗り気じゃない人もいるみたい……。

気がつくと、僕は図書館のホワイトボードの前に立つて、周囲が気になつたけど、もう一度、Z・Y・Xって書くことにした。



ふたたび、そのときは突然訪れた。今度は、大学も関わる街なかなかのカワエで、ひとり、オレンジジュースを飲んでいたときだった。

「やあ、久しぶりだね。どうかしたかな」

ちょうどビデオースを口に入れたところだったので、吹き出してタブレットを汚しそうになった。どうやらあの人は、僕と背中合わせで座つていてらしい。

僕はこう言った。

「ゼミのグループワークがいまいちうまく進んでないんです。遠隔でときどき話し合つたりするのですが、コミュニケーション不足みたいです。何か、いい方法をご存知ですか？」

ドクターQの回答は、あの有名なセリフに似ていた。

「わたし、何でも知つてゐるので。」

そして、こんなアプリを紹介してくれた。

「それなら、Slackを導入してみてはどうかな。無料の範囲で十分使えるよ！」

「対話形式になつていて、文字で会話できるし、サイズの小さいファイルなら貼り付けて共有できるから、とても便利だよ！」

「プロジェクトを効率的に達成するために、最近はいろんな企業がSlackを導入しているみたい。その練習にもなるし、いまから使っておくるのはいいんじゃないかな。ある大學は全体としてSlackの導入を決めた、というニュースも見たことがあるよ！」

ドクターQは天才だ。僕はこう答えた。

「いま、タブレットあるんで、ちょっと調べてみますね」

「いま、タブレットあるんで、ちょっと言つていたのに。」

ドクターQはさらにこう続けた。

でも、最近また、ちょっと困つたことがある。

ドクターQが教えてくれたアプリはこちら

中村区民研究室 #00\_研究室公開

# 00\_研究室公開

# 01\_総務

# 02\_地域アート

# 03\_公募選択\_学生の選い

# 10\_賛同者

# 11\_会員登録

# 12\_会員登録

# 13\_会員登録

# 14\_会員登録

# 15\_会員登録

# 16\_会員登録

# 17\_会員登録

# 18\_会員登録

# 19\_会員登録

# 20\_会員登録

# 21\_会員登録

# 22\_会員登録

# 23\_会員登録

# 24\_会員登録

# 25\_会員登録

# 26\_会員登録

# 27\_会員登録

# 28\_会員登録

# 29\_会員登録

# 30\_会員登録

# 31\_会員登録

# 32\_会員登録

# 33\_会員登録

# 34\_会員登録

# 35\_会員登録

# 36\_会員登録

# 37\_会員登録

# 38\_会員登録

# 39\_会員登録

# 40\_会員登録

# 41\_会員登録

# 42\_会員登録

# 43\_会員登録

# 44\_会員登録

# 45\_会員登録

# 46\_会員登録

# 47\_会員登録

# 48\_会員登録

# 49\_会員登録

# 50\_会員登録

# 51\_会員登録

# 52\_会員登録

# 53\_会員登録

# 54\_会員登録

# 55\_会員登録

# 56\_会員登録

# 57\_会員登録

# 58\_会員登録

# 59\_会員登録

# 60\_会員登録

# 61\_会員登録

# 62\_会員登録

# 63\_会員登録

# 64\_会員登録

# 65\_会員登録

# 66\_会員登録

# 67\_会員登録

# 68\_会員登録

# 69\_会員登録

# 70\_会員登録

# 71\_会員登録

# 72\_会員登録

# 73\_会員登録

# 74\_会員登録

# 75\_会員登録

# 76\_会員登録

# 77\_会員登録

# 78\_会員登録

# 79\_会員登録

# 80\_会員登録

# 81\_会員登録

# 82\_会員登録

# 83\_会員登録

# 84\_会員登録

# 85\_会員登録

# 86\_会員登録

# 87\_会員登録

# 88\_会員登録

# 89\_会員登録

# 90\_会員登録

# 91\_会員登録

# 92\_会員登録

# 93\_会員登録

# 94\_会員登録

# 95\_会員登録

# 96\_会員登録

# 97\_会員登録

# 98\_会員登録

# 99\_会員登録

# 100\_会員登録

# 101\_会員登録

# 102\_会員登録

# 103\_会員登録

# 104\_会員登録

# 105\_会員登録

# 106\_会員登録

# 107\_会員登録

# 108\_会員登録

# 109\_会員登録

# 110\_会員登録

# 111\_会員登録

# 112\_会員登録

# 113\_会員登録

# 114\_会員登録

# 115\_会員登録

# 116\_会員登録

# 117\_会員登録

# 118\_会員登録

# 119\_会員登録

# 120\_会員登録

# 121\_会員登録

# 122\_会員登録

# 123\_会員登録

# 124\_会員登録

# 125\_会員登録

# 126\_会員登録

# 127\_会員登録

# 128\_会員登録

# 129\_会員登録

# 130\_会員登録

# 131\_会員登録

# 132\_会員登録

# 133\_会員登録

# 134\_会員登録

# 135\_会員登録

# 136\_会員登録

# 137\_会員登録

# 138\_会員登録

# 139\_会員登録

# 140\_会員登録

# 141\_会員登録

# 142\_会員登録

# 143\_会員登録

# 144\_会員登録

# 145\_会員登録

# 146\_会員登録

# 147\_会員登録

# 148\_会員登録

# 149\_会員登録

# 150\_会員登録

# 151\_会員登録

# 152\_会員登録

# 153\_会員登録

# 154\_会員登録

# 155\_会員登録

# 156\_会員登録

# 157\_会員登録

# 158\_会員登録

# 159\_会員登録

# 160\_会員登録

# 161\_会員登録

# 162\_会員登録

# 163\_会員登録

# 164\_会員登録

# 165\_会員登録

# 166\_会員登録

# 167\_会員登録

# 168\_会員登録

# 169\_会員登録

# 170\_会員登録

# 171\_会員登録

# 172\_会員登録

# 173\_会員登録

# 174\_会員登録

# 175\_会員登録

# 176\_会員登録

# 177\_会員登録

# 178\_会員登録

# 179\_会員登録

# 180\_会員登録

# 181\_会員登録

# 182\_会員登録

# 183\_会員登録

# 184\_会員登録

# 185\_会員登録

# 186\_会員登録

# 187\_会員登録

# 188\_会員登録

# 189\_会員登録

# 190\_会員登録

# 191\_会員登録

# 192\_会員登録

# 193\_会員登録

# 194\_会員登録

# 195\_会員登録

# 196\_会員登録

# 197\_会員登録

# 198\_会員登録

# 199\_会員登録

# 200\_会員登録

# 201\_会員登録

# 202\_会員登録

# 203\_会員登録

# 204\_会員登録

# 205\_会員登録

# 206\_会員登録

# 207\_会員登録

# 208\_会員登録

# 209\_会員登録

# 210\_会員登録

# 211\_会員登録

# 212\_会員登録

# 213\_会員登録

# 214\_会員登録

# 215\_会員登録

# 216\_会員登録

# 217\_会員登録

# 218\_会員登録

# 219\_会員登録

# 220\_会員登録

# 221\_会員登録

# 222\_会員登録

# 223\_会員登録

# 224\_会員登録

# 225\_会員登録

# 226\_会員登録

# 227\_会員登録

# 228\_会員登録

# 229\_会員登録

# 230\_会員登録

# 231\_会員登録

# 232\_会員登録

# 233\_会員登録

# 234\_会員登録

# 235\_会員登録

# 236\_会員登録

# 237\_会員登録

# 238\_会員登録

# 239\_会員登録

# 240\_会員登録

# 241\_会員登録

# 242\_会員登録

# 243\_会員登録

# 244\_会員登録

# 245\_会員登録

# 246\_会員登録

# 247\_会員登録

# 248\_会員登録

# 249\_会員登録

# 250\_会員登録

# 251\_会員登録

# 252\_会員登録

# 253\_会員登録

# 254\_会員登録

# 255\_会員登録

# 256\_会員登録

# 257\_会員登録

# 258\_会員登録

# 259\_会員登録

# 260\_会員登録

# 261\_会員登録

# 262\_会員登録

# 263\_会員登録

# 264\_会員登録

# 265\_会員登録

# 266\_会員登録

# 267\_会員登録

# 268\_会員登録

# 269\_会員登録

# 270\_会員登録

# 271\_会員登録

# 272\_会員登録

# 273\_会員登録

# 274\_会員登録

# 275\_会員登録

# 276\_会員登録

# 277\_会員登録

# 278\_会員登録

# 279\_会員登録

# 280\_会員登録

# 281\_会員登録

# 282\_会員登録

# 283\_会員登録

# 284\_会員登録

# 285\_会員登録

# 286\_会員登録

# 287\_会員登録

# 288\_会員登録

# 289\_会員登録

# 290\_会員登録

# 291\_会員登録

# 292\_会員登録

# 293\_会員登録

# 294\_会員登録

# 295\_会員登録

# 296\_会員登録

# 297\_会員登録

# 298\_会員登録

# 299\_会員登録

# 300\_会員登録

# 301\_会員登録

# 302\_会員登録

# 303\_会員登録

# 304\_会員登録

# 305\_会員登録

# 306\_会員登録

# 307\_会員登録

# 308\_会員登録

# 309\_会員登録

# 310\_会員登録

# 311\_会員登録

# 312\_会員登録

# 313\_会員登録

# 314\_会員登録

# 315\_会員登録

# 316\_会員登録

# 317\_会員登録

# 318\_会員登録

# 319\_会員登録

# 320\_会員登録

# 321\_会員登録

# 322\_会員登録

# 323\_会員登録

# 324\_会員登録

# 325\_会員登録

# 326\_会員登録

# 327\_会員登録

# 328\_会員登録

# 329\_会員登録

# 330\_会員登録

# 331\_会員登録

# 332\_会員登録

# 333\_会員登録

# 334\_会員登録

# 335\_会員登録

# 336\_会員登録

# 337\_会員登録

# 338\_会員登録

# 339\_会員登録

# 340\_会員登録

# 341\_会員登録

# 342\_会員登録

# 343\_会員登録

# 344\_会員登録

# 345\_会員登録

# 346\_会員登録

# 347\_会員登録

# 348\_会員登録

# 349\_会員登録

# 350\_会員登録

# 351\_会員登録

# 352\_会員登録

# 353\_会員登録

# 354\_会員登録

# 355\_会員登録

# 356\_会員登録

# 357\_会員登録

# 358\_会員登録

# 359\_会員登録

# 360\_会員登録

# 361\_会員登録

# 362\_会員登録

# 363\_会員登録

# 364\_会員登録

# 365\_会員登録

# 366\_会員登録

# 367\_会員登録

# 368\_会員登録

# 369\_会員登録

# 370\_会員登録

# 371\_会員登録

# 372\_会員登録

# 373\_会員登録

# 374\_会員登録

# 375\_会員登録

# 376\_会員登録

# 377\_会員登録

# 378\_会員登録

# 379\_会員登録

# 380\_会員登録

# 381\_会員登録

# 382\_会員登録

# 383\_会員登録

# 384\_会員登録

# 385\_会員登録

# 386\_会員登録

# 387\_会員登録

# 388\_会員登録

# 389\_会員登録

# 390\_会員登録

# 391\_会員登録

# 392\_会員登録

# 393\_会員登録

# 394\_会員登録

# 395\_会員登録

# 396\_会員登録

# 397\_会員登録

# 398\_会員登録

# 399\_会員登録

# 400\_会員登録

# 401\_会員登録

# 402\_会員登録

# 403\_会員登録

# 404\_会員登録

# 405\_会員登録

# 406\_会員登録

# 407\_会員登録

# 408\_会員登録

# 409\_会員登録

# 410\_会員登録

# 411\_会員登録

# 412\_会員登録

# 413\_会員登録

# 414\_会員登録

# 415\_会員登録

# 416\_会員登録

# 417\_会員登録

# 418\_会員登録

# 419\_会員登録

# 420\_会員登録

# 421\_会員登録

# 422\_会員登録

# 423\_会員登録

# 424\_会員登録

# 425\_会員登録

# 426\_会員登録

# 427\_会員登録

# 428\_会員登録

# 429\_会員登録

# 430\_会員登録

# 431\_会員登録

# 432\_会員登録

# 433\_会員登録

# 434\_会員登録

# 435\_会員登録

# 436\_会員登録

# 437\_会員登録

# 438\_会員登録

# 439\_会員登録

# 440\_会員登録

# 441\_会員登録

# 442\_会員登録

# 443\_会員登録

# 444\_会員登録

# 445\_会員登録

# 446\_会員登録

# 447\_会員登録

# 448\_会員登録

# 449\_会員登録

# 450\_会員登録

# 451\_会員登録

# 452\_会員登録

# 453\_会員登録

# 454\_会員登録

# 455\_会員登録

# 456\_会員登録

# 457\_会員登録

# 458\_会員登録

# 459\_会員登録

# 460\_会員登録

# 461\_会員登録

# 462\_会員登録

# 463\_会員登録

# 464\_会員登録

# 465\_会員登録

# 466\_会員登録

# 467\_会員登録

# 468\_会員登録

# 469\_会員登録

# 470\_会員登録

# 471\_会員登録

# 472\_会員登録

# 473\_会員登録

# 474\_会員登録

# 475\_会員登録

# 476\_会員登録

# 477\_会員登録

# 478\_会員登録

# 479\_会員登録

# 480\_会員登録

# 481\_会員登録

# 482\_会員登録

# 483\_会員登録

# 484\_会員登録

# 485\_会員登録

# 486\_会員登録

# 487\_会員登録

# 488\_会員登録

# 489\_会員登録

# 490\_会員登録

# 491\_会員登録

# 492\_会員登録

# 493\_会員登録

# 494\_会員登録

# 495\_会員登録

# 496\_会員登録

# 497\_会員登録

# 498\_会員登録

# 499\_会員登録

# 500\_会員登録

# 501\_会員登録

# 502\_会員登録

# 503\_会員登録

# 504\_会員登録

# 505\_会員登録

# 506\_会員登録

# 507\_会員登録

# 508\_会員登録

# 509\_会員登録

# 510\_会員登録

# 511\_会員登録

# 512\_会員登録

# 513\_会員登録

# 514\_会員登録

# 515\_会員登録

# 516\_会員登録

# 517\_会員登録

# 518\_会員登録

# 519\_会員登録

# 520\_会員登録

# 521\_会員登録

# 522\_会員登録

# 523\_会員登録

# 524\_会員登録

# 525\_会員登録

# 526\_会員登録

# 527\_会員登録

# 528\_会員登録

# 529\_会員登録

# 530\_会員登録

# 531\_会員登録

# 532\_会員登録

# 533\_会員登録

# 534\_会員登録

# 535\_会員登録

# 536\_会員登録

# 537\_会員登録

# 538\_会員登録

# 539\_会員登録

# 540\_会員登録

# 541\_会員登録

# 542\_会員登録

# 543\_会員登録

# 544\_会員登録

# 545\_会員登録

# 546\_会員登録

# 547\_会員登録

# 548\_会員登録

# 549\_会員登録

# 550\_会員登録

# 551\_会員登録

# 552\_会員登録

# 553\_会員登録

# 554\_会員登録

# 555\_会員登録

# 556\_会員登録

# 557\_会員登録

# 558\_会員登録

# 559\_会員登録

# 560\_会員登録

# 561\_会員登録

# 562\_会員登録

# 563\_会員登録

# 564\_会員登録

# 565\_会員登録

# 566\_会員登録

# 567\_会員登録

# 568\_会員登録

# 569\_会員登録

# 570\_会員登録

# 571\_会員登録

# 572\_会員登録

# 573\_会員登録

# 574\_会員登録

# 575\_会員登録

# 576\_会員登録

# 577\_会員登録

# 578\_会員登録

# 579\_会員登録

# 580\_会員登録

# 581\_会員登録

# 582\_会員登録

# 583\_会員登録

# 584\_会員登録

# 585\_会員登録

# 586\_会員登録

# 587\_会員登録

# 588\_会員登録

# 589\_会員登録

# 590\_会員登録

# 591\_会員登録

# 592\_会員登録

# 593\_会員登録

# 594\_会員登録

# 595\_会員登録

# 596\_会員登録

# 597\_会員登録

# 598\_会員登録

# 599\_会員登録

# 600\_会員登録

# 601\_会員登録

# 602\_会員登録

# 603\_会員登録

# 604\_会員登録

# 605\_会員登録

# 606\_会員登録

# 607\_会員登録

# 608\_会員登録

# 609\_会員登録

# 610\_会員登録

# 611\_会員登録

# 612\_会員登録

# 613\_会員登録

# 614\_会員登録

# 615\_会員登録

# 616\_会員登録

# 617\_会員登録

# 618\_会員登録

# 619\_会員登録

# 620\_会員登録

# 621\_会員登録

# 622\_会員登録

# 623\_会員登録

# 624\_会員登録

# 625\_会員登録

# 626\_会員登録

# 627\_会員登録

# 628\_会員登録

# 629\_会員登録

# 630\_会員登録

# 631\_会員登録

# 632\_会員登録

# 633\_会員登録

# 634\_会員登録

# 635\_会員登録

# 636\_会員登録

# 637\_会員登録

# 638\_会員登録

# 639\_会員登録

# 640\_会員登録

# 641\_会員登録

# 642\_会員登録

# 643\_会員登録

# 644\_会員登録

# 645\_会員登録

# 646\_会員登録

# 647\_会員登録

# 648\_会員登録

# 649\_会員登録

# 650\_会員登録

# 651\_会員登録

# 652\_会員登録

# 653\_会員登録

# 654\_会員登録

# 655\_会員登録

# 656\_会員登録

# 657\_会員登録

# 658\_会員登録

# 659\_会員登録

# 660\_会員登録

# 661\_会員登録

# 662\_会員登録

# 663\_会員登録

# 664\_会員登録

# 665\_会員登録

# 666\_会員登録

# 667\_会員登録

# 668\_会員登録

# 669\_会員登録

# 670\_会員登録

# 671\_会員登録

# 672\_会員登録

# 673\_会員登録

# 674\_会員登録

# 675\_会員登録

# 676\_会員登録

# 677\_会員登録

# 678\_会員登録

# 679\_会員登録

# 680\_会員登録

# 681\_会員登録

# 682\_会員登録

# 683\_会員登録

# 684\_会員登録

# 685\_会員登録

# 686\_会員登録

# 687\_会員登録

# 688\_会員登録

# 689\_会員登録

# 690\_会員登録

# 691\_会員登録

# 692\_会員登録

# 693\_会員登録

# 694\_会員登録

# 695\_会員登録

# 696\_会員登録

# 697\_会員登録

# 698\_会員登録

# 699\_会員登録

# 700\_会員登録

# 701\_会員登録

# 702\_会員登録

# 703\_会員登録

# 704\_会員登録

# 705\_会員登録

# 706\_会員登録

# 707\_会員登録

# 708\_会員登録

# 709\_会員登録

# 710\_会員登録

# 711\_会員登録

# 712\_会員登録

# 713\_会員登録

# 714\_会員登録

# 715\_会員登録

# 716\_会員登録

# 717\_会員登録

# 718\_会員登録

# 719\_会員登録

# 720\_会員登録

# 721\_会員登録

# 722\_会員登録

# 723\_会員登録

# 724\_会員登録

# 725\_会員登録

# 726\_会員登録

# 727\_会員登録

# 728\_会員登録

# 7

セージの機能を使えば、個別チャットもできるしね」

「あと、slackを導入したら、テーマごとにチャンネルをつくるのを忘れずに。メンバー同士のやりとりは、チャンネルで内容を整理しておこうね。それから、雑談チャンネルを作るのも忘れちゃダメだよ。たわいもない会話の中に、アイデアが転がっていたりするんだから」

なるほど、インターネットで調べたら、「これはおもしろそうなアプリだな」と思った。

僕は質問を続けたが、ドクターQの返事はこうだった。

「そのほかに、おすすめのアプリってありますか？」

「もうあなたは、情報機器やアプリに苦手意識がなくなってきてるよね。そうやって、人に頼りっぱなしはよくないよ」

「いや、インターネットを使って、自分でどんどん勉強していく時代なんだ。むしろ、大学生活に役立つ情報をみつけたら、あなたから発信してほしいな。そうしたら、学生主導でもっと大学が活気づくと思うよ」

僕は、思わず振り返った。

……が、そこには誰もいなかつた。からっぽのコーヒーカップがひとつ、テーブルの上に残されているだけだった。



この日以降、ホワイトボードにZ・Y・Xと書き込んで、ドクターQは現れなくなった。きっと僕が、自分一人でいろいろできるようになつたからだ。

**Notion**は、いろいろな使い方ができる。メモをどることも、TODOリストをつくることも、読書記録をつけることもできるんだ。自分自身を成長させる上で、欠かせないアイテムになつてきている。

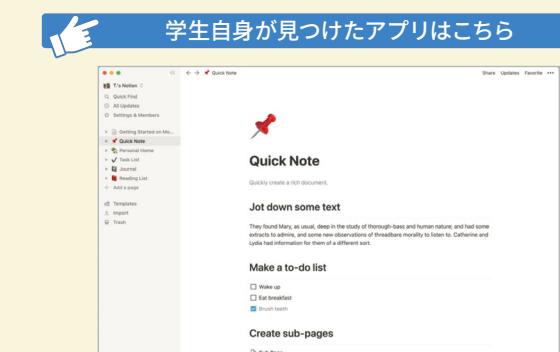
残念なのは、Notionを教えてくれたのが、どこかの大学の学生が作ったYouTube動画だったこと。僕もいつか、情報発信する側に回りたい、と思いつめている。

でも、いまの僕は、周囲のみんなよりも一步先を行っていると自負している。自信もすごくついてきた。もうしばらくすると就職活動がはじまるけど、そのときも情報機器とアプリを有効活用するつもりだ。

メールは、スマホでもタブレットでもチエックできるようにしてある。

この物語はフィクションです。ただし、本学学生の情報機器・アプリの活用実態・成果については、ドクターQの觀察や取材にもとづくものが含まれています。

なお、掲載情報は本原稿作成時のものである。情報機器やアプリの導入は各自の責任で行うべきものであること



### Notion(ノーションラボ社)

Notionなら、バラバラになりがちな情報をひとつのワークスペース内に整理できる。

紙の手帳もやめた。スケジュールはクラウドサービスを使って管理している。スマホとタブレットを常に同期させているから、手帳を忘れたり紛失しても心配はない。

就職希望先の担当者の前でスマホをいじるのは失礼だけど、タブレットをノートや手帳代わりに使うのは大丈夫だろう。みんなより情報機器とアプリに強いところを見せて、担当者に自分をアピールしようと思っている。

それにしても、ドクターQって一体誰だったのだろう。きっと両親が話していた昔のヒーロー・アニメのように、「誰も知らない、知られちゃいないんだ」。

大学生活を充実させたいなら、  
図書館をうまく活用しよう！

# 図書館活用法

学習にも、研究にも、つまるところ、  
大学生活に絶対欠かせないのが  
図書館です。「図書館を制する者は、  
大学生活を制す！」とさえ、言われる  
とか言わわれないとか……

ここでは、利用目的別に図書館  
活用法を紹介したいと思います。

## 図書館 活用度

- 初級
- 中級
- 上級
- 超上級



**利用目的** 人目のあるところで自習したり、レポートなどの課題に取り組みたい!  
気軽に感じでグループワークを進めたい!

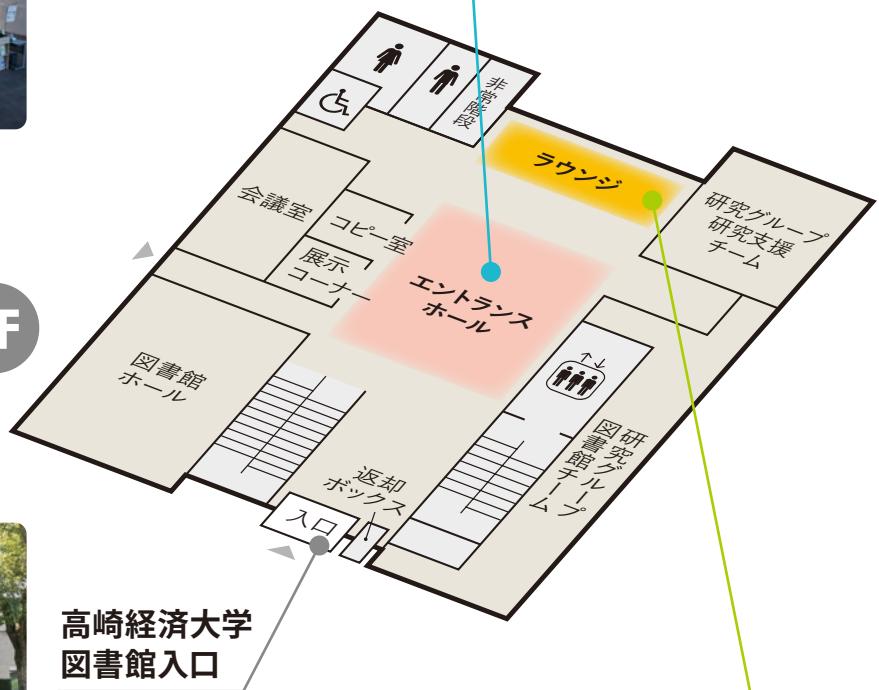
## ► 多目的スペース（エントランスホール）

図書館の正面入口を入ると目の前、1階のエントランスホールには多目的スペースが設けられています。テーブルと椅子がおいてあるので、個人学習にも、ちょっとした休憩にも、もちろんグループワークにも、いろいろな目的で活用できちゃいます。自由に使えるホワイトボードに要点を書き出せば、グループワークもはかどること間違いないですね！

ちなみに、無線LANは図書館全域で使えますし、キャップ付きボトル飲料なら、ここだけでなく2階以上のフロアも持ち込み可となっています。



1F



高崎経済大学  
図書館入口



**利用目的**

ソファに座って手持ちの本や雑誌を読みたい!  
ノートパソコンを広げて簡単な作業をしたい!

## ► ラウンジ

多目的スペースのさらに先にはラウンジが。外を見ながら座れるソファもあるので、気分転換にはもってこいの場所です。くつろぎながらお気に入りの本を読んだり、パソコンをひろげてみたりしてはいかがでしょうか!?

**利用目的**

学習に使う図書や研究に必要な論文を探したい！

### ▶ ブラウジングコーナー

2階入口を入ると、横には受付カウンターがあります。その奥の方には、コンピュータ端末がおいてあり、OPAC (Online Public Access Catalog) と呼ばれる検索システムで図書や雑誌の配架状況、配架場所を確認できます。印刷ボタンを押せば、配架場所を示すメモも手に入ります。3階・5階には社会科学系の図書、4階にはそれ以外の図書、5階には新聞縮刷版や雑誌のバックナンバーが配架されています。

なお、貸出の冊数と期間は右表のとおりですが、図書館の開館スケジュールは年度によって異なりますのでウェブで確認しましょう。



検索システム (OPAC)

利用者	冊 数	期 間
学 部 生	10冊	14日
大学院生	40冊	30日
教 員	40冊	90日
学 外 者	3冊	14日

**利用目的**

新聞各紙に目を通したい！

### ▶ 新聞コーナー

図書館には各社の新聞がそろえられています。毎日ここにきて新聞各紙に目を通す！これを4年間続けてあなたも時事ニュース通になりますよう！



新聞コーナー

**利用目的**

授業前に時間があったのでぶらりと立ち寄った！

### ▶ 企画展示コーナー

### ▶ 教員著作図書・旅行ガイドコーナー

2階入口を入ると、正面には企画展示コーナーが見えます。ここには、新着本のほか、先生方ご紹介の図書、英語問題集、就活対策本、ブックハンティングで購入した本などがおいてあります。これらの本は、ぶらりついでにチェックしておきましょう。ブックハンティングには、一度参加してみたいところです！

さらに左手奥に進むと、教員著作図書、旅行ガイド、文庫のコーナーが設置されています。気になるものがあったら手にとってみましょう。偶然の出会いが、あなたを新しい世界へといざなってくれるかもしれません。



旅行ガイドコーナー



文庫コーナー



企画展示コーナー



卒業論文集コーナー



学術雑誌コーナー

## 利用目的

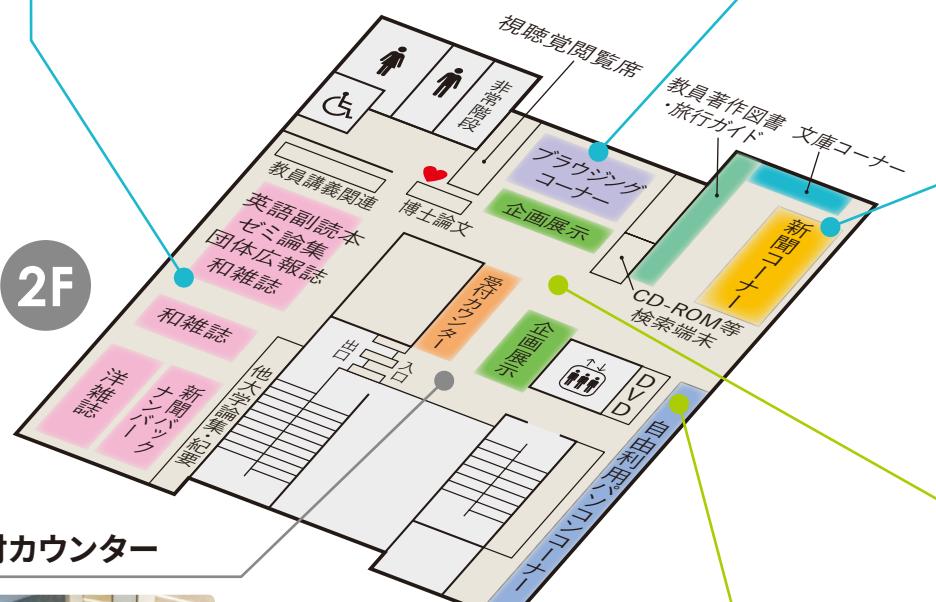
卒業論文集みて、  
ゼミ選択や卒業研究の参考にしたい！

▶ 雑誌コーナー 

2階入口を入ると左手にある受付カウンターのさらに左奥は、雑誌コーナーになっています。特に、手前のほうには、各ゼミの卒業論文集と英語の段階別読本 (Graded Readers, GR) がおいてあります。各ゼミの卒業論文集は、2年次のゼミ選択や4年次の卒業研究に向けて、ぜひチェックしておきたいところです。英語学習を頑張っている人は、GRをよく活用しているようですよ。

さらに奥には、学術雑誌がたくさん配架しております。卒業研究を進めるにあたり先行研究を調査しなければならないのですが、そのときにはきっとお世話になる場所です。普段からちょくちょく足を運んで、興味のある記事を読んでおきたいところです。

コピー機(有料)も設置されており、申請によって読みたい記事のコピーをとることもできます。



## 図書館2階入口、受付カウンター



館内入口



受付カウンター

エントランスホールの階段を上ると、館内への入口と受付カウンターがあります。入館には**学生証**が必要ですので、お忘れなく！



パソコンコーナー

## 利用目的

パソコンを使って課題に取り組みたい！

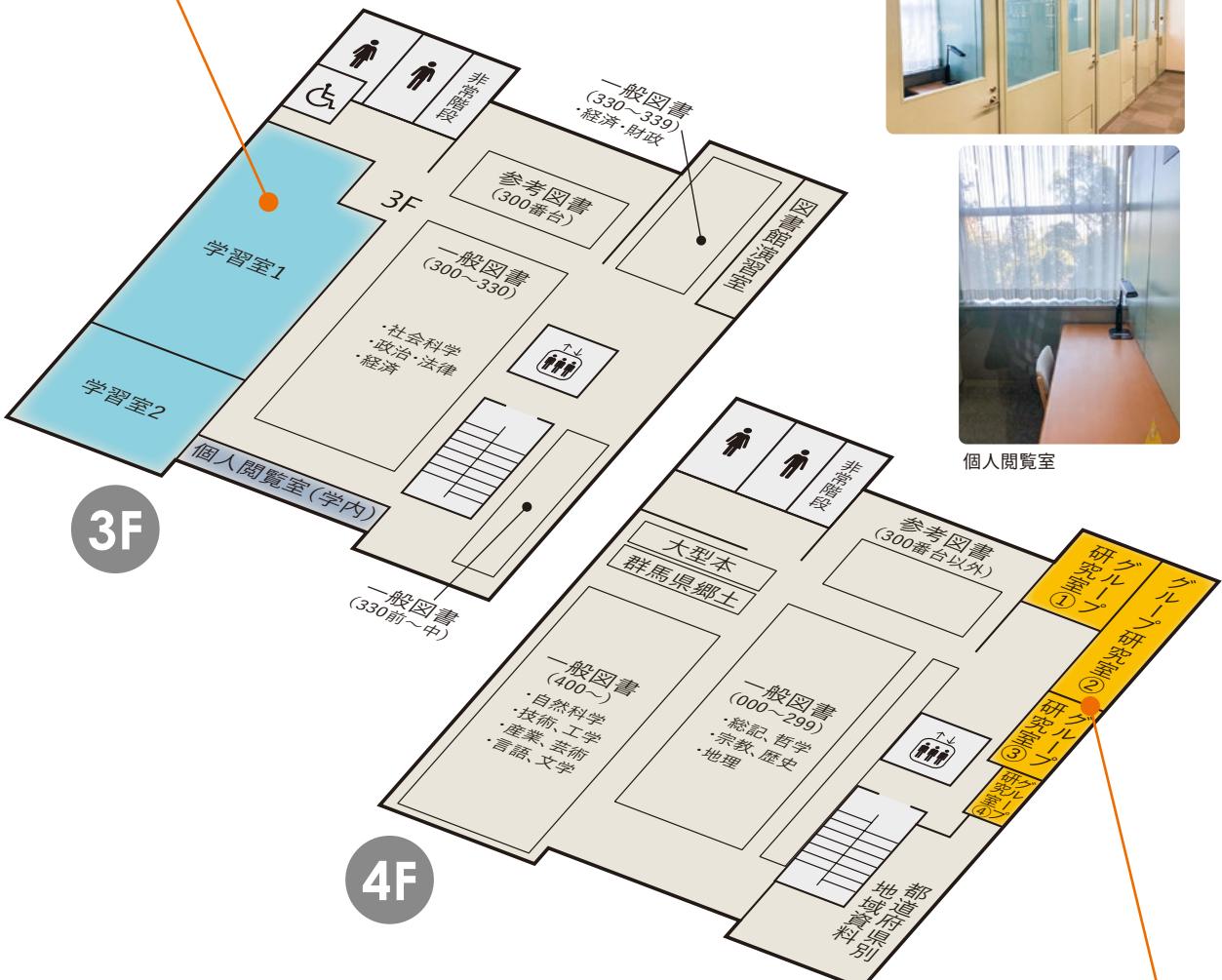
▶ 自由利用パソコンコーナー 

図書館には、本学学生なら自由につかえるパソコン (Windowsマシン) もたくさん設置しております。これからの時代、ノートパソコンかタブレットを常に持ち歩くのがスタンダード。でも、いざというとき自由に使えるパソコンがあるのはうれしいですね！プリンターも設置されているので助かります。

**利用目的** とにかく、集中したい！  
偉大なる目標を成し遂げるために

## ► 学習室、個人閲覧室

3階には、集中して勉強や研究に取り組めるスペースが用意されています。学習室は普段、人がそれほど多くないので、集中したいときにはお勧めです。もっと集中したいときには、個人閲覧室の利用を検討してみてはいかがでしょうか！？**カウンターでの申し込みが必要**になりますが、景色のよいプライベート空間になっているので、とてもぜいたくな気分になれます。勉強や研究もきっと捲ることでしょう！



グループ研究室



学習室



個人閲覧室

**利用目的** ゼミのグループワーク、  
仲間と定期的に集まってがんばるゾ！

## ► グループ研究室

4階の奥の方には、グループ研究室が用意されています。ゼミ室のような空間になっていますし、壁で仕切られているのでグループワークに集中できますよ！**カウンターでの申し込みが必要**になりますので、仲間と協力して有効利用しましょう。



一般図書

## 利用目的

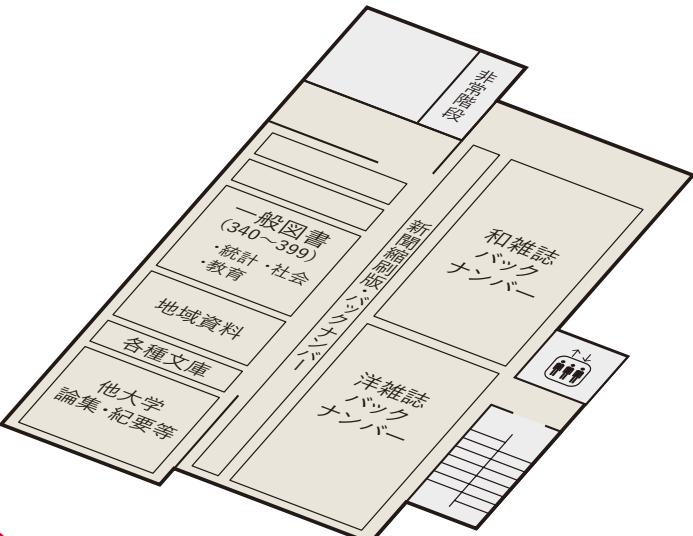
貴重な図書・資料に出会いたい！



図書館には、約39万冊の図書と約6千種類の雑誌が収蔵されています。中には、たいへん貴重なものも…。3階・5階には社会科学系の専門書、4階には人文・自然科学系の専門書が配架されています。もちろん、群馬県の郷土資料をはじめ、都道府県別の地域資料がたくさん収蔵されています。OPACで探した図書や雑誌を探す、ときには集密書架を操作する、なんとも大学生らしいじゃありませんか！？



集密書架



超

## 上級者編

高度な  
利用目的

図書館にない図書・資料をみたい！



探している図書や雑誌が図書館になかった…。

そんなときは、右の3つの方法で入手することができます。利用にはいくつか条件がありますので、詳しくは2階の受付カウンターまで。

- ① 他大学から取り寄せる (Inter-Library Loan, ILL)
- ② 図書購入希望を出す
- ③ 他大学の図書館に行く

高度な  
利用目的

学術論文を探したい！新聞記事を探している！



▶ 図書館ウェブサイト>「電子資料」>「データベース」>「CiNii Research」や「Google Scholar」

これまでにない考え方や新しい発見を世に示すこと。これが研究です。そのためには、自らの研究がいかに斬新であるかを示さなくてはいけません。研究を進める際、先行研究を調べるよう先生方が指導されるのはこのためです。論文は、いまやウェブ上の検索サービスを活用するのがスタンダードになっています。CiNii ResearchやGoogle Scholarを活用しましょう！このほかにも、図書館のウェブサイトで、さまざまな雑誌や新聞の記事を検索したり閲覧したりすることができます。詳しくは、図書館の利用案内を確認してください。

利用ルールやレイアウトは、今後、変更される可能性があります。また、感染症対策のため、記事の内容と現状が異なる部分もあります。詳しくは、図書館事務室にお問い合わせください。



# 学生懸賞論文 「受賞のことば」



## 優秀論文賞

### 堀 奏恵・山本紗萌

#### 道の駅の採算性と要因分析 —関東甲信越29駅の事例—

各地域の道の駅について調査を進めるうち、道の駅が持つ地域ごとの多様性についても理解することができました。地域の発展・振興に寄与する道の駅に対し、今後もより実践的な提言ができるよう努めて参ります。

## 優秀論文賞

### 大出泰己・石川舞・工藤介太

#### 観光列車の運行と経済効果 ～JR九州肥薩線 「かわせみ・やませみ」の事例～

この度は、優秀論文賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。本研究においては、回帰分析による算出に苦労いたしました。本研究のプロセスを、企業での企画における、経済効果の予測等に活かしていくければと考えております。

## 奨励論文賞

### 倉持 混

#### 明治期の鉄道開通と地域の変遷 —高崎線の開通による、 倉賀野河岸とその舟運の変化を中心に—

この度の学生懸賞論文での受賞、誠に光栄に存じます。自分なりの疑問や仮説を立てて論じ、時に周囲の方々にご指摘を頂きつつ研究を進めていく中で得た経験は、今後の人生でも活かていきたいです。

## 優秀論文賞

### 唐原逸希

#### セルフィ・フィルターの顔加工文化 ～ヴァーチャル空間における 女性たちのエージェンシー～

女性がありのままの姿を肯定できる社会が必要だと考える一方で、化粧やアイプチなどの身体加工を好む自分自身に矛盾を感じていました。そのような疑問を「顔加工フィルター」を題材に新たな角度から考察しました。



## 高崎経済大学地域政策学会

# 令和4年度 学生懸賞論文募集要項(予定)

### 1. 楽 旨

高崎経済大学地域政策学会は、地域政策学部の教員、学生、卒業生等から構成され、会員による学術研究の成果を発表し、社会に貢献することを目的に活動しております。このたび、地域政策学部に所属する学部学生の研究活動を推進し、かつ独創性あふれる優れた論文執筆能力の育成を奨励するため、学生懸賞論文を募集いたします。応募資格等は下記の通りです。学生の皆さんのご応募を心よりお待ちしております。

### 2. 応募資格

- ・高崎経済大学地域政策学部に所属する1～4年次の学生（研究生は除く）
- ・グループによる応募も可

### 3. テーマ

原則自由（各自およびグループの関心にもとづいて自由に設定して構いません）

### 4. 応募期間

2022年11月下旬予定

### 5. 応募方法

投稿規程および執筆要領をもとに論文を作成し、下記の必要書類とともに学会事務局（図書館1階研究支援チーム内）まで提出してください（メール、郵送等による提出不可）。

<提出書類>

- ・論文本体（A4版で、カラーまたは白黒印刷されたもの）……………3部
- ・論文要旨（A4版400字以内・学会ホームページからダウンロード）……………3部
- ・学生懸賞論文応募申請書（学会ホームページからダウンロード）……………1部
- ・電子媒体（WordもしくはPDFでCD-ROMまたはUSBに入れたもの）……………1部

### 6. 表彰および賞金

最優秀論文賞（1編）：表彰状と賞金5万円

優秀論文賞（若干編）：表彰状と賞金3万円

奨励論文賞（若干編）：表彰状と賞金1万円

### 7. 論文の審査および審査基準

（論文の審査）

- ・応募論文は、本学会に設置する学生懸賞論文審査委員会において厳正に審査します。
- ・一定の水準に達する論文がない場合は、該当なしとなる場合があります。

## 編集後記

新型コロナウィルス感染症への対応が求められ、取材活動が制限されるなか、理事会では最大限の努力を払い、本誌の編集を進めてまいりました。記事原稿のご執筆でご協力くださった地域政策学部専任教員のみなさま、図書館活用法でご支援くださった事務職員のみなさま、ありがとうございました。特に、地域政策学会事務担当の内海様からは並々ならぬご支援を頂きました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

高崎経済大学地域政策学会

**APPROACH 7号**

令和4年3月31日発行

### 編集委員

中村 匠克(会長)\*

鈴木 陽子(副会長・理事)

鈴木 耕太郎(理事)

田戸岡 好香(理事)

安田 慎(理事)

吉田 正和(事務)

内海 貴子(事務)

\*は編集責任者

### 発行人

中村 匠克

### 発行所

高崎経済大学地域政策学会

〒370-0801 高崎市上並榎町1300

TEL 027-344-6244 / FAX 027-343-7103

E-mail c-gakkai@tcue.ac.jp

URL <http://www1.tcue.ac.jp/home1/c-gakkai/>

### デザイン・制作

株式会社 原人社

〒370-0801 高崎市上並榎町479-4

TEL 027-362-9520 / FAX 027-362-9524

E-mail [info@genjinsha.co.jp](mailto:info@genjinsha.co.jp)

URL <http://www.genjinsha.co.jp/>

高崎  
経済大学



**APPROACH**  
高崎経済大学地域政策学会